

2023年度

# シラバス



学校法人 湯梨浜学園

## 湯梨浜学園高等学校

〒689-0727 鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑3-2-1

TEL (0858)48-6810

FAX (0858)48-6813

第1学年

教科名	国語	科目名	言語文化演習	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 上代から現代に亘る作品世界を正確に理解し、的確に処理し、豊かに表現できる力を養う。 ② 現代文学・古典文学への関心を高めるとともに、思想・思考の幅を広げ心情を豊かに育む。 ③ 表現技法や古典文法を学びながら言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストなどで評価。 ② 思考・判断・表現…定期考査、課題提出物、提出レポートや発表資料などで評価。 ③ 主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表、探究学習などで評価。				
学習方法	① 知識の定着に努め、様々な作品に触れその特徴を理解した上で世界観の正確な把握を目指す。 ② 教科書・図説・関係資料等を用い、文法を根幹とした読解力を身に付け、古典に対する興味を喚起する。 ③ 発表資料作成や受験対策問題集等を用い、受験レベル問題の解法、古典の探究・文学作品批評など幅広く学ぶ。				
教科書・教材等	言語文化（大修館） さくらさく古文単語（浜島） 古典グレートラーニング48レベル2（尚文） 古典文法10題ドリル古文基礎編（駿台文庫） 必携新明説漢文（尚文） 自作テキストなど				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	復習及び発展内容  古文：「宇治拾遺物語」 ・田舎の児、桜の散るを見て泣くこと ・絵師良秀	表現の特徴を学ぶとともに古文の世界観を感じる。また、古典文法の助動詞を中心に理解を深めていく。	12	10	古文：「方丈記」 ・行く河の流れ  古文：「伊勢物語」 ・初冠 ・月やあらぬ	作者の人生観・社会観を形成した社会的状況を具体的な描写から捉え、無常観について理解する。対句表現や比喩などの修辞技巧を理解し、その表現効果について考える。  歌物語の特徴の一つである和歌や表現技巧を理解する。また、当時の人々の生き方や文化、考え方などについて認識を深める。	16
5	漢文： 「鶏鳴狗盗」（十八史略）	漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容を捉え、人物や思想、背景などを理解させる。また、句法や句形を習得する。  作品の構成・展開・表現技法を学ぶとともに、作品を通して、当時の人々の考え方を学ぶ。	16	11	古文：「土佐日記」 ・門出 ・帰京  小説：「セメント樽の中の手紙」	日記の形式や、文体、意図を理解し、作者の心情を味わって読む。また、表現や修辞、文体等の特色を理解する。  時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する学習に、意欲的に取り組む。	16
6	小説：「羅生門」 古文：「今昔物語集」 巻第二九第一八  漢文： 「臥薪嘗胆」（十八史略）	近代の代表的な小説を読み、描かれた人間の生き方や場面・心情の変化を表現に即して読み味わう。古の時代の人々が見、感じていた世界観を感じると共に、学び、活かせるようにする。また、古典文法・句法・表現について理解を深めていく。	16	12	漢詩： 送汪倫／送元二使安西／ 過故人莊／月夜／香炉峰下  復習及び発展内容	唐代の詩人たちの人生観や自然観の認識を深め、漢詩独特の口調を修得する。また、近体詩の形式や表現等の技法を理解する。	12
7	短歌： 十二首 俳句： 十五句	俳句・短歌に興味をもち、作品内の情景や心情を読み味わう。自分の作品を仕上げ、俳句・短歌の大会への応募を叶える。	12	1	古文：「更級日記」 ・あこがれ	京や作品などへの強い憧れを抱く作者の心情を理解する。また、女流日記文学や作者について概要を理解する。	12
8	復習及び発展内容		4	2	漢文： 雑説（韓愈）	当時の思想を読み解き、風刺に注意しながら内容を捉え、自然観・社会性・当時の人の考え方を感ずる。また、句法を習得する。	16
9	小説：「青が消える」  漢文：「故事成語」 ・画竜点睛・糟糠之妻 ・塞翁馬 （～11月）	・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。  故事成語の叙述のおもしろさや意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。また、漢文の句法を習得する。	16	3	復習及び発展内容		12

教科名	国語	科目名	論理国語	単位数	4
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 国語を適切に理解し的確に表現する能力を育成する。 ② 伝え合う力を高めるとともに、様々な文章から思考、思想を読み取り心情を豊かにする。 ③ 言語感覚を磨き論理や思考に対する関心を深め、様々な資料をもとに自分の考えを適切に表現できる力を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストなどで評価。 ② 思考・判断・表現…定期考査、論文などの課題提出物、提出レポートや発表資料などで評価。 ③ 主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表、探究学習などで評価。				
学習方法	① 知識の定着に努め、進度だけではなく、復習・発展にも重点をおき、確実な学習内容の把握に励む。 ② 教科書・図説等を用い、読解力・文章作成能力を身に付け、国語に対する興味を喚起する。 ③ 自作教材やサブテキスト等を用い、教科書の単元だけでなく実力向上を目指し、古典の探究・検定試験学習・プレゼンテーションへの取り組みなど多岐にわたり文章と触れ合う。				
教科書・教材等	論理国語（大修館）※予定 現代文グレートラーニング40 レベル3（尚文） 自作テキストなど				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	評論：「システムとしてのセルフサービス」	筆者の構造的な文体を論理的に読み取り、構成・展開・要旨などを的確に理解する。	6	10	評論：「コミュニティから見た日本」	筆者の主張や内容を捉えさせ、近代社会の方法論について読解を深めるとともに、抽象的・概念的な用語や表現を理解する。	8
5	評論：「分かち合う社会」	筆者の考察を読み取り、社会や科学への理解を深める。文章を批判的に読むことを通して、自分の考えを深め、表現できる力を養う。	8	11	評論：「世界は、いま—多文化社会の構築」	筆者の主張や内容を捉えさせ、近代社会の方法論について読解を深めるとともに、抽象的・概念的な用語や表現を理解する。	8
6	評論：「生命情報・社会情報・機械情報」	文章の構成や、段落相互の関係を読み取らせ、筆者の主張や内容をとらえ、読解力・要約力を高める。	8	12	評論：「猫は後悔するか」	これまでの学習成果を踏まえ、論理的で哲学的思考の強い文章を的確に理解し、要約できる力を身につける。	6
7	復習及び発展内容 課題探究レポート作成		6	1	入試問題演習 小論文演習	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。入試問題への対応力を付ける演習や指導も随時行う。	6
8	復習及び発展内容 課題探究レポート作成		2	2	入試問題演習 小論文演習	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。入試問題への対応力を付ける演習や指導も随時行う。	8
9	評論：「あわれと消え去り」	文章の構成や、段落相互の関係を読み取らせ、筆者の主張や内容をとらえ、読解力・要約力を高める。	8	3	入試問題演習 小論文演習	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。入試問題への対応力を付ける演習や指導も随時行う。	6

備考 ・ 副教材を活用した問題演習も、授業中に行う。 ・ 適宜、論文指導を行う。

教科名	国語	科目名	現代の国語演習	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理・共感・想像の力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。 ② 深い思考力・読解力・表現力を身につけていく。その力を各種文芸コンテスト、検定に活かすことができる。 ③ 論理的思考力を養う文章、実社会に必要な文章を基に考えをまとめ、他者に分かりやすく表現できる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた先取り学習を行い、論理的な思考と確かな知識を身に付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	現代の国語（大修館） 現代文グレートラーニング40レベル3（尚文） キーワードの卵（尚文） など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	「白紙」 「伝える・伝え合う」	文章を読み論の進め方や表現について理解し、自分の考えを持てるようにする。 他者と意見を交わし、思考を膨らませることの基本を学ぶ。	15	10	「言葉についての新しい認識」 「社会への視点②」 さまざまな広告	言語文化に関する文章を読み、文化・習慣の違いを対比しながら認識する。また、要約力を高める。 社会に溢れる様々なメッセージを正しく解釈する。	20
5	「水の東西」 「わかりやすく書く」	文章の論理の展開の仕方を的確に捉え、内容を理解し、必要な情報を集め、要約する。 他者に意見を伝える際の文章のまとめ方を学ぶ。	20	11	「贅沢を取り戻す」 復習及び発展内容	本文から、現代社会の抱える問題点を掴み課題解決の道を模索する力を養う。 全国模試の対策を行う。	20
6	「『安くておいしい国』の限界」 「社会への視点①」 さまざまな規約	筆者の問題提起とその論拠について自分の意見をまとめる。 広い視野を持ち現代社会を捉える。	20	12	「作業ロボットの悲劇」 復習及び発展内容	論理の展開を理解し、主張を読み取る。また、主体的に論理的な文章に触れ合う習慣を身に付け、他者に内容を伝える力を養う。 全国模試の対策を行う。	15
7	「美しさの発見について」 「脳は美をどうとらえるか」	情報を比較しながら、文章を読むことができるようになる。	15	1	「インターネット時代の音楽産業」 復習及び発展内容	統計資料を基に自分の意見を他者に伝えることができるようになる。また、説得力を持った論を展開するための資料作りができるようになる。 全国模試の対策を行う。	15
8	復習及び発展内容		5	2	入試問題演習	共通テストや大学入試の過去の問題を解き進めることで、培った自分の国語の力を発揮できるようにする。	20
9	「空気を読む」 「『個人』から『分人』へ」	評論の内容を吟味し、描かれた内容に対する捉え方の変化を読み味わう。 筆者の意見に対して自分の考えを持ち、文章に表現できるようにする。	20	3	入試問題演習	共通テストや大学入試の過去の問題を解き、自分の課題や伸ばしたい能力について考える。その後、国語を学ぶ計画を立てることが出来る。	15

備考 ・適宜、作文・小論文指導を行う。

・適宜、書写の授業を行う。

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 18世紀以降の世界と日本の歴史的事象を考察する手がかりとなる概念・理論を習得する。 ② 習得した基本的な考え方を活用し、考察できる。 ③ 時系列・諸事象展開や変化・事象の比較・事象の背景や結果などに着目し、歴史的事象を比較したり関連させたりする。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、配信し書きこんだ（入力した）ワークシートなどをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言・発表、定期考査、書きこんだ（入力した）ワークシートなどをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み、課題提出物、書きこんだ（入力した）ワークシートなどをもとに評価する。				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、解説・補足説明をまとめ、基本事項をおさえる。 ② 副教材にて知識の定着を図る。 ③ 資料や文章史料をテーマに沿って読み取り、要点をまとめる。				
教科書・教材等	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川出版社） 現代の歴史総合 みる・読みとく・考えるノート（山川出版社）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	世界のつながり 歴史の扉	現代の生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や世界の歴史とつながっていることを理解する。 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取れる情報や特色を表現する。	6	10	第4章 経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌と各国の対応を理解する。 ファシズムの台頭、日本の対外政策の変化などが国際協調の動揺となったことを理解する。 第二次世界大戦の性格と惨禍、戦時中の社会状況や人々の生活を理解する。	8
5	第I部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の開国 第2章 国民国家と明治維新	近代化の変化の例を挙げ、説明できる。 産業革命と交通革命、中国の開港や日本の開国などを基に、世界市場が形成されたことを理解する。 18世紀後半以降の欧米の市民革命やナショナリズムの動向を理解する。	8	11	●国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ①対立・協調 ②統合・文化 ③平等・格差	国際連合の特色と国際経済体制を理解する。 冷戦の始まりとアジア諸国の動向を理解する。 日本に対する占領政策の変化、また日本の独立の流れを理解する。 国際秩序の変化や大衆の歴史について多面的・多角的に考察・表現する。	8
6		明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に立憲体制と国民国家の形成を理解する。 列強の帝国主義政策と、その下でのアジア諸国の変容を理解する。	8	12	第III部 グローバル化と私たち 第5章 冷戦と世界経済	グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国など第三の世界の台頭を理解する。 冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張など国際政治の変容を理解する。	6
7	●近代化と現代的な諸課題 ①開発・保全 ②対立・協調 ③自由・制限	現代社会においても調整が求められるような、近代化の歴史について多面的・多角的に考察・表現する。	6	1	第6章 世界秩序の変容と日本	石油危機による市場経済の変容と課題を理解する。 NIES、ASEANなどの急速な経済成長、日米貿易摩擦を理解する。 経済が立ち遅れた社会主義国の市場開放を理解する。 IT革命により、市場経済のグローバル化が一層進んだことを理解する。	6
8	第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際関係の緊密化、アメリカとソ連の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化など、諸資料から読み取る。	2	2		冷戦の終結とその背景、ソ連の解体のその影響を理解する。 民主化や地域統合の背景と影響を理解する。 地域紛争の拡散の背景と影響を理解する。	8
9	第3章 総力戦と社会運動	第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴を理解する。 戦後の日本やその他の国の社会の変化と社会運動（大衆運動）との関連を理解する。	8	3	●現代的な諸課題の形成と展望	持続可能な社会の実現を目指し、主題を設定し、資料の収集・分析、考察・構想、振り返りを行う。	6

備考

教科名	地理歴史	科目名	地理総合	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の目標	① 地理的な見方・考え方を習得することができる。 ② 修得した見方・考え方を働かせ、各地域の特徴をまとめることができる。 ③ 地理的な見方・考え方を働かせる活動を通して、国際社会に主体的に生きる公民としての資質や能力を身につけることができる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、配信し書きこんだ（入力した）ワークシートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言・発表、定期考査、書きこんだ（入力した）ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み、課題提出物、書きこんだ（入力した）ワークシートをもとに評価する。				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、解説・補足説明をまとめ、基本事項をおさえる。 ② 副教材にて知識の定着を図る。 ③ webGIS等を活用し、主題図をテーマに沿って読み取る。				
教科書・教材等	地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店）新詳高等地図（帝国書院） 地理総合ワークブック（二宮書店）新編地理資料（とうほう）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 地図とGISの活用 第1節 球面上の世界 第2節 日本の位置と領域	地球上の位置情報の基礎を身につける。 図法によって異なる地図の特色をつかみ、世界における日本の位置を理解する。 日本が抱える周辺諸国間での領有権問題や海洋資源利用について考える。	6	10	第3章 世界各地の生活文化 第1節 東アジア 第2節 ASEAN諸国 第3節 南アジア 第4節 イスラーム圏 第5節 アフリカ 第6節 EUと周辺諸国 第7節 ロシア	民族・経済・貿易・宗教・開発などの観点から各地域をとらえ、地域に存在する課題を理解する。	8
5	第3節 国内や国家間の結びつき 第4節 暮らしの中の地図とGIS	交通・通信・貿易・観光の各視点から、人や物・サービスの移動の様子について、資料を読み取って理解する。 GISの特徴を理解した上で、作成した地図を重ね合わせ、該当する地域の特徴を考察する。	8	11	第3章 世界各地の生活文化 第8節 アメリカ・カナダ 第9節 ラテンアメリカ 第10節 オセアニア 第4章 地球的課題と国際協力 第1節 地球環境問題 第2節 資源・エネルギー	民族・経済・貿易・宗教・開発などの観点から各地域をとらえ、地域に存在する課題を理解する。 地球環境問題について、将来予測図などを踏まえて、解決の取り組みを考える。 資源の分布の偏在性や国家間格差、将来的な課題について理解する。	8
6	第2章 地理的環境の特色 第1節 地形と生活文化 第2節 気候と生活文化	大地形の広がりや、プレートテクトニクスによるプレート境界と関連し、さまざまな地形を形成していることを理解する。 大気や海流の循環のしくみを理解する。	8	12	第4章 地球的課題と国際協力 第3節 人口・食料問題 第4節 居住・都市問題	人口が集まる都市の特徴や、先進国・途上国での違いを理解する。 都市問題を解決するため、各国が採ってきたこれまでの取り組みを理解する。	6
7	第2節 気候と生活文化	世界の気候を、ケッペンの気候区分をもとにして理解する。 雨温図・ハイサーグラフ・写真資料から、各地域の生活文化の特徴を理解する。	6	1	第5章 生活圏の諸課題 第1節 日本の自然災害と防災	資料・主題図をもとに、日本列島における災害リスクを引き起こす要因となる事象を理解する。 風水害・火山災害・地震・津波・都市型災害の具体的事例を、新旧地形図やハザードマップ、電子地図の読み取りを通して理解する。	6
8	第3節 産業と生活文化	第1次産業・第2次産業の地域的な特徴を理解する。	2	2	第5章 生活圏の諸課題 第1節 日本の自然災害と防災	自然災害への備えをどうすればよいかを考え、減災意識を向上させる。 GISを活用し、災害発生の可能性がある際の被害回避の方法や、減災の方法を提案する。	8
9	第3節 産業と生活文化 第4章 宗教と生活文化	第3次産業の地域的な特徴を理解する。 宗教・言語分布や人々とのかかわりを、主題図などの資料を通して理解する。	8	3	第2節 生活圏の諸課題と地域調査	日本が抱える地域的課題について、主題図を適切に読み取る。	6

備考

教科名	公民	科目名	公共	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 現代の諸課題を考察する手がかりとなる概念・理論を習得し、諸資料をもとに現在の問題を考えることができる。 ② 習得した基本的原理を活用し、事実をもとにしてさまざまな角度から考察できる。 ③ 現代の諸課題を主体的に解決しようとするすることができる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、配信し書きこんだ（入力した）ワークシートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言・発表、定期考査、書きこんだ（入力した）ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み、課題提出物、書きこんだ（入力した）ワークシートをもとに評価する。				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、解説・補足説明をまとめ、基本事項をおさえる。 ② 副教材にて知識の定着を図る。 ③ 諸資料をテーマに沿って読み取る。				
教科書・教材等	公共（東京書籍） 公共ワークノート（東京書籍）				

年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1部 「公共」とびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち	青年期の特徴や発達過程について理解する。 日本・世界の思想家の考え方や「公」と「私」のとらえ方を理解する。	6	10	第3章 経済社会で生きる私たち 第4章 私たちの職業生活	財政のしくみ・租税や国債の役割・社会保障の意義と現状について、実際の事象と関連付けて理解する。 働くことの意義・労働市場の役割・キャリア形成の課題について理解する。	8
5	第2章 公共的な空間における人間としての在り方 第3章 公共空間における基本的原理	ベンサム功利主義・ミルの内的強制力、徳倫理学の考え方、カントの義務論、ロールズの考え方を理解する。 民主主義・法の支配の意義や、人間の尊厳と平等における歴史的展開を理解する。	8	11	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会の中で生きる私たち	労働契約の特性・労働三法の内容・日本の労働問題について、実際の事象と関連付けて理解する。 国際法の意義と役割・集団安全保障のしくみ・国際連合の役割などを理解する。	8
6	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	地方自治・国会・内閣の役割と権限を、実際の政治事象を手掛かりにして理解する。 行政の肥大化、日本の選挙制度の課題、政党・政治資金の課題、ネット時代の世論形成と課題を理解する。	8	12	第5章 国際社会の中で生きる私たち	冷戦後の安全保障政策、紛争とその要因・難民問題の発生と解決に向けた取り組みを理解する。	6
7	第2章 法の働きと私たち	社会規範上の法の特色、裁判における法の適用と解釈、私法の三つの原則を理解する。 消費者保護法制や契約の特徴を理解する。	6	1	第5章 国際社会の中で生きる私たち	国際収支統計の意味・リカードの比較生産費説が理解できる。 為替のしくみ・国際金融の動向について、実際の経済的事象と関連付けて理解できる。	6
8	第2章 法の働きと私たち	司法権の成立過程、裁判制度のしくみ、違憲審査制について理解する。	2	2	第5章 国際社会の中で生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	南北問題の背景と推移、人口問題、格差の是正に向けた取り組みを理解する。 第1章・第2章であったテーマから1つ選択し、課題を設定し、レポートを書く。	8
9	第2章 法の働きと私たち 第3章 経済社会で生きる私たち	刑事司法のしくみ、検察審査会制度について理解する。 経済主体と経済循環について実際の経済事象と関連付けて理解する。	8	3	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	第1章・第2章であったテーマから1つ選択し、課題を設定し、レポートを書く。	6

備考

教科名	数学	科目名	数学Ⅰ(数学ⅠⅡ)	単位数	3
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の目標	① 高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数について理解すること。 ② 基礎的な知識の習得と技能の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。 ③ 数学的知識を活用し、表現できる力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえらる説明が書けるよう心がける。				
教科書・教材等	高等学校 数学Ⅱ(数研出版) 改訂版 4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)、チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学Ⅱ> 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係	数の広がりや複素数まで学び、数の知識、理解を深める。  解と係数の関係で解に関するいろいろな問題が処理できるようになる。	9	10	3. 三角関数のグラフ 4. 三角関数の性質  5. 三角関数の応用	三角関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。  三角関数の方程式や不等式の理解を深める。	12
5	第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点	剰余の定理を用いて、余りを求めることができるようにする。 高次方程式の理解を深める。 座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。	12	11	第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用	三角関数の加法定理を理解し、応用分野まで発展させる。	12
6	3. 直線の方程式 4. 2直線の関係  第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線	円の方程式、円と直線との関係を見出し、理解を深める。	12	12	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式	平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解する。	9
7	7. 2つの円  第3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式	2つの円の位置関係を条件より求めることができるようにする。 与えられた条件を満たす点の軌跡を式で表せるようにする。	9	1	第2節 関数の値の変化 4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用	微分と積分法の関係を理解し、増減表、グラフの応用まで活用できるようにする。	9
8	■図形と方程式問題演習		3	2	第3節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解する。定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。積分と面積の関係を理解し、活用できるようにする。	12
9	9. 不等式の表す領域  第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 角の拡張 2. 三角関数	不等式を満たす点の集合が、平面上のある領域を表すことを理解する。 一般角や弧度法を理解し、それを用いて三角比が求められるようになる。	12	3	問題演習		9

備考

教科名	数学	科目名	数学A(数学B)	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の目標	① 指数・対数関数、数列、ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習得を図る。 ② 事象を数学的に考察し、処理する能力を育てる。 ③ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえらる説明が書けるよう心がける。				
教科書・教材等	改訂版 高等学校 数学B(数研出版)、高等学校 数学Ⅱ(数研出版)、高等学校 数学C(数研出版) 改訂版 4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)、チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学Ⅱ> 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができ、また累乗根を含む計算では、分数指数を利用して計算することができるようにする。指数関数のグラフの概形を理解し置き換えによって方程式や不等式を解くことができるようにする。	9	10	第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	12
5	第2節 対数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	指数と対数を相互に置き換えることができる。定義を理解し、公式を利用できる。  対数関数のグラフから、対数関数の性質を理解し、それらを用いた問題が解けるようにする。  常用対数の有用性を理解し、桁数の問題が解けるようにする。	12	11	5. ベクトルの図形への応用  6. 座標空間における図形	ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解して、それらを利用できる。  空間ベクトルを利用して、線分の長さ、分点の座標などを考察できる。	12
6	<数学C> 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算	ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。	12	12	<数学B> 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項	数列の定義・表記を理解し、関連する用語を適切に用いることができる。数の並びからその規則性を推定して、数列の一般項を考察できるようにする。	9
7	3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができるようにする。ベクトルの大きさとなす角から、内積を求めることができるようにする。	9	1	2. 等差数列 3. 等差数列の和  4. 等比数列 5. 等比数列の和	初項と公差を文字を使って表すことが出来るようにする。また、和の公式を適切に利用できるようにする。  初項や公比を文字をつかって表すことができるようにする。また、和の公式を適切に利用できるようにする。	9
8	第2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル	位置ベクトルを導入し、線分の内分点、外分点の位置ベクトル、三角形の重心の位置ベクトルを求めることができるようにする。	3	2	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号 7. 階差数列  8. いろいろな数列の和	$\Sigma$ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。  数列の規則性の発見に階差数列を利用でき、もとの数列の一般項が求められるようにする。  和の求め方を工夫し、数列の和を求められるようにする。群数列を考察できるようにする。	12
9	6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示	位置ベクトルを用いて、始点の変更による式変形ができるようにする。線分上の点を、線分をs: (1-s)に内分する点として処理できるようにする。	12	3	第3節 数学的帰納法 9. 漸化式  10. 数学的帰納法	基本的なパターンの漸化式の問題が素早く解けるようにし、文章から式をたてることができるようにする。  数学的帰納法の考え方を理解し、等式や不等式の証明ができるようにする。	9

教科名	理科	科目名	物理基礎	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 物理的な事物・現象についての関心・探究心を高め、概念や原理・法則を理解する。 ② 自然の事物・事象についての観察・実験などを行い、自然を探究する能力や態度を高める。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	物理基礎(数研出版) センサー総合物理(啓林館)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	〔物理基礎〕 第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1. 速度 2. 加速度	・速度について理解し、求めることができる。 ・加速度について理解し、求めることができる。	6	10	4. 力学的エネルギーの保存	・様々な運動に対しエネルギー保存、エネルギーと仕事の関係を理解する。	8
5	3. 落体の運動 第2章 運動の法則 1. 力とのはたらき 2. 力のつりあい	・状況に応じて、等加速度運動の公式を書き換えることができる。 ・力の定義を正確に理解し、物体にはたらく力を描くことができる。 ・力のつりあいの式を立て、解くことができる。	8	11	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1. 熱と熱量 2. 熱と物質の状態	・温度の定義を確認し、熱エネルギーとの関係を学び、熱量保存則を理解する。 ・状態変化を熱エネルギーから考察し、潜熱を求めることができる。	8
6	3. 運動の法則 4. 摩擦を受ける運動	・物体の運動方程式を解き、加速度や速度を求めることができる。 ・状況に応じて摩擦力を判断し、記述することができる。	8	12	3. 熱と仕事 4. 不可逆変化と熱機関	・熱力学第一法則を理解する。 ・熱機関のはたらきを理解し、熱効率を求めることができる。	6
7	5. 液体や気体から受ける力	・圧力や浮力の発生原理について理解し、適切に公式が使える。	6	1	第3編 波 第1章 波の性質 1. 波の媒質と振動	・波の分野で新たに導入される波長、振動数、周期などの定義を理解し、波を考察する。 ・任意の座標や時間、 $y-x$ グラフおよび $y-t$ グラフを描くことができる。	6
8	第3章 仕事と力学的エネルギー 1. 仕事	・仕事の定義を理解し、仕事を正確に計算することができる。	2	2	2. 波の伝わり方	・重ね合わせの原理や定常波について理解する。 ・自由端、固定端の時の波の反射について理解し、合成波を描くことができる。	8
9	2. 運動エネルギー 3. 位置エネルギー	・運動、弾性、位置エネルギーなどの力学的エネルギーを理解する。	8	3	第2章 音 1. 音の性質 2. 発音体の振動と共振共鳴	・音を波として考察し、それによって理解ができる現象があることを知る。	6

備考

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2		
対象	高校1年	履修形態	選択	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 生物や生物現象についての概念や原理・法則を理解する。 ② 自然の事物・事象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高める。						
評価の観点	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価						
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。						
教科書・教材等	生物基礎(東京書籍)、生物(東京書籍) センサー総合生物(啓林館)						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	〔生物基礎〕 第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性について理解する。</li> <li>生命活動とそれを支えるエネルギーについて理解する。</li> <li>酵素反応の実験観察を行う。</li> </ul>	6	10	2. 腎臓と肝臓 3. 神経とホルモンによる調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>腎臓と肝臓のはたらきを理解する。</li> <li>神経とホルモンによる情報伝達と分泌調節のしくみを理解する。</li> </ul>	8
5	3. 光合成と呼吸  第2章 遺伝子と そのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>光エネルギーを化学エネルギーに変える光合成と生命活動に必要なエネルギーを取り出す呼吸について理解する。</li> </ul>	8	11	4. 免疫	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫によるたぐみな生体防御のしくみを理解する。</li> </ul>	8
6	1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の発現	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造と遺伝情報の関係について理解する。</li> <li>DNAモデルを作製する。</li> <li>遺伝情報からタンパク質が合成される過程を理解する。</li> </ul>	8	12	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布 1. さまざまな植生 2. 植生の遷移	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上でみられるさまざまな植生について理解する。</li> <li>植生が移り変わる過程とそのしくみについて理解する。</li> </ul>	6
7	3. 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報の分配と分配された遺伝情報について理解する。</li> <li>体細胞分裂の実験観察を行う。</li> </ul>	6	1	3. 気候とバイオーム 第5章 生態系とその保全 1. 生態系 2. 物質循環とエネルギーの流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候ごとの植生と生物のまとまりを理解する。</li> <li>生態系の成り立ちや生物どうしのつながりを理解する。</li> <li>炭素の循環に伴ってエネルギーが移動していることを理解する。</li> <li>窒素の循環について理解する。</li> </ul>	6
8	代表的な例題を用いた問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の特徴及び遺伝子のはたらきに関する問題演習により内容理解を深める。</li> </ul>	2	2	3. 生態系のバランス 4. 人間生活と生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系のバランスとは何かを考える。</li> <li>生態系に及ぼす人間活動の影響と生態系の保全の重要性について考える。</li> </ul>	8
9	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 1. 体液という体内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞が安定した生命活動を維持できるしくみを理解する。</li> </ul>	8	3	代表的な例題を用いた問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の体内環境、植生の多様性と分布、生態系とその保全に関する問題演習により内容理解を深める。</li> </ul>	6

備考

教科名	理科	科目名	化学基礎(理系)	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 化学の役割や物質の扱い方を理解する。 ② 物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍)、化学(東京書籍) センサー総合化学(啓林館)、オリジナルテキスト				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	[化学基礎] 第3章 酸化還元反応 4. さまざまな酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池の性質を学ぶ。</li> <li>水溶液の電文会の原理を学ぶ。</li> </ul>	6	10	2. 希薄溶液の性質 3. コロイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下などの溶液の性質を学ぶ。</li> <li>コロイドの性質を学ぶ。</li> </ul>	8
5	[化学] 第1編 物質の状態と平衡 第1章 物質の状態 1. 物質の三態 2. 気体・液体間の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱運動と三態について学ぶ。</li> <li>分子間力と状態変化について学ぶ。</li> </ul>	8	11	第4章 固体の構造 1. 結晶 2. 金属結晶の構造 3. イオン結晶の構造 4. その他の結晶と非結晶	<ul style="list-style-type: none"> <li>結晶の成り立ちとその構造について学ぶ。</li> <li>金属、イオン結晶格子について学ぶ。</li> <li>アモルファスについて学ぶ。</li> </ul>	8
6			8	12			6
7	第2章 気体の性質 1. 気体 2. 気体の状態方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>体積、温度、圧力など気体に共通する法則について学ぶ。</li> <li>理想気体の状態方程式について学ぶ。</li> <li>理想気体と実在気体の違いについて学ぶ。</li> </ul>	6	1	第2編 化学反応とエネルギー 第1章 化学反応と熱・光 1. 反応熱と熱化学方程式 2. ヘスの法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱化学反応式を学ぶ。</li> <li>ヘスの法則を学ぶ。</li> <li>結合エネルギーを学ぶ。</li> </ul>	6
8			2	2			8
9	第3章 溶液の性質 1. 溶解	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶解の仕組みや溶解量について学ぶ。</li> </ul>	8	3	第2章 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡 2. 平衡の移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学平衡の法則を各平衡状態において考察する。</li> <li>ルシャトリエの原理を学ぶ。</li> </ul>	6

備考

教科名	理科	科目名	化学基礎(文系)	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 化学の役割や物質の扱い方を理解する。 ② 物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍) センサー化学基礎(啓林館)、オリジナルテキスト				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	[化学基礎] 第3章 酸化還元反応 4. さまざまな酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池の性質を学ぶ。</li> <li>水溶液の電文会の原理を学ぶ。</li> </ul>	6	10			8
5	[化学基礎] 物質の成分 物質の構成元素 物質の三態 原子の構造 元素の性質と周期律	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8	11	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と量的関係	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8
6			8	12			6
7			6	1	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	6
8			2	2	酸化と還元 酸化算と還元剤 金属と酸化還元反応 電池・電気分解	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8
9	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 物質の分類	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8	3			6

備考

教科名	理科	科目名	科学と人間生活(外進)	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識をもって、観察・実験などを行う。 ② 科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	科学と人間生活(第一学習社)、化学基礎(東京書籍) センサー化学基礎(啓林館)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1編 第1章 物質の構成元素	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の分類や分離、生成方法を学ぶ。</li> <li>単体、化合物、元素の概念を学ぶ。</li> <li>物質の状態変化について学ぶ。</li> </ul>	6	10	2. 物質質量	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質質量とその単位「mol」について学ぶ。</li> <li>気体の密度について学ぶ。</li> </ul>	8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 物質の成分</li> <li>2. 物質の構成元素</li> <li>3. 物質の三態</li> </ul>				3. 溶液の濃度	<ul style="list-style-type: none"> <li>質量パーセント濃度とモル濃度の求め方を学ぶ。</li> </ul>	
5			8	11	4. 化学反応式と量的関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応における物質の量的関係を物質質量を用いて学ぶ。</li> </ul>	8
6	第2章 原子の構造と元素の周期表	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の構造、電子配置と原子の性質との関係性を学ぶ。</li> <li>元素の周期律と元素の性質を学ぶ。</li> </ul>	8	12			6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 原子の構造</li> <li>2. 元素の周期律と元素の性質</li> </ul>						
7	第3章 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン結合のでき方と性質を学ぶ。</li> <li>共有結合のでき方と性質、配位結合について学ぶ。</li> <li>電気陰制度と分子の極性について学ぶ。</li> </ul>	6	1	第2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の定義や性質、反応について学ぶ。</li> <li>酸と塩基の強さと、水素イオン濃度の関係を学ぶ。</li> <li>水の電離とpHについて学ぶ。</li> </ul>	6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. イオンとイオン結合</li> <li>2. 分子と共有結合</li> </ul>				1. 酸と塩基		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 金属と金属結合</li> <li>4. 物質の分類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属結合のでき方と性質について学ぶ。</li> <li>ファンデルワールス力と水素結合について学ぶ。</li> <li>物質の分類方法を学ぶ。</li> </ul>	2	2	3. 中和反応と塩の生成	<ul style="list-style-type: none"> <li>中和反応および塩の種類と性質を学ぶ。</li> </ul>	8
9	第2編 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>相対質量の概念を学ぶ。</li> <li>物質のモル質量の求め方を学ぶ。</li> </ul>	8	3	4. 中和滴定	<ul style="list-style-type: none"> <li>中和滴定の操作を習得し、量的関係を学ぶ。</li> </ul>	6
	第1章 物質質量と化学反応式				1. 原子量・分子量・式量		

備考

教科名	理科	科目名	化学基礎(外進)	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の目標	① 化学の役割や物質の扱い方を理解する。 ② 物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 化学の基本的な概念や原理・法則の理解・・・小テストや定期考査で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍) センサー化学基礎(啓林館)、オリジナルテキスト				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	[化学基礎] 第3章 酸化還元反応 1. 酸化と還元	・電子の授受による酸化還元 の定義を学ぶ。	6	10			8
	2. 酸化剤と還元剤	・酸化剤と還元剤のはたらきから 酸化還元反応を学ぶ。					
	3. 金属の酸化還元反応	・金属のイオン化列と 化学反応との関係を学ぶ。					
5	4. さまざまな 酸化還元反応	・電池の性質を学ぶ。 ・水溶液の電気分解の原理を学 ぶ。	8	11	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と量的関係	オリジナルテキストの演習問題に 取り組みながら、基礎事項をおさ える。	8
6	[化学基礎] 物質の成分 物質の構成元素 物質の三態 原子の構造 元素の性質と周期律	オリジナルテキストの演習問題に 取り組みながら、基礎事項をおさ える。	8	12			6
7			6	1	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定	オリジナルテキストの演習問題に 取り組みながら、基礎事項をおさ える。	6
8			2	2	酸化と還元 酸化算と還元剤 金属と酸化還元反応 電池・電気分解	オリジナルテキストの演習問題に 取り組みながら、基礎事項をおさ える。	8
9	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 物質の分類	オリジナルテキストの演習問題に 取り組みながら、基礎事項をおさ える。	8	3			6

備考

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。 ② 音楽に関する感性を高める。 ③ 創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
評価の観点 評価方法	① 自己のイメージをもち、感性を働かし、創造的で個性豊かに技能を身に付けている。 ② 音楽文化に対する総合的な理解を深め、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。 ③ 音楽文化を愛好・尊重し、個性豊かに意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わう。				
学習方法	① 腹式呼吸による発声練習を通し、中学時に身につけた能力をさらに伸張する。 ② 基本的な楽典を学び、視唱（奏）力を身に付ける。 ③ 器楽による独奏・合奏。 ④ 作品の時代・文化背景を知り、世界の音楽をより深く理解・鑑賞し、多様性を学ぶ。				
教科書・教材等	Tutti改訂版（教育出版社）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	豊かな表現を目指した歌唱 「Caro mioben」 「Sing」 「Danny Boy」 「The Sound of music」 「Happy birthday to you」	英語曲の学習による、難易度の高い演奏に重きを置く。	6	10	鑑賞 日本と世界の諸民族の音楽鑑賞 オペラ・アジアの音楽 日本の音楽・ジャズ	歴史・文化・風土を含め、より深く、作品についての深い理解を目指す。各国の多様性と幅広い価値観を理解させる。 * 9月からの継続	8
5			8	11	「少年時代」 「世界に一つだけの花」 「四季の歌」	自分の持つイメージ・感情を豊かに表現できているかを重視する。	8
6	器楽 ギター 「クリーガーのメヌエット」 「グリーンスリーブス」	鑑賞活動との関連を図りながら楽器の特徴や奏法の違いを体験的に理解し、美しい音色を求め演奏させる。	8	12	美しいハーモニーを目指す 3部合唱 「COSMOS」 「道」	調和するハーモニーを目指し、まとまりを大切にしながら作品を作り上げさせる。	6
7			6	1	音楽発表会にむけてのグループ練習	各グループに分かれ、歌・器楽演奏の発表に向け練習する。	6
8	鑑賞 日本と世界の諸民族の音楽鑑賞 オペラ・アジアの音楽 日本の音楽・ジャズ	歴史・文化・風土を含め、より深く、作品についての深い理解を目指す。各国の多様性と幅広い価値観を理解させる。	2	2			8
9			8	3	音楽発表会 グループ・個人による音楽発表会と相互評価 「卒業式関連唱歌」	1年を通して身につけた技術・表現力で、個々の個性を生かした歌唱・合唱・器楽等を行う。発表会形式の実技試験を行う。	6

備考： 曲目は変更される場合があります

教科名	芸術	科目名	美術 I	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛する心情を育てる。 ② 感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。				
評価の観点 評価方法	① 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。(美術への関心・意欲・態度) ② 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。(発想や構想の能力) ③ 感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。(創造的な技能)				
学習方法	個人制作と一斉授業。				
教科書・教材等	高校美術 I (日文) 水彩用具、スケッチブック、資料、など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	鉛筆で静物、風景、人物を描く。	対象をよく観察して形、明暗、量感、質感などを描写する。	6	10	水彩で静物、風景を描く。 * 9月の内容の継続	鉛筆デッサンで学んだ明暗、量感などを色彩で表現する。	8
5			8	11	シナ材の板、石などから彫刻刀を使って掘り出す。	想像力を働かせて、自分らしい表現ができたか、最後まで仕上げることができたかどうかをみていく。	8
6			8	12			6
7	色鉛筆で静物、風景を描く。	鉛筆デッサンで学んだ明暗、量感などを色彩で表現する。	6	1	デザインを表現する。	イラストレーションの表現方法を工夫して描く。	6
8			2	2			8
9	水彩で静物、風景を描く。	鉛筆デッサンで学んだ明暗、量感などを色彩で表現する。	8	3	鑑賞する。	洞窟絵画から現代美術まで、美術の流れの概要を理解する。	6

備考

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物を含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各競技の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て実生活に役立てることができる。	6	10	卓球	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	8
	陸上競技	スポーツの歴史、文化的特性のスポーツの特徴について理解できる。  記録の向上や競争の楽しさを味わい、各種目特有の技能を高めることができる。					
5			8	11	バレーボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	8
6			8	12			6
7	サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	6	1	バスケットボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	6
8			2	2	バドミントン	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	8
9			8	3			6

備考

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 保健分野における知識をテストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 教科書・資料を用いた学習				
教科書・教材等	現代保健体育（大修館書店）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	健康の考え方	健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び環境づくりがかかわること。	3	10			4
5			4	11	交通安全	交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などがかわること。また交通事故には責任や賠償問題が生じること。	4
6	健康の保持増進と疾病の予防	健康の保持増進と生活習慣の予防には食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があること。	4	12			3
7			3	1	応急手当	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、心肺蘇生等の応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。	3
8			1	2			4
9	精神の健康	人間に欲求と適応機制には様々な種類があること。精神と身体には、密接な関連があること。また精神の健康の保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。	4	3			3

備考

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ② 家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 思考・判断・表現…出席と授業態度、提出物から評価する。 ② 知識・技能…ワークシート等や実技試験をもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…提出物、実習での様子、振り返りレポートなどから評価する。				
学習方法	① 教室での一斉授業で内容を理解する。 ② 調理実習などの実習により、体験の中で実践的な態度を身につけていく。				
教科書・教材等	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	・充実した人生を送るために、自分らしいライフスタイルの形成に関心をもつ。	6	10	第8章 住生活をつくる  第3章 子どもと共に育つ	・住生活において、今後必要となる事象を理解する。  ・子どもについて学習し、大人の役割を自覚する。 ・子どもに迫る危険について学習し、子どもたちを守るものとしての自覚を育てる。	8
5	第6章 食生活をつくる	・栄養、食品、調理、食品衛生について学習をし、健康的な食生活を送る為の知識を身につける。	8	11	第3章 子どもと共に育つ	・これからの保育環境について、私たちが何をすべきかという課題について考える。	8
6	第6章 食生活をつくる	・調理実習を行い、技術を習得する。	8	12	第4章 超高齢社会を共に生きる	・高齢者の心身の特徴・生活・福祉について学習し、高齢者の生活を支える為の役割について考える。	6
7	第7章 衣生活をつくる	・被服の機能に関心を持ち、洗濯等の適切な被服管理の方法を学ぶ。 ・被服管理実習を行い、基本的な技術を習得する。	6	1	第5章 共に生き、共に支える  第9章 経済生活を営む	・我々を取り巻く社会保障のしくみや、生活と福祉とのかわりを理解する。  ・財やサービスを購入するにあたっての契約の意義や、支払方法について理解する。	6
8	第7章 衣生活をつくる	・被服の機能に関心を持ち、洗濯等の適切な被服管理の方法を学ぶ。 ・被服管理実習を行い、基本的な技術を習得する。	2	2	第9章 経済生活を営む	・生涯における経済生活の見通しを立てる。 ・消費者における権利と責任の関係を理解する。	8
9	第8章 住生活をつくる	・部屋の設計を通して、動線や作業効率をふまえた住居計画を理解する。 ・住居が持つ機能を理解する。	8	3	第10章 持続可能な生活を営む  第11章 これからの生活を創造する	・SDGsの達成に向けて、自分たちで取り組める家庭生活上での改善策を考える。 ・これまでの学習を振り返り、望ましい生活について考える。	6

教科名	情報	科目名	情報I	単位数	2		
対象	高1	履修形態	必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。						
評価の観点 評価方法	① 情報への関心・意欲・態度。 ② 情報を適切に収集・処理・発信させるための基礎的な知識の理解。 ③ 授業態度、課題の内容と出席状況、総合演習の内容。						
学習方法	① 教科書の解説と問題演習 ② PCルームでの実習						
教科書・教材等	情報I(日本文教出版) 情報Iサブノート(日本文教出版)						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 第1節 情報の特性 第2節 メディアの特性 第3節 問題解決の考え方	情報の特性を考える。 メディアの特性を考える。 問題解決の考え方を身につける。	6	10	第2節 アルゴリズムとプログラム	変数、データ型、演算子、関数などプログラムを構成する要素を確認する。  配列など、プログラミングでデータを効率よく利用する方法を理解する。	8
5	第4節 法の重要性と意義 —著作権 第5節 法の重要性と意義 —個人情報 第6節 情報社会と情報セキュリティ 第7節 情報技術の発展による生活の変化	著作権侵害について考える。 個人情報について考える。 サイバー犯罪について考える。  ソーシャルメディアの適切な活用方法を身につける。	8	11	第3節 モデル化とシミュレーション	モデル化とシミュレーションの考え方を理解する。  プログラミングによりコンピュータを用いてシミュレーションをする。	8
6	第8節 情報技術の発展による社会の変化  第2章 第1節 メディアとコミュニケーション	情報技術の発展と社会の変化を考える。  メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性を理解する。 情報機器のパーソナル化とソーシャルメディアの関係性を理解する。	8	12	第4章 第1節 情報通信ネットワークのしくみ	コンピュータネットワークの構成を理解する。  データ伝送のしくみとプロトコルの役割を理解する。  暗号化などの情報セキュリティを高める方法について理解する。	6
7	第2節 情報のデジタル化	アナログとデジタルの違い、2進法と情報量の単位との関係を理解する。  コンピュータによる情報の表現のしくみを理解する。	6	1	第2節 情報システムとデータベース	情報システムが社会をどのように支えているか理解する。  データベースの役割について理解する。	6
8	第3節 情報デザイン	情報デザインの考え方を学ぶ。 情報デザインによる問題解決のプロセスを理解する。	2	2	第3節 データの活用	データの活用が問題解決に役立つことを踏まえ、データ収集の方法を理解する。  数値データ、テキストデータの分析方法を理解する。	8
9	第3章 第1節 コンピュータの基本的な構成を理解する  第2節 アルゴリズムとプログラム	コンピュータの基本的な構成を理解する。  CPUによる演算のしくみを理解する。  アルゴリズムの基本構造を確認し、図や表で表現する方法を知る。	8	3	まとめ		6

備考

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ	単位数	3
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できるようにする。 ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解できるようにする。 ③ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用して概要や要点などを目的に応じてとらえることができているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 予習にて、本文理解に必要な語彙や文法事項を確認しておく。 ② 授業を通して、本文内容や文法事項などを理解する。 ③ 読む・聞く・音読する・書く・発表するなど、積極的に教科書内容に触れる。 ④ 英語を通して、情報や主張・意見を的確に理解できるよう復習に努める。				
教科書・教材等	教科書 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I、ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II（東京書籍） 副教材 GRAMMARMASTER（Z会出版）、速読英単語必修編（Z会）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	ENRICH LEARNING I Unit1 What can happen in one second?	学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。  【受身／不定詞／動名詞】	9	10	ENRICH LEARNING I Unit5 Why do people tell each other stories?	ウェブの記事などを通して、自分が体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。  【SVOC(分詞)／関係副詞how／助動詞の過去形】	12
5	ENRICH LEARNING I Unit2 What do superstitions mean to you?	機内誌の記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。  【助動詞＋受身／現在完了進行形】	12	11	ENRICH LEARNING I Unit6 What are the qualities of a good leader?	オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップを持つ人物の経歴を学ぶ。  【分詞構文／関係副詞where(when/why)】	12
6	ENRICH LEARNING I Unit3 How can we promote sustainability?	Eメールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。  【分詞の形容詞的用法／関係代名詞】	12	12	冬期集中講座		9
7	夏期集中講座		9	1	ENRICH LEARNING I Unit7 Where will you live in the future?	英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。  【原形不定詞／仮定法過去完了／過去完了進行形】	9
8	夏期集中講座		3	2	ENRICH LEARNING I Unit8 How do cultures and traditions affect teens' lives?	ウェブ記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。  【関係代名詞what／関係代名詞の非制限用法】	12
9	ENRICH LEARNING I Unit4 What can we learn from native Hawaiians?	博物館のパンフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。  【現在完了の受身／過去完了形】	12	3			9

備考 学習進度または中心的に使用する教材は、クラスにより異なる。

教科名	外国語	科目名	論理表現Ⅰ,Ⅱ	単位数	2
対象	高校1年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できるようにする。 ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、話し手や聞き手の意図などを理解し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。 ③ 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える力を養う。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用して概要や要点などを目的に応じてとらえることができているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 予習にて、本文理解に必要な文法事項、語彙を確認しておく。 ② 授業を通して、本文内容や文法事項などを理解する。 ③ 読む・聞く・音読する・書く・発表するなど、繰り返し積極的に教科書内容に触れる。 ④ 学習した文法事項や語彙などを復習し自分の伝えたい内容を英語で表現できるようにする。				
教科書・教材等	教科書 FACTBOOK English Logic and ExpressionⅠ、 FACTBOOK English Logic and ExpressionⅡ（桐原書店） 副教材 GRAMMARMASTER（Z会出版）、無双英語（本校オリジナル教材）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	FACTBOOK Unit 0 Get to know more about your classmate	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手について知らなかったことを聞き出す。</li> </ul> <b>【動詞、基本文型】</b>	6	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を照らし合わせて条件に合うものを確認する。</li> </ul> <b>【不定詞】</b>	8
	FACTBOOK Unit 1 Smart home, smart city	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望を伝え、スケジュールを相談しながら決める。</li> <li>展示会についての感想をブログの日記に書く。</li> <li>時を表す表現</li> </ul>			FACTBOOK Unit 6 How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝える。</li> <li>相手からの悩み相談にアドバイスをする。</li> </ul> <b>【動名詞】</b>	
5	FACTBOOK Unit 2 History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> <li>通りを見ながら街並みの変化について説明する。</li> <li>移住体験ツアーを進めるウェブの広告文を書く。</li> </ul> <b>【完了形】</b>	8	11	FACTBOOK Thinking Logically 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な具体例や説明が示されたまとまりのある意見文を書く。</li> <li>フードロス減らすことについてプレゼンテーションをする。</li> </ul>	8
					FACTBOOK Unit 7 How many clothes do you buy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈るための商品を相談しながら決める。</li> <li>プレゼントへの感謝の気持ちを伝える。</li> </ul> <b>【分詞】</b>	
6	FACTBOOK Thinking Logically 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思を明確に示したまとまりのある文章を書く。</li> <li>自分が将来、今の町に住み続けたいかスピーチをする。</li> </ul>	8	12	FACTBOOK Unit 8 How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめの商品を比較しながら紹介する。</li> <li>図表を見ながらパンフレットの内容を説明する。</li> </ul>	6
	FACTBOOK Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある商品を紹介し、その特長を説明する。</li> <li>防災意識を高めるパンフレットの文章を書く。</li> </ul> <b>【助動詞】</b>				冬期集中講座	
7	FACTBOOK Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が知らない情報を説明する。</li> <li>問題に対処するための道具を紹介する。</li> </ul>	6	1		<b>【比較】</b>	6
	夏期集中講座				FACTBOOK Thinking Logically 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>つなぎ言葉を用いて論理的な流れの意見文を書く。</li> <li>賛成と反対の立場に分かれて簡単なディベートをする。</li> </ul>	
8		<b>【受動態】</b>	2	2	FACTBOOK Unit 9 A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの考える良い方法を具体的に説明し合う。</li> <li>お互いの希望を伝えあい参加プログラムを決める。</li> </ul> <b>【関係詞】</b>	8
					FACTBOOK Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の要望に合った提案をする。</li> <li>外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書く。</li> </ul> <b>【仮定法】</b>	
9	FACTBOOK Thinking Logically 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書く。</li> </ul>	8	3	FACTBOOK Thinking Logically 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句や文のつながりをよくして構成の整った意見文を書く。</li> <li>移住してきた外国人に伝えることをスピーチをする。</li> </ul>	6
	FACTBOOK Unit 5 Save food you can still eat!	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出す。</li> </ul>					

備考 学習進度または中心的に使用する教材は、クラスにより異なる。

第 2 学年

教科名	国語	科目名	古典探究	単位数	4
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 古典を正確に読解し的確に理解する能力を育成し、大学入試に対応できる能力を身につける。 ② 様々な時代の文学（近現代の作品を含む）を学ぶことで、思考力を伸ばし心情を豊かにする。 ③ 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材（古典教材・現代文教材）を用いた比較・探究を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	精選古典探究（大修館） 古典グレートラーニング48レベル3 必携新明説漢文（尚文） 自作テキスト など				

年間授業計画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	古文：「源氏物語」 ・桐壺 ・若紫	「源氏物語」の世界に親しみ、その魅力を理解する。また、それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理を理解する。内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を理解する。	6	10	漢文：「文章」 古文「和泉式部日記」 ・薫る香に	作品に現れる社会観・自然観を読み取り、自己の感じ方を豊かにさせる。また、速読・速解能力に磨きをかける。 作者の思想や感情を読み取り、物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に理解する。また和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。	8
5	漢文：「故事・逸話」 ・糟糠の妻 ・塞翁が馬	漢文構造・句法事項に関しては抜けの無いようにする。また、漢文に親しみ、当時の人々の考え方や生き方を学ぶ。	8	11	漢文：「思想」 ・賢哉回也 ・暴虎馮河 古文：「蜻蛉日記」	孔子や孟子等の学問や政治、思想に対する考え方を知り、当時の物の考え方や社会性を学ばせ、速読・速解能力に磨きをかける。 和歌の表現技法を理解したり、登場人物の意図を捉え、人物間の心情を表現に即して深く読み味わえるようにする。	8
6	古文：「大鏡」 ・鏡へ弓 ・花山院の出家 漢文：「漢詩」	作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。歴史物語としての特色を理解する。読解の前提となる敬語や文法知識を身につける。 唐代の有名な詩人の詩を繰り返し音読し、人生観や自然観についての認識を深めるとともに、漢文独特の口調・句法を習得する。また、近体詩の規則・特徴を理解する。	8	12	復習及び発展内容		6
7	漢文：「史伝」 「項羽と劉邦」 ・鴻門之会 ・四面皆楚歌す	表現や修辞、文体等の特色を理解し、その巧みな描写、簡潔な語調などの優れた表現に親しむ。また漢文の基本句法を修得する。	6	1	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を着ける演習や指導も随時行う。	6
8	復習及び発展内容		2	2	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を着ける演習や指導も随時行う。	8
9	古文：「枕草子」	和歌等を含む文学作品の学習を通じ、登場人物の心情変化や行動理由を正確に読み取る。古典常識を身につけながら、場面状況に応じた本文の読み取りから、速読速解能力の基礎を養う。	8	3	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を着ける演習や指導も随時行う。	6

備考

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究	単位数	5
対象	高校2年	履修形態	選択必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 世界の歴史を日本の歴史と関連付け、世界の構造や成り立ちを歴史的視野から理解しかつ考察する力を養う。 ② 他国や他の地域と協調していく態度を身につける。 ③ 民主的、平和的な国家の一員としての自覚をもつ。 ④ 国際社会の中で、主体的に行動する日本人としての資質を培う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、ワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、課題提出物、ワークシートなどで評価。				
学習方法	① 教科書記載事項を重視し、熟読をする。 ② 授業で解説や補足説明を受ける。 ③ 問題演習によって復習することにより、知識の定着を図る。				
教科書・教材等	詳説世界史探究（山川出版社）、詳説世界史授業用整理ノート（山川出版社） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<b>【第1章】</b> 文明の成立と古代文明の特質  <b>【第2章】</b> 中央ユーラシアと東アジア世界	農耕・牧畜などの古代文明の成り立ちを理解する。 中央ユーラシアの遊牧と、東アジアの国家について理解する。	15	10	<b>【第12章】</b> 産業革命と環大西洋革命  <b>【第13章】</b> イギリスの優位と欧米国民国家の形成	産業革命や、アメリカ独立革命、フランス革命について理解する。 国民国家の形成について理解する。	20
5	<b>【第3章】</b> 南アジア世界と東南アジア世界の展開  <b>【第4章】</b> 西アジアと地中海周辺の国家形成	ヒンドゥー教や仏教などを受け入れながら栄えた南インドと、中国などと交流をおこなってきた東南アジアについて理解する。 イラン・ギリシア文明について理解する。	20	11	<b>【第14章】</b> アジア諸地域の動揺  <b>【第15章】</b> 帝国主義とアジア民族運動	ヨーロッパによるアジアの従属化と植民地かの進行を理解する。 アジア・アフリカでのナショナリズム運動について理解する。	20
6	<b>【第5章】</b> イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成  <b>【第6章】</b> イスラーム教の伝播と西アジアの動向  <b>【第7章】</b> ヨーロッパ世界の変容と展開	西アジアに定着したイスラーム教と、それに対抗したビザンツ帝国とフランク王国について理解する。その後、各地に広まり、モンゴルの来襲を受けたことを理解する。 中世の西ヨーロッパについて理解する。	20	12	<b>【第16章】</b> 第一次世界大戦と世界の変容  <b>【第17章】</b> 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	各国の利害関係と、二度の世界大戦を行わざるを得なかった状況を理解する。	15
7	<b>【第8章】</b> 東アジア世界の展開とモンゴル帝国  <b>【第9章】</b> 大交易・大交流の時代	唐・宋の支配を継承したキタイや金と、モンゴル帝国の動きについて理解する。 モンゴル帝国解体後、地球規模で一体化が進んだことを理解する。	15	1	<b>【第18章】</b> 冷戦と第三世界の台頭	冷戦体制により世界が分裂し、段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として発言力を強めたことを理解する。	15
8	<b>【まとめと復習】</b>	一学期の内容をおさらいし、知識を定着させる。	5	2	<b>【第19章】</b> 冷戦の終結と今日の世界	東欧社会主義圏とソ連の解体、情報技術革命とグローバル経済の進展、多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。	20
9	<b>【第10章】</b> アジア諸帝国の繁栄  <b>【第11章】</b> 近世ヨーロッパ世界の動向	オスマン帝国・サファビー朝などの諸帝国について理解する。 海洋進出や宗教改革をへて、近世に入ったヨーロッパについて理解する。	20	3	<b>【まとめと復習】</b>	一年の内容をおさらいし、知識を定着させる。 問題演習を行い、大学入試へつなげる。	15

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究	単位数	5
対象	高校2年	履修形態	選択必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 我が国の歴史の展開を日本史的視野に立って総合的に学習し、考察させる。 ② 我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を培う。 ③ 国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、ワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、課題提出物、ワークシートなどで評価。				
学習方法	① 教科書・史料集・図録を用い、歴史を考察する基本的な方法を身につける。 ② 史料・資料を読み取り、歴史的事象の因果関係を見つけ、受験に必要な知識・技法を身につける。 ③ 大学入試・校外模試の問題演習を行い、受験に必要な知識を身につける。				
教科書・教材等	詳説日本史探究（山川出版社）、詳説日本史授業用整理ノート（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	【第1章】日本文化のあけぼの	日本列島の自然環境の変化と、生活文化への影響を理解する。	15	10	【第10章】幕藩体制の動揺 【第11章】近世から近代へ	幕藩体制が動揺し始め、国内外の問題とも相まって、崩壊へと進む道を理解する。 新たな政治体制が生まれ、近代国家へと成長する道のりを理解する。	15
5	【第2章】古墳とヤマト政権 【第3章】律令国家の形成	政治連合の形成と、大陸とのかわり方を理解する。 中国の制度を模倣した律令国家の支配体制について理解する。	20	11	【第12章】近代国家の成立 【第13章】近代国家の展開	明治政府が列強にならって近代化をすすめたことを理解する。 その流れの中で戦争に勝利し植民地を得て、新たな国際関係の中へと入っていく過程を理解する。	15
6	【第4章】貴族政治の展開 【第5章】院政と武士の躍進	貴族政治の展開と、地方の支配体制について理解する。 力を付けた武士の台頭と、院政のきっかけについて理解する。	20	12	【第14章】近代の産業と生活 【第15章】恐慌と第二次世界大戦	近代国家へと変化した日本では庶民の生活も西洋の文明・技術を受け入れて様変わりしたことを理解する。 国際的な協調体制が崩れ、日本が大きな戦争に向かっていくことを理解する。	15
7	【第6章】武家政権の成立 【第7章】武家社会の成長	本格的な武家政権が内外の脅威を経て全国に広がる過程を理解する。 また南北朝の動乱をへて、武士の家族制度に大きな変化があったことを理解する。	15	1	【第16章】占領下の日本 【第17章】高度成長の時代	第二次大戦後、アメリカの占領政策により、大きな改革が行われたことを理解する。 独立回復後は長い繁栄を謳歌したことを理解する。	15
8	【まとめと復習】	一学期の内容をおさらいし、知識を定着させる。	5	2	【第18章】激動する世界と日本	冷戦構造が崩壊し、世界のグローバル化が進む中での日本の立ち位置を理解する。	20
9	【第8章】近世の幕開け 【第9章】幕藩体制の成立と展開	日本列島を一つに統一した政権の出現について理解する。 その後に誕生した安定政権の統治体制について理解する。	15	3	【まとめと復習】	一年の内容をおさらいし、知識を定着させる。 問題演習を行い、大学入試へつなげる。	15

教科名	地理歴史	科目名	地理探究	単位数	5		
対象	高校2年	履修形態	選択必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 近代世界の地理的な事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 ② 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、ワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、課題提出物、ワークシートなどで評価。						
学習方法	① 地図帳、プリント(資料)類を使い、板書をノート整理し、効率よく地理的な事象を把握する。 ② 基礎事項を確認し、地図・地名・用語・統計を理解する。 ③ 問題演習によって地理的な諸課題について、知識の定着を図る。						
教科書・教材等	地理探究(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院) 新編地理資料(とうほう) データブックオブザワールド2023(二宮書店) 地理探究ワークブック(二宮書店)						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<b>【第I編】</b> 第1章 自然環境 ①地形 ②気候と生態系	地形に関わる諸事象の規則性、傾向性や人間による利用などについて理解する。 また気候と生態系に関わる規則性、傾向性や、気候の地域性などについて理解する。	15	10	②村落・都市  第5章 文化と国家 ①生活文化と言語・宗教 ②国家とその領域	村落・都市に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組、民族問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	20
5	③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災	世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。 また、日本の自然環境に関わる諸事象の規則性、傾向性や、自然災害などについて理解する。	20	11	<b>【第II編】</b> 第1章 地域区分 第2章 現代の諸地域 ①中国 ②朝鮮半島 ③東南アジア	世界の大国としての中国や隣国としての韓国について、歴史的背景や経済体制、政策などの項目を整理しながら基本的な知識を習得する。 経済発展の著しい東南アジアについて基本的な知識を習得する。	20
6	⑤地球環境問題  第2章 資源と産業 ①農林水産業	地球環境に関わる諸事象の規則性、傾向性や、持続可能な地球環境の開発のあり方などについて理解する。 また、農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食糧問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。	20	12	④南アジア ⑤西アジア・中央アジア	近年急成長するインドを中心とした南アジアや、乾燥地帯に位置する西アジア・中央アジアについて基本的な知識を習得する。	15
7	②資源・エネルギー ③工業 ④第3次産業	資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取組、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	20	1	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	広大な大陸に位置するアフリカ、地域統合の進んだヨーロッパ、世界最大の面積を持つロシアなどについて自然や産業などについて考察させる。	15
8	<b>【まとめと復習】</b>	一学期の内容をおさらいし、知識を定着させる。	5	2	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国	広大な面積を持つアングロアメリカの2か国、南北に長いラテンアメリカ、南半球に位置する大陸国家オーストラリア、日本と同じ太平洋に面するニュージーランドとオセアニアの島嶼国などについて基本的な知識を習得させる。	20
9	第3章 人・モノ・金のつながり ①交通・通信 ②貿易・環境  第4章 ①人口	交通・通信、運輸、観光に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 人口に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、人口問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	20	3	<b>【第III編】</b> ①現代日本に求められる国土像  <b>【まとめと復習】</b>	日本がかかえる地理的な課題を生徒自らに発見させ、その課題を多面的・多角的に考察、探究させる。	15

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ(数学ⅠA)	単位数	4
対象	高校2年(文系)	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらおう説明が書けるよう心がける。				
教科書・教材等	進研WINSTEP 数学ⅠAStandard(ラーンズ)、進研WINSTEP 数学ⅡBCStandard(ラーンズ)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第3節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解する。定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。積分と面積の関係を理解し、活用できるようにする。	12	10	図形の性質	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16
5	数と式	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16	11	三角関数	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16
6	2次関数	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16	12	指数関数・対数関数	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	12
7	図形と計量	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	12	1	微分法・積分法	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	12
8	データ分析	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	4	2	数列	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16
9	場合の数と確率	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16	3	統計的な測量	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	12

備考

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ(数学Ⅲ)	単位数	4
対象	高校2年(理系)	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の習得と授業の充実を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。 ② 極限、微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ② 評定にあたっては、ペーパーテスト等による知識や技能のみの評価に偏した評定を行わない。 ③ 「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。そして、教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえ説明が書けるよう心がける。 ② 今までに学んだ考え方・公式等と、授業で新たに学んだ考え方・公式のつながりを意識するよう心がける。				
教科書・教材等	高等学校 数学Ⅲ(数研出版)、改訂版 4STEP 数学Ⅲ(数研出版)、改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅲ(数研出版) 三訂版 クリアー数学演習ⅠAⅡB 受験編(数研出版)、三訂版 クリアー数学演習Ⅲ 受験編(数研出版) 進研WINSTEP 数学ⅠA[改訂版](ラーンズ)、進研WINSTEP 数学ⅡB[改訂版](ラーンズ)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	〈数学Ⅱ〉 第3節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解する。定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 積分と面積の関係を理解し、活用できるようにする。	12	10	3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 曲線の方程式と導関数	三角関数、指数・対数関数、高次導関数を求めることができるようにする。媒介変数で表された関数の導関数を求めることができるようにする。	16
5	〈数学Ⅲ〉 第1章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	分数関数・無理関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。元の関数と逆関数の関係や合成関数の写像的な概念を理解する。	16	11	第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化	導関数を用いて接線・法線の方程式を求めたり、グラフの増減に関する問題が解けるようにする	16
6	第2章 極限 第1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列	極限についての理解を深め、極限の性質や、無限の概念を用いて数列の極限を求めることができるようにする。公比の場合分けによって、等比数列がどのような極限になるのかを考えることができるようにする。	16	12	4. 関数のグラフ 第2節 いろいろな応用 6. 方程式、不等式への応用 7. 速度と加速度 8. 近似式	第2次導関数を用いてグラフの正確な形が分かるようにする。グラフを利用して、方程式・不等式を解く。速度・加速度と微分の関係を理解し問題を解くことができ、近似式を用いて近似値を求めることができるようにする。	12
7	3. 無限級数 第2節 関数の極限 4. 関数の極限(1) 5. 関数の極限(2)	様々な式変形に対応し、無限等比級数の値を求めることができるようにする。 簡単な関数の極限について、グラフなどで直観的に考察できる。不定形を解消するように関数の式を変形することにより、関数の極限值が求められる。	12	1	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分	いろいろな関数についての不定積分法・定積分法を理解し、その有用性を認識する。いろいろな関数についての積分法を、図形の求積などに活用できるようにする。	12
8	6. 三角関数と極限 7. 関数の連続性	定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる。	4	2	第2節 定積分 4. 定積分とその基本性質 5. 置換積分法と部分積分法 6. 定積分のいろいろな問題	いろいろな関数についての定積分法を理解し、その有用性を認識する。いろいろな関数についての積分法を、図形の求積などに活用できるようにする。	16
9	第3章 微分法 第1節 導関数 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算	定義に従って微分係数や導関数を求めることができ、微分可能と連続との関係を正確に理解することができるようにする。積・商、合成関数・逆関数の導関数の計算法を身につける。	16	3	第3節 積分法の応用 7. 面積 8. 体積 9. 道のり 10. 曲線の長さ	定積分を、直線や曲線で囲まれた部分の面積、立体の体積などに活用できるようにする。	12

備考

教科名	数学	科目名	数学BC	単位数	2
対象	高校2年(文系)	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 問題演習で途中の過程を丁寧に記述することを通じて、他人に納得してもらえらる説明を書けるようになる。				
教科書・教材等	高等学校 数学B(数研出版)、高等学校 数学C(数研出版) 4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版) 4STEP 数学C(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版) チャート式 基礎からの数学C(数研出版)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学B> 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項	数列の定義・表記を理解し、関連する用語を適切に用いることができる。数の並びからその規則性を推定して、数列の一般項を考察できるようにする。	9	10	4. 二項分布 5. 正規分布	連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	12
5	2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	初項と公差を文字を使って表すことができるようにする。また、和の公式を適切に利用できるようにする。  初項や公比を文字をつかって表すことができるようにする。また、和の公式を適切に利用できるようにする。	12	11	6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにする。	12
6	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和	$\Sigma$ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 数列の規則性の発見に階差数列を利用でき、もとの数列の一般項が求められるようにする。  和の求め方を工夫し、数列の和を求められるようにする。群数列を考察できるようにする。	12	12	(数学C) 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理	複素数平面に対応させ、極形式、ド・モアブルの定理を理解する。図形の性質を複素数の計算を用いて考察できるようにする。	9
7	第3節 数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	基本的なパターンを漸化式の問題が素早く解けるようにし、文章から式をたてることができるようにする。 数学的帰納法の考え方を理解し、等式や不等式の証明ができるようにする。	9	1	4. 複素数と図形 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線	図形の性質を複素数の計算を用いて考察できるようにする。 いろいろな曲線の性質を理解する。また、いろいろな変換の意味を理解させて活用できるようにする。	9
8	問題演習		3	2	4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	いろいろな曲線の性質を理解する。また、いろいろな変換の意味を理解させて活用できるようにする。	12
9	第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。	12	3	第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式	曲線の媒介変数表示の意味を理解し、媒介変数表示を用いて既習の曲線を表すことができるようにする。極座標を用いて既習の曲線を表すことができる。また、極座標を用いることで容易に表せる曲線についての考察ができるようにする。	9

備考

教科名	数学	科目名	数学B(数学Ⅲ)	単位数	2
対象	高校2年(理系)	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 数学について理解させ、基礎的な知識の習得と授業の充実を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。 ② 校外模試を意識した基礎力の充実と、応用力の育成を図る。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 問題演習で途中の過程を丁寧に記述することを通じて、他人に納得してもらえる説明を書けるよう心がける。				
教科書・教材等	高等学校 数学B(数研出版)、高等学校 数学C(数研出版) 4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版) 4STEP 数学C(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版) チャート式 基礎からの数学C(数研出版)				

年間授業計画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学B> 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項	数列の定義・表記を理解し、関連する用語を適切に用いることができる。数の並びからその規則性を推定して、数列の一般項を考察できるようにする。	9	10	4. 二項分布 5. 正規分布	連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	12
5	2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	初項と公差を文字を使って表すことができるようにする。また、和の公式を適切に利用できるようにする。 初項や公比を文字をつかって表すことができるようにする。また、和の公式を適切に利用できるようにする。	12	11	6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにする。	12
6	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和	$\Sigma$ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 数列の規則性の発見に階差数列を利用でき、もとの数列の一般項が求められるようにする。 和の求め方を工夫し、数列の和を求められるようにする。群数列を考察できるようにする。	12	12	(数学C) 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理	複素数平面に対応させ、極形式、ド・モアブルの定理を理解する。図形の性質を複素数の計算を用いて考察できるようにする。	9
7	第3節 数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	基本的なパターンの漸化式の問題が素早く解けるようにし、文章から式をたてることができるようにする。 数学的帰納法の考え方を理解し、等式や不等式の証明ができるようにする。	9	1	4. 複素数と図形 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線	図形の性質を複素数の計算を用いて考察できるようにする。 いろいろな曲線の性質を理解する。また、いろいろな変換の意味を理解させて活用できるようにする。	9
8	問題演習		3	2	4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	いろいろな曲線の性質を理解する。また、いろいろな変換の意味を理解させて活用できるようにする。	12
9	第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。	12	3	第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式	曲線の媒介変数表示の意味を理解し、媒介変数表示を用いて既習の曲線を表すことができるようにする。極座標を用いて既習の曲線を表すことができる。また、極座標を用いることで容易に表せる曲線についての考察ができるようにする。	9

備考

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4
対象	高校2年(理系)	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 化学の役割や物質の扱い方を理解する。 ② 物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学(東京書籍) センサー総合化学(啓林館)、オリジナルテキスト				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	〔化学〕 第2章 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡 2. 平衡の移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学平衡の法則を各平衡状態において考察する。</li> <li>ルシャトリエの原理を理解する。</li> </ul>	12	10	第5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 1. 有機化合物の特徴 2. 有機化合物の構造式の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物の特徴と分類の仕方を理解する。</li> <li>化学式の決定方法について理解する。</li> </ul>	16
5	第3章 水溶液中の化学平衡 1. 電離平衡 2. 塩の水への溶解	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基を化学平衡の視点から理解する。</li> <li>水の電離平衡から、水のイオン積の成り立ちを理解し、対数を使ったpHの計算法を習得する。</li> <li>溶解度積の計算を習得する。</li> </ul>	16	11	第2章 炭化水素 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> <li>飽和炭化水素の構造と性質を理解する。</li> <li>不飽和炭化水素の構造と性質を理解する。</li> </ul>	16
6	第4編 無機物質 2章 非金属元素の単体と化合物 1. 水素と希ガス 2. ハロゲンとその化合物 3. 酸素・硫黄とその化合物 4. 窒素・リンとその化合物 5. 炭素・ケイ素とその化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>非金属元素の単体とその化合物について性質と用途を理解する。</li> </ul>	16	12	第3章 酸素を含む有機化合物 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸とエステル 4. 油脂とセッケン	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸素を含む官能基の誘導体の構造と性質を理解する。</li> <li>セッケンの製法および構造と洗浄のしくみを理解する。</li> </ul>	12
7			12	1			12
8	3章 典型元素の単体と化合物 1. アルカリ金属とその化合物 2. 2族元素とその化合物 3. 1,2族以外の典型元素とその化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属元素における単体とその化合物について性質と用途を理解できる。</li> </ul>	4	2	第4章 芳香族化合物 1. 芳香族炭化水素 2. 酸素を含む芳香族化合物 3. 窒素を含む芳香族化合物 4. 芳香族化合物の分離	<ul style="list-style-type: none"> <li>芳香族炭化水素の性質や構造を理解する。</li> <li>フェノール類と芳香族カルボン酸の性質と構造を理解する。</li> <li>芳香族アミンの構造と性質を理解する。</li> <li>分離法の原理を理解する。</li> </ul>	16
9	4章 遷移元素の単体とその化合物 1. 遷移元素とその化合物 2. 金属イオンの分離・確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>遷移元素における単体とその化合物について性質と用途を理解する。</li> </ul>	16	3			12

備考

教科名	理科	科目名	物理	単位数	4
対象	高校2年(理系)	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 物理的な事物・現象についての関心・探究心を高め、概念や原理・法則を理解する。 ② 自然の事物・事象についての観察・実験などを行い、自然を探究する能力や態度を高める。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	物理基礎(数研出版)、物理(数研出版) センサー総合物理(啓林館)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	〔物理基礎〕 第2章 音 1. 音の性質 2. 発音体の振動と共振共鳴	・音を波として考察し、それによって理解ができる現象があることを学ぶ。 ・弦、閉管、開管の場合についてそれぞれ定常波の形を理解し、適切に記述できる。	12	10	3. 単振動 4. 万有引力	・単振動を身近な運動に関連づけ考察し、三角関数を用いて記述することで、物体の運動が理解できる。 ・ケプラーの法則を理解し、円運動および楕円運動の衛星に対して適切に当てはめて考察することができる。	16
5	〔物理〕 第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動	・2次元平面内の運動を物理基礎で学習した公式を応用して理解する。	16	11	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則	・ボイルの法則、シャルルの法則、イルシャルルの法則を理解する。 ・状態方程式を使える。 ・熱力学第一法則を理解する。	16
6	第2章 剛体 1. 剛体にはたらく力とつり合い 2. 剛体にはたらく力の合力と重心	・大きさのある物体について導入する力のモーメントについて理解し、つり合いの式を立て方を身に付ける。 ・重心の定義を正確に理解し、様々な形の物体の重心を求めることができる。	16	12	2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化	・ミクロな立場で、気体分子の運動を理解し、運動エネルギーと温度の関係性を理解する。 ・定圧変化、定積変化、等温変化、熱変化などのグラフを見て、熱力学第一法則を理解する。	12
7	第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数	・運動量を理解し、運動量変化と力積の関係を理解する。 ・運動量保存則と反発係数の定義を正確に理解し、直線上の運動で使うことができる。	12	1	第3編 波 第1章 波の伝わり方 1. 正弦波 2. 波の伝わり方	・波を三角関数を導入し理解する。 ・波の干渉、屈折、回折を理解する。 ・波の示す屈折などの現象を理解する。	15
8		・衝突、合体、分裂の場合に関して運動量保存則や反発係数の定義、力学的エネルギー保存則や相対速度を使い、衝突後の物体の運動を記述できる。	4	2	第2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 第3章 光 1. 光の性質	・音のドップラー効果の公式を使うことができる。 ・光の示す屈折などの現象を知り、折の法則を使うことができる。	16
9	第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力	・等速円運動を理解し、力のつり合い運動方程式、力学的エネルギー保存則を使いこなし、物体の運動を記述できる。 ・慣性力を理解し、加速度運動上での物体の運動を記述できる。	16	3	2. レンズ 3. 光の干渉と回折	・レンズの公式を理解する。 ・ヤングの実験、回折格子について干渉の条件式を理解し、使うことができる。	12

備考

教科名	理科	科目名	生物	単位数	4
対象	高校2年(理系)	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に覚える。				
教科書・教材等	生物(東京書籍) センサー総合生物(啓林館)、オリジナルテキスト				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	[生物] 1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化	・原始地球の環境について理解し、生命の起源がどのように誕生したかを考える。 ・無機物から有機物であるアミノ酸が合成できることを理解する。 ・細胞の起源について理解し、生命の誕生について理解する。 ・RNAワールドからDNAワールドへの移行について理解を深める。	12	10		・生命活動を担うタンパク質の基本的な特徴を理解する。 ・タンパク質がどのようにはたらくのかを理解する。 ・いろいろな運動にかかわるタンパク質について理解する。 ・酵素のはたらきを中心に生体内の化学反応について理解する。	16
5	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	・シアノバクテリアの誕生と酸素濃度上昇の関係を理解する。 ・遺伝的変異が生じるしくみを理解する。 ・遺伝子レベルと染色体レベルで起こる突然変異の違いを理解する。 ・遺伝子の連鎖と独立について理解する。	16	11	2章 代謝とエネルギー	・ATPの役割や生物がどのようにエネルギーを獲得しているかを理解する。 ・呼吸と発酵のしくみについて理解する。 ・光合成のしくみについて理解する。	16
6		・進化の定義について理解する。 ・自然選択による進化が起こる条件について理解する。 ・遺伝子プールと遺伝子頻度についての理解する。 ・遺伝的浮動について理解する。 ・ハーディ・ワインベルグの法則を理解する。 ・種分化のしくみを理解する。	16	12	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	・植物と動物それぞれの窒素同化とそのしくみについて理解する。 見られる相互作用について理解する。 ・DNAの構造とその複製について理解する。 ・タンパク質が合成される過程と形質が発現する過程を理解する。	12
7	3章 生物の系統と進化	・形態や生態的特徴に基づく系統樹と、分子情報に基づく系統樹をそれぞれ作成し比較する。 ・分子時計についての理解を深める。 ・種と種名、階層的分類について理解する。	12	1	2章 発生と遺伝子発現	・細胞の形や機能の違いは、発現する遺伝子の違いであることを理解する。 ・大腸菌の環境に対する応答を理解する。 ・大腸菌変異株でのlacZの発現はどのように説明できるか考える。	12
8		・霊長類の進化と系統についての理解を深める。 ・初期の人類の特徴について理解する。 ・原人、旧人について理解する。 ・ヒトの出現について理解する。 ・これまでに学習した用語を使って、人類の進化について整理する。	4	2		・真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 ・受精卵から複雑な体ができていく過程を理解する。 ・胚葉や組織が分化する細胞間で見られる相互作用について理解する。	16
9	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	・生物を構成する物質を理解する。 ・生体膜の透過について理解する。 ・細胞の構造とはたらきを理解する。	16	3	3章 遺伝子を扱う技術	・ショウジョウバエの発生の様子と発生をつかさどる遺伝子について理解する。 ・目的の遺伝子を取り出して調べる技術、遺伝子を操作する技術について理解する。	12

備考

教科名	理科	科目名	理科基礎演習	単位数	4
対象	高校2年(文系)	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 化学・生物の基礎的な内容を理解する。 ② 科学に対する関心を高め、科学を探究する基礎的な方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍)、生物基礎(東京書籍) センサー化学基礎(啓林館)、センサー生物基礎(啓林館)、オリジナルテキスト				

年間授業計画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	物質の成分 物質の構成元素 物質の三態 原子の構造 元素の性質と周期律	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	6	10	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8
5	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8	11	さまざまな植生 植生と遷移 気候とバイオーム	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8
6	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 物質の分類	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8	12	酸化と還元 酸化算と還元剤 金属と酸化還元反応 電池・電気分解	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	6
7	遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	6	1	生態系 物質循環とエネルギー 生態系のバランス 生態系の保全	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	6
8	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と量的関係	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	2	2	化学と人間生活	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8
9	体液という体内環境 腎臓と肝臓 神経とホルモン	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	8	3	生物と人間生活	オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。	6

備考

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物を含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各競技の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て実生活に役立てることができる。	6	10	サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	8
	陸上競技	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる。 記録の向上や競争の楽しさを味わい、各種目特有の技能を高めることができる。					
5			8	11			8
6			8	12	バスケットボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	6
7	ソフトボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ベースボール型では状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	6	1			6
8			2	2	バドミントン	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	8
	サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。					
9			8	3			6

備考

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物を含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 保健分野における知識をテストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 教科書・資料を用いた学習				
教科書・教材等	現代保健体育（大修館書店）				

年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	生涯の各段階における健康	生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかっていること。	2	10			3
5			3	11	環境と健康	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策を取る必要があること。	3
6	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。 また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。	4	12			4
7			3	1	環境と健康食品の健康	環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものにしよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。	3
8			0	2	労働と健康	労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をすることが必要であること。	4
9	様々な保健活動や対策	我が国や世界では、健康課題に応じて様々な保健活動や対策が行われていること。	3	3			2

備考

教科名	外国語	科目名	英コミⅡ・Ⅲ、論表Ⅱ	単位数	8
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 必要な情報を得て、話し手や書き手の意図を把握したり概要や要点を目的に応じてとらえたりすることができる。 ② 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ③ 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理性に注意して発信することができる。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用して概要や要点などを目的に応じてとらえることができているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 本文を読んでその内容を、文構造や文脈、論旨など様々な面から理解する。 ② 音声教材を利用するや音読を通して、リスニング（スピーキング）対策に努める。 ③ 大学受験に向け、受験対策問題や過去問題に積極的に取り組む。				
教科書・教材等	教科書 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATIONⅡ（東京書籍）、 FACTBOOK English Logic and ExpressionⅡ（桐原書店） 副教材 GRAMMARMASTER(Z会出版)、大学入試過去問題対策等				

年間授業計画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4			24	10			32
5	補助教材・副教材を用いて大学受験対策演習 *教科書は必要に応じて使用する。	長文を読んでいく中で、パラグラフの構造を理解し、筆者の述べたいポイントをつかみ、場合によっては要約に取り組む。	32	11	補助教材・副教材を用いて大学受験対策演習 *教科書は必要に応じて使用する。	各パラグラフの論理関係、展開を追い、文章全体の意味を把握する。	32
6			32	12			24
冬期集中講座							
7			24	1			24
夏期集中講座							
8				2	補助教材・副教材を用いて大学受験対策演習 *教科書は必要に応じて使用する。	パラグラフリーディングを通し、文章全体の要約に取り組む。  文章の論理を吟味し、critical thinkingを用いて文章を読む。	32
			8				24
9	補助教材・副教材を用いて大学受験対策演習 *教科書は必要に応じて使用する。	各パラグラフのポイントを理解し、パラグラフどうしの論理的关系をつかむ。	32	3			24

備考 学習・演習内容や使用教材などは、クラスにより異なる。

# 第 3 学年

教科名	国語	科目名	現代文演習	単位数	3
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 大学入試に対応できる現代文の能力を身につける。 ② ものの見方・考え方を深め、高度な読解力・思考力を磨き、他者に表現する力を身につける。 ③ 物事に対する視野を広げ、自身の人生や現代社会を豊かにする態度を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた受験指導を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	大学入試対策自作テキスト 実戦問題バックV（駿台） 共通テスト対策実力完成直前演習（Learn-S） など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	9	10	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12
5	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12	11	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12
6	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12	12	共通テスト試験対策	大学入試共通テスト試験試験直前対策を行う。	9
7	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	9	1	共通テスト試験対策  国公立二次・私大対策	大学入試共通テスト試験試験直前対策を行う。	9
8	共通テスト試験対策など	これまでの総復習など。また、記述対策も併せて行う。	3	2			
9	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12	3			

備考 大学別記述対策・小論文対策等、個人に応じた対策を定期的に行う。

教科名	国語	科目名	古典・古典演習	単位数	3
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 大学入試に対応できる古典の能力を身につける。 ② ものの見方・考え方を深め、高度な読解力・思考力を磨き、他者に表現する力を身につける。 ③ 物事に対する視野を広げ、自身の人生や現代社会を豊かにする態度を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた受験指導を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	大学入試対策自作テキスト 実戦問題バックV（駿台） 共通テスト対策実力完成直前演習（Learn-S） など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	9	10	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	実践力を付けるために、近年の大学入試で出題されたテーマ・分野を用いて、主に大学入試共通テストを中心とした入試対策を行う。また記述対策も併せて行う。	12
5	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	12	11	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	実践力を付けるために、近年の大学入試で出題されたテーマ・分野を用いて、主に大学入試共通テストを中心とした入試対策を行う。また記述対策も併せて行う。	12
6	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	12	12	共通テスト試験対策	大学入試共通テスト直前対策を行う。	9
7	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	9	1	共通テスト試験対策  国公立二次・私大対策	大学入試共通テスト直前対策を行う。	9
8	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	3	2			
9	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	12	3			

備考 大学別記述対策等、個人に応じた対策を定期的に行う。

教科名	地理歴史	科目名	世界史B・世界史演習	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 世界の歴史を日本の歴史と関連付け、世界の構造や成り立ちを歴史的視野から理解しかつ考察する力を養う。 ② 民主的、平和的な国家の一員としての自覚をもつ。 ③ 国際社会の中で、他国（他地域）と協調しながら、主体的に行動する日本人としての資質を培う。 ④ 一・二次に学習してきた世界史を、大きな流れとして繋げ、大学入学試験に対応できる力を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシート、ノートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言、定期考査、ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み、課題提出物、ワークシートをもとに評価する。				
学習方法	① 教科書記載事項を重視し、熟読をする。 ② 授業で解説や補足説明を受ける。 ③ 問題演習によって復習することにより、知識の定着を図る。 ④ 単元ごとに入試対策を行う。				
教科書・教材等	詳説世界史B（山川出版社） 世界史Bマスター問題集（山川出版社） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） チェック&演習世界史B（数研出版）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ 世界の成立	フランス革命とナポレオンの登場 が近代民主政治に与えた影響を理解する。	6	10	基礎力確認	各章の問題演習を行い、弱点を把握し補強する。 テーマや地域など、繋がりに着目して時代の流れをつかむ力を養成する。	8
5	第11章 欧米における近代国民国家 の発展	市民革命と産業革命という「二重革命」の進行するなかで、欧米先進諸国では近代市民社会の形成が進み、一方東欧・南欧地域ではナショナリズムが台頭してきていることを理解する。	8	11	大学入学共通テスト対策 ・模擬試験問題の復習 ・パターン別問題	今年度の模擬試験問題の復習や問題集のパターン別問題を解くことにより、選択問題の正解の導き方を身に付ける。	8
6	第12章 アジア諸地域の動揺	オスマン帝国、ムガル帝国、清朝などのアジアの王朝支配の動揺と改革、日本や東南アジア諸国の対応などから、19世紀ころのアジアとヨーロッパの関係を理解する。	8	12	大学入学共通テスト対策 ・直前演習問題	多くの問題に当たり、思考力の養成と、さらなる知識の定着を図る。	6
7	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	高1時の復習を行う。	6	1	私大・国公立二次対策	私立大学入試、国立大学二次試験に対応できる十分な力を身に付ける。	6
8	第14章 二つの世界大戦	高1時の復習を行う。	2	2			
9	第15章 冷戦と第三世界の自立  第16章 現代の社会	高1時の復習を行う。	8	3			

備考

教科名	地理歴史	科目名	日本史B・日本史演習	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 我が国の歴史の展開を日本史的視野に立って総合的に考察できる。 ② 我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を培う。 ③ 国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…添削課題、定期考査、ワークシートをもとに評価。 ② 思考・判断・技能…授業における発言、課題に対する考察などをもとに評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み、課題提出物、ワークシートをもとに評価する。				
学習方法	① 教科書・史料集・図録を用い、歴史を考察する基本的な方法を身につける。 ② 提出物で授業の理解度を確認する。 ③ 大学入試の問題演習を行い、受験に必要な知識を身につける。 ④ 史料・グラフを読み取り、仮説が正しいかどうかを自分で判断できるようにする。				
教科書・教材等	詳説日本史 改訂版（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社） 4ステージ演習ノート日本史B（数研出版）				

年間授業計画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	高校1年次の復習 共通テスト第5問・第6問 対策 明治時代② 大正時代	日清戦争・日露戦争後の政治・外交・経済・文化について問題演習を通して確認する。  大正政変から金融恐慌までの歴史の流れを問題演習を通して理解する。	8	10	共通テスト対策③ 現代・テーマ別問題	第2次世界大戦後から平成時代までの歴史の流れを問題演習を軸に理解する。	8
5	高校1年次の復習 共通テスト第5問・第6問 対策 昭和時代①	第2次世界大戦までの歴史の流れや経済・外交について問題演習を通して理解する。	8	11	共通テスト対策④ 古代～現代	古代から現代までの歴史の流れや因果関係を問題演習を軸に理解する。	8
6	高校1年次・2年次の復習 共通テスト第5問・第6問 対策 昭和時代②・平成時代	戦後の日本の成長の歴史の流れを問題演習を軸に理解する。	8	12	共通テスト対策⑤ 資料・図表問題 史料読解問題	共通テスト特有の形式である史料読解やグラフ読解、図表問題の演習を通して、歴史的現象の因果関係に気づく。	8
7	共通テスト対策① 古代～中世・近世	古代から近世までの歴史の流れや因果関係を問題演習を軸に理解する。	8	1	共通テスト対策⑥  私大・国公立二次試験対策	古代から現代までの歴史の流れや因果関係を問題演習を軸に理解する。  共通テスト後は、進路に合わせた対策を通して十分な力を身につける。	8
8	共通テスト対策② 古代～近世・近代	古代から近世・近代までの歴史の流れや因果関係を問題演習を軸に理解する。	2	2	私大・国公立二次試験対策	進路に合わせた対策を通して十分な力を身につける。	
9	共通テスト対策② 古代～近世・近代	古代から近世・近代までの歴史の流れや因果関係を問題演習を軸に理解する。	8	3			

教科名	地理歴史	科目名	地理B・地理演習	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 現代世界の地理的な事象を、主に地誌的に考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 ② 国家、村落・都市、貿易など、歴史の変遷を通して現代社会的な考察力を養う。また、州ごとの地誌を見ながら、それぞれの特色を自然、気候、人種民族、産業など総合的な観点からつかむ。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシート、ノートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言、定期考査、ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み、課題提出物、ワークシートをもとに評価する。				
学習方法	① 問題演習によって現代世界の課題意識を持ち、地理的な事象について知識の定着を図る。 ② 問題演習を通して、地図帳やデータブック、地理資料を活用し、基礎事項の定着を図る。				
教科書・教材等	詳解地理B(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院) 記入整理と演習スタディノート地理B(数研出版) 新編地理資料(とうほう) データブック オブ・ザ・ワールド(二宮書店)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	対策演習 系統地理分野 地形・気候・災害中心	模擬試験問題の解説の見方、学習の方法を再確認し、得点源に結びつける。 系統地理の単元別対策を行う。 演習を通して不得意な分野・単元を発見し、解説を通して克服する。	6	10	共通テスト対策① 模擬試験演習	問題演習を通して、対策演習で培ったことをいかす。	8
5	対策演習 系統地理分野 工業・農業中心	系統地理の単元別対策を行う。 演習を通して不得意な分野・単元を発見し、解説を通して克服する。 初出の図・グラフに対して、どの部分に着眼点を置けばよいかという判断力を身につける。	8	11	共通テスト対策② 模擬試験・過去問題演習	問題演習を通して、対策演習で培ったことをいかす。	8
6	対策演習 系統地理分野 共通テスト第3問中心	系統地理の単元別対策を行う。 演習を通して不得意な分野・単元を発見し、解説を通して克服する。 初出の図・グラフに対して、どの部分に着眼点を置けばよいかという判断力を身につける。	8	12	共通テスト対策③ 模擬試験・予想問題演習	問題演習を通して、対策演習で培ったことをいかす。	6
7	対策演習 地誌分野 共通テスト第4問 世界の諸地域中心	各地域の自然・風土・歴史などの特性を総合的に捉え、各地域の関係と相違点について理解する。	6	1	[二次試験講座] [私大演習講座]	共通テスト終了後、二次試験対策および私大試験問題を重点的に行い、十分な力を身につける。	8
8	対策演習 地誌分野 第4問 複数国比較問題 中心	各地域の自然・風土・歴史などの特性を総合的に捉え、各地域の関係と相違点について理解する。	2	2			
9	対策演習 日本地理分野 第5問・地形図中心	第5問で問われる日本の自然・地形・産業の特性を理解する。  特徴ある地形図の読図を通し、地形図を読む方法を身につける。	8	3			

備考

教科名	数学	科目名	数学演習(文系数学ⅠA)	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	文理別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえる説明が書けるよう心がける。 ③ 解法をできるだけ増やす。				
教科書・教材等	2024共通テスト対策〔実力養成〕重要問題演習(ラーンズ) 共通テスト実戦問題バックⅤ数学ⅠA(駿台文庫)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	データの分析	データの分析の共通テスト問題に取り組みながら、分散、標準偏差、箱ひげ図、相関係数など、基礎事項をおさえる。また、ヒストグラムや散布図などから、データを読み取れるようにする。	6	10	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	8
5	場合の数と確率	順列・組合せ、確率の共通テスト問題に取り組みながら、順列、円順列、組合せ、さまざまな確率など、基礎事項をおさえる。	8	11	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	8
6	整数の性質	整数の性質の共通テスト問題に取り組みながら、約数と倍数、整数の性質など、基礎事項をおさえる。	8	12	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
7	図形の性質	平面図形の共通テスト問題に取り組みながら、図形の外心、内心、重心、円周角、方べきの定理など、基礎事項をおさえる。	6	1	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
8	図形の性質	平面図形の共通テスト問題に取り組みながら、図形の外心、内心、重心、円周角、方べきの定理など、基礎事項をおさえる。	2	2			
9	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	8	3			

備考

教科名	数学	科目名	数学演習(理系数学ⅠA)	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	文理別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえる説明が書けるよう心がける。 ③ 解法をできるだけ増やす。				
教科書・教材等	三訂版 クリアー数学演習ⅠAⅡB(数研出版)、共通テスト実戦問題バックⅤ数学ⅠA(駿台文庫)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	数と式	数と式、方程式・不等式の二次試験の問題に取り組みながら、方程式・不等式などの基礎事項をおさえ、他分野でも使えるようにする。	6	10	整数の性質	論理と集合の二次試験の問題に取り組みながら、約数と倍数、整数の性質など、基礎事項をおさえる。	8
5	2次関数	2次関数の二次試験の問題に取り組みながら、2次関数のグラフ、最大・最小など、基礎事項をおさえる。	8	11	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	8
6	図形と計量	図形と計量の二次試験の問題に取り組みながら、三角比、正弦定理、余弦定理など、基礎事項をおさえる。	8	12	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
7	場合の数と確率	順列・組合せ、確率の二次試験の問題に取り組みながら、順列、円順列、組合せ、さまざまな確率など、基礎事項をおさえる。	8	1	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
8	場合の数と確率	順列・組合せ、確率の二次試験の問題に取り組みながら、順列、円順列、組合せ、さまざまな確率など、基礎事項をおさえる。	2	2			
9	図形の性質	平面図形の二次試験の問題に取り組みながら、図形の外心、内心、重心、円周角、方べきの定理など、基礎事項をおさえる。また、図形と計量で使われる図形的性質の修得を目指す。	8	3			

備考

教科名	数学	科目名	数学演習(文系数学ⅡB)	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	文理別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえらる説明が書けるよう心がける。 ③ 解法をできるだけ増やす。				
教科書・教材等	2024共通テスト対策〔実力養成〕重要問題演習(ラーンズ) 共通テスト実戦問題バックV数学ⅡB(駿台文庫)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	図形と方程式	図形と方程式の共通テスト問題に取り組みながら、直線の方程式、円の方程式、接線の方程式、軌跡など、基礎事項をおさえる。	6	10	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	8
5	三角関数	三角関数の共通テスト問題に取り組みながら、加法定理、2倍角の公式、合成など、基礎事項をおさえる。	8	11	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	8
6	指数関数・対数関数	指数関数・対数関数の共通テスト問題に取り組みながら、指数関数対数関数を含む方程式・不等式、整数の桁数の求め方など、基礎事項をおさえる。	8	12	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
7	微分法・積分法	数列の共通テスト問題に取り組みながら、接線の方程式、面積の求め方など、基礎事項をおさえる。	6	1	共通テスト演習	共通テスト問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
8	数列	数列の共通テスト問題に取り組みながら、等差数列、等比数列、階差数列、いろいろな数列、漸化式など、基礎事項をおさえる。	2	2			
9	ベクトル	ベクトルの共通テスト問題に取り組みながら、平面ベクトル・空間ベクトルなど、基礎事項をおさえる。	8	3			

備考

教科名	数学	科目名	数学演習(理系数学ⅡB)	単位数	2
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	文理別
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえる説明が書けるよう心がける。 ③ 解法をできるだけ増やす。				
教科書・教材等	三訂版 クリアー数学演習ⅠAⅡB(数研出版)、共通テスト実戦問題バックⅤ数学ⅡB(駿台文庫)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	図形と方程式	図形と方程式の二次試験の問題に取り組みながら、接線の方程式、方程式・不等式への応用など、基礎事項をおさえる。	6	10	問題演習基礎力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、解法を身につけ応用力をつける。	8
5	微分法	微分法の二次試験の問題に取り組みながら、接線の方程式、方程式・不等式への応用など、基礎事項をおさえる。	8	11	問題演習基礎力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、解法を身につけ応用力をつける。	8
6	積分法	積分法の二次試験の問題に取り組みながら、定積分で表された関数、面積の求め方など、基礎事項をおさえる。	8	12	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
7	ベクトル	ベクトルの二次試験の問題に取り組みながら、平面ベクトル・空間ベクトルなど、基礎事項をおさえる。	6	1	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	6
8	数列	数列の二次試験の問題に取り組みながら、等差数列、等比数列、階差数列、いろいろな数列、漸化式など、基礎事項をおさえる。	2	2			
9	数列	数列の二次試験の問題に取り組みながら、等差数列、等比数列、階差数列、いろいろな数列、漸化式など、基礎事項をおさえる。	8	3			

備考

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	単位数	4
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。 ② 大学入試に向けて、まず二次・私大の基礎となる問題を演習する。次に応用力、実践力を養う問題を演習することによって、各自が志望する大学に向けての受験対策が行える土台を築く。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ② 評定にあたっては、ペーパーテスト等による知識や技能のみの評価に偏した評定を行わない。 ③ 「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえらる説明が書けるよう心がける。				
教科書・教材等	三訂版 クリアー数学演習Ⅲ(数研出版)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	V. 導関数 15. 導関数 16. 高次導関数 VI. 微分法の応用 17. 接線・法線	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	12	10	31. 体積 32. 種々の量の計算	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	16
5	18. 関数の値の変化 19. 最大・最小 20. 方程式への応用 21. 不等式への応用	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	16	11	受験大学問題演習	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	16
6	22. 平均値の定理、 速度と近似 VII. 積分法 23. 不定積分 24. 定積分	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	16	12	受験大学問題演習	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	12
7	25. 定積分で表された 関数(1) 26. 定積分で表された 関数(2) 27. 定積分と級数	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	12	1	受験大学問題演習	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	12
8	28. 定積分と不等式 27. 定積分と級数	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	4	2			
9	28. 定積分と不等式 29. 面積(1) 30. 面積(2)	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。	16	3			

備考

教科名	理科	科目名	化学演習	単位数	4
対象	高校3年(理系)	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 化学の基本的な概念や原理・法則の理解・・・小テストや定期考査で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学(東京書籍)、化学図録(数研出版)、センサー総合化学(啓林館) オリジナルテキスト、共通テスト実戦問題バックV(駿台文庫)、共通テスト分野別演習				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第4章 芳香族化合物 1. 芳香族炭化水素	・芳香族炭化水素の性質や構造を理解する。	12	10	共通テスト対策 個別試験対策	・共通テスト模試を演習する。 ・私立大学、国公立大学の過去問を演習する。	16
	2. 酸素を含む芳香族化合物 3. 窒素を含む芳香族化合物 4. 芳香族化合物の分離	・フェノール類と芳香族カルボン酸の性質と構造を理解する。 ・芳香族アミンの構造とその性質を理解する。 ・分離法の原理を理解する。					
5	第6編 高分子化合物 第1章 高分子化合物	・高分子化合物の分類や特徴、合成方法を理解する。	16	11	共通テスト対策	・共通テスト模試を演習する。	16
	第2章 天然高分子化合物 1. 単糖類・二糖類・多糖類 2. アミノ酸 3. タンパク質	・単糖類、二糖類、単糖類の合成方法を理解する。 ・アミノ酸およびタンパク質の構造と特徴を検出法とともに理解する。					
6	第3章 合成高分子化合物 1. 合成繊維	・合成繊維となる合成高分子の構造や性質を理解する。	16	12			12
	2. プラスチック 3. ゴム	・合成樹脂となる合成高分子の構造や性質を理解する。 ・天然ゴム・合成ゴムとなる高分子の構造や性質を理解する。					
7	共通テスト対策 個別試験対策	・共通テスト模試を演習する。 ・私立大学、国公立大学の過去問を演習する。	12	1	個別試験対策	・私立大学、国公立大学の過去問を演習する。	12
8			4	2			
9			16	3			

備考

教科名	理科	科目名	物理演習	単位数	5		
対象	高校3年(理系)	履修形態	選択	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 物理的な事物・現象についての関心・探究心を高め、概念や原理・法則を理解する。 ② 自然の事物・事象についての観察・実験などを行い、自然を探究する能力や態度を高める。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価						
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。						
教科書・教材等	物理基礎(数研出版)、物理(数研出版) センサー物理基礎+物理(啓林館)、共通テスト実践問題バックV(駿台文庫) 共通テスト分野別演習						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第4編 電気と磁気 第1章 電場	<ul style="list-style-type: none"> <li>クーロンの法則、電場、電位、を理解し、点電荷がつくる電場電位を求めることができる。</li> <li>コンデンサーの特性を理解し、直列、並列接続時の電気量を求めることができる。</li> </ul>	15	10	大学入試共通テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別演習を通して総復習を行うと共に、苦手分野を克服する</li> <li>大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。</li> </ul>	20
5	第2章 電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の抵抗がある場合の合成抵抗の求め方や等価回路を作り方を理解し、複雑な回路でも抵抗のジュール熱を求めることができる。</li> <li>キルヒホッフの法則を理解し、抵抗を流れる電流を求めることができる。</li> </ul>	20	11	大学入試共通テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別演習を通して総復習を行う。</li> <li>大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。</li> </ul>	20
6	第3章 電流と磁場	<ul style="list-style-type: none"> <li>電流が作る磁場について理解し状況ごとに書くことができる。</li> <li>電流が磁場から受ける力について理解し適切に公式を使える。</li> <li>ローレンツ力を理解し、円運動する荷電粒子の運動を記述できる。</li> </ul>	20	12	大学入試共通テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別演習を通して総復習を行う。</li> <li>大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。</li> </ul>	15
7	第4章 電磁誘導と電磁場	<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁誘導の法則を理解し、誘導起電力を考えながら回路に流れる電流を求めることができる。</li> <li>交流電圧の発生原理を理解し、三角関数を使って記述できる。</li> <li>インダクタンス、リアクタンスについて理解し、交流回路の電圧を求めることができる。</li> </ul>	15	1	私立大学・国公立大学 二次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学個別入試問題を演習し、各大学の傾向を知ることで、対策をたてる。</li> </ul>	15
8	第5編 原子 第1章 電子と光	<ul style="list-style-type: none"> <li>比電荷、トムソンの実験、ミリカンの実験を考察し、電気素量の求め方を理解する。</li> </ul>	5	2			
9	第2章 原子、電子と物質の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>光電効果やコンプトン効果を知ることで、光の波動性や粒子性を理解する。</li> <li>ボーアの量子条件からエネルギー準位を求めることができる。</li> <li>放射性物質について知、放射性崩壊について理解を深める。</li> </ul>	20	3			

備考

教科名	理科	科目名	生物演習	単位数	5
対象	高校3年(理系)	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	生物(数研出版) 共通テスト実践問題バックV(駿台文庫)、共通テスト分野別演習、オリジナルテキスト				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第6章 植物の環境応答 1. 植物の反応 2. 成長の調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>光刺激と植物の反応について理解する。</li> <li>刺激に対する植物の応答に関与する物質について理解する。</li> </ul>	15	10	大学入学共通テスト対策 その1 大学入学共通テスト対策 その2	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野ごとの内容を深めながら他の分野との関連づけて理解する。</li> <li>教科書の欄外の内容に触れ理解を深める。</li> </ul>	20
5	3. 花芽形成と発芽の調節 第4編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 1. 個体群 2. 個体群内と個体間の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>開花や発芽はどのようなしくみで行われているかを理解する。</li> <li>同一種の個体からなる集団について理解する。</li> <li>種内関係について理解する。</li> </ul>	20	11	大学入学共通テスト対策 その3	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想問題、過去問を用いて総合的に演習を行う。</li> </ul>	20
6	3. 異種個体群間の関係 4. 生物群集 5. 生態系における物質生産 6. 生態系と生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>種間関係について理解する。</li> <li>生態的地位について理解する。</li> <li>生態系に取り込まれたエネルギーの利用について理解する。</li> <li>多様性とそれに影響を与える要因について理解する。</li> </ul>	20	12	大学入学共通テスト対策 その4	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想問題、過去問を用いて総合的に演習を行う。</li> </ul>	15
7	第8章 生命の起源と進化 1. 生命の起源 2. 生物の変遷 3. 進化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>原始地球での生命の起源について理解する。</li> <li>地球環境の変化と生物の変遷について理解する。</li> <li>現在考えられる進化のしくみについて理解する。</li> </ul>	15	1	私立大学・国公立大学 二次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各大学の過去問を中心に二次試験に対応できる力を養う。</li> </ul>	15
8	第9章 生物の系統 1. 生物の分類と系統 2. 原核生物 3. 原生生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生物の分類方法を理解する。</li> <li>原核生物について理解する。</li> <li>藻類を中心に理解する。</li> </ul>	5	2			
9	4. 植物 5. 動物 6. 菌類	<ul style="list-style-type: none"> <li>進化の流れをとらえながら植物について理解する。</li> <li>進化の流れをとらえながら動物について理解する。</li> <li>独自の生物群を形成している菌類について理解する。</li> </ul>	20	3			

備考

教科名	理科	科目名	理科基礎演習	単位数	4
対象	高校3年(文系)	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍)、生物基礎(数研出版)、地学基礎(東京書籍) オリジナルテキスト、共通テスト実践問題バックV(駿台文庫)、共通テスト分野別演習				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	大学入学共通テスト対策 その1	・知識問題を焦点に図やグラフを みながら基本的な概略を各分野 ごとに理解する。	12	10	大学入学共通テスト対策 その3	・教科書の欄外の内容に触れ理解 を深める。	16
5	大学入学共通テスト対策 その1	・知識問題を焦点に図やグラフを みながら基本的な概略を各分野 ごとに理解する。	16	11	大学入学共通テスト対策 その4	・予想問題、過去問を用いて総合 的に演習を行う。	16
6	大学入学共通テスト対策 その1	・知識問題を焦点に図やグラフを みながら基本的な概略を各分野 ごとに理解する。	16	12	大学入学共通テスト対策 その4	・予想問題、過去問を用いて総合 的に演習を行う。	12
7	大学入学共通テスト対策 その2	・各分野ごとの内容を深めながら 他の分野と関連づけて理解す る。	12	1	私立大学・国公立大学 二次試験対策	・各大学の過去問を中心に二次試 験に対応できる力を養う。	12
8	大学入学共通テスト対策 その2	・各分野ごとの内容を深めながら 他の分野と関連づけて理解す る。	4	2			
9	大学入学共通テスト対策 その3	・教科書の欄外の内容に触れ理解 を深める。	16	3			

備考

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、事故の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各競技の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材				

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方 陸上競技	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て実生活に役立てることができる。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 記録の向上や競争の楽しさを味わい、各種目特有の技能を高めることができる。	9	10	【選択①】 ・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	12
5			12	11	【選択②】 ・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型		12
6	卓球	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	12	12			4
7			9	1			0
8	サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	3	2			0
9			12	3			0

備考

教科名	外国語	科目名	コミ英Ⅲ、英語演習	単位数	7
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別
学習の到達目標	① 一つ一つの文だけでなく、全体の意味を把握する読解力・思考力を身につける。 ② 読み取った内容を、自分の言葉で論理立てて表現できる記述力を身につける。 ③ 多様なテーマを通して、背景知識を身につける。 ④ 英語の文化をふまえ、自然な英訳力を身につける。 ⑤ 180wpm以上の英文を聞き、的確に内容をつかむ。 ⑥ αクラスは共通テストで筆記平均140点以上、リスニング平均70点以上の得点力をつける。 ⑦ βクラスは旧帝大クラスの二次試験問題（筆記、リスニング含む）で平均7割以上の得点力をつける。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用して概要や要点などを目的に応じてとらえることができるかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 「目標解答時間」を参考にして解答した後、綿密な予習をして授業に臨む。 ② 段落ごとの要旨をつかみ、英文全体の論理展開を理解し、要約力をきたえる。 ③ 複雑な文構造の英文を、自然な表現で和訳できるように演習する。 ④ 直英作にならないよう英訳するための語彙、文法、構造の知識を授業を通じて身につける。 ⑤ 速読英単語（必修、上級）、GRAMMARMASTERを活用し、語彙力、熟語力の定着を図る。 ⑥ 200wpm程度の英文を聞き、Shadowing, Dictationなどの技法を用い、T/F問題を確実に得点できるようにする。				
教科書・教材等	教科書 PROMINENCE English Communication Ⅲ（東京書籍）、 NEW FAVORITE English ExpressionⅡ（東京書籍） 副教材 GRAMMARMASTER（Z会出版）、大学入試過去問題、本校オリジナルテキスト				

年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	大学入試問題、湯梨浜オリジナル問題を用い、自宅での予習を前提とした徹底演習期	αクラスは大学入学共通テスト～中堅私立大学レベルの問題に慣れ確実に得点できるようにする。 βクラスは国公立大学二次試験レベル（中難易度～高難易度）を解きこみ、各大学の特徴を捉える。	24	10	自宅での予習を前提とした応用力および柔軟性育成期	語学の根幹である情報交換が、いかなる問題でも、各言語において「より自然」となるよう、その応用力、柔軟性を養う。	32
5			32	11			32
6			32	12	自宅での予習を前提とした大学入学共通テスト演習期	各個人の大学入学共通テスト目標点に達するべく、時間配分を考慮して解答させる。	24
7	夏期集中講座などを利用して、自宅での予習を前提とした各クラスの4技能の弱点を補う補修期	4月からこれまでの各クラスで、垣間見えた弱点を補修し、安定感のある英語力をつける。	24	1	高3生の特別時間割を利用し、志望(受験)大学への対策指導を行う。		24
8			8	2			24
9	自宅での予習を前提とした応用力および柔軟性育成期	語学の根幹である情報交換が、いかなる問題でも、各言語において「より自然」となるよう、その応用力、柔軟性を養う。	32	3			

備考

湯梨浜学園

VICTORY

LIST

湯梨浜学園 VICTORY LIST 国語

		論理的文章	文学的文章	古文	漢文
高校1年	1学期	<input type="checkbox"/> 社会の変容と情報化について理解でき、現代の問題点について考察し、筆者の主張を批評することができる。		<input type="checkbox"/> 推量の助動詞(む・らむ・けむ等)の判別ができる	<input type="checkbox"/> 漢文の句法(使役・受身)が分かる。
				<input type="checkbox"/> 過去・打消の助動詞(き・けり・ず)の判別ができる。	
				<input type="checkbox"/> 完了の助動詞(つ・ぬ・たり・り)の判別ができる	
		<input type="checkbox"/> 「必修語彙ノート」の標準編が7割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」レベルAが8割以上分かる。	
	2学期	<input type="checkbox"/> 社会の変容と情報化について理解でき、現代の問題点についての批評を効率よく、まとめあげることができる。	<input type="checkbox"/> 行間を読み、隠された心情を読み取れる。	<input type="checkbox"/> 自発・使役の助動詞(る・らる・す・さす・しむ)の判別ができる	<input type="checkbox"/> 漢文の句法(疑問・反語)が分かる。
		<input type="checkbox"/> 統計資料を正確に読み取ることができる。		<input type="checkbox"/> 断定(なり・たり)・その他の助動詞の判別ができる	<input type="checkbox"/> 漢文の句法・単語を生かし、短い文章を読解することができる。
				<input type="checkbox"/> これまで授業で学習した文章の読み方や文法をいかしながら、現代語訳できる。	<input type="checkbox"/> 学習した漢文単語が7割以上分かる。
		<input type="checkbox"/> 「必修語彙ノート」の標準編が8割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」レベルBが8割以上分かる。	
	3学期	<input type="checkbox"/> 社会の変容と情報化について理解し、現代の問題点についての批評を、字数制限を守り、まとめることができる。		<input type="checkbox"/> 敬語(尊敬語・謙譲語・丁寧語)が判別できる。	<input type="checkbox"/> 漢文の句法(比較・最上)が分かる。
		<input type="checkbox"/> 本文の内容の要約や自分自身の意見を論理的に論述できる		<input type="checkbox"/> 学習した識別問題が理解できている。	<input type="checkbox"/> 漢文の句法・単語を生かし、1ページ程度の文章の大意を訳すことができる。
				<input type="checkbox"/> 恋愛・仏教・身分などの古文常識が理解できている。	
		<input type="checkbox"/> 「必修語彙ノート」の標準編が9割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」レベルCが8割以上分かる。	
高校2年	1学期	<input type="checkbox"/> 構成・展開・要旨を考えた上で筆者の書いた文章を理解できる。		<input type="checkbox"/> 敬語の仕組みを理解し、敬意の対象・方向が分かる。	<input type="checkbox"/> 漢文の句法(限定・累加・仮定・抑揚)が分かる。
		<input type="checkbox"/> 自分の意見を正しい構成で文章にすることができる。		<input type="checkbox"/> 助動詞の接続、用法が理解できており、正しい現代語訳をすることが出来る。	<input type="checkbox"/> 漢文の句法・単語を生かして、2ページ程度の文章の大意を読み取ることができる。
		<input type="checkbox"/> その作品独特の表現の特徴に気づき、他者に発表できる力がある。		<input type="checkbox"/> 学習した助詞・副詞(呼応の副詞など)などが分かる	
				<input type="checkbox"/> 古典文法・単語を生かして、1ページほどの文章を概ね読解できる。	
		<input type="checkbox"/> 推薦・AO入試の面接に向けて、志望動機や将来の志望を、相手に伝える準備ができている。			
		<input type="checkbox"/> 「必修語彙ノート」の発展編が7割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」レベルAの単語が9割以上分かる。	
	2学期	<input type="checkbox"/> 批判的文章内の筆者の要旨を掴み、問題を解く際のヒントとして使うことができる。	<input type="checkbox"/> 抽象的・観念的な小説に含まれた筆者のメッセージに気づき、設問に答えられる力がある。	<input type="checkbox"/> 古文常識や和歌の修辭法を理解し、登場人物の心情を捉えることができる。	<input type="checkbox"/> 今まで学習した句法を踏まえて読解をすることができる。
				<input type="checkbox"/> 敬語の用法が理解でき主語把握や正しい現代語訳をすることができる。	<input type="checkbox"/> 漢詩の押韻、対句などのルールを理解し、心情や社会情勢を読み取れる。
				<input type="checkbox"/> 助動詞・助詞の識別問題を理解し、完答する力がある。	<input type="checkbox"/> 漢文の史話を読解し、登場人物の心情や、置かれた状況を概ね読み取ることができる。
		<input type="checkbox"/> 与えられた資料やグラフから必要な情報を抽出し、構成メモに起こすことができる。			
		<input type="checkbox"/> 大学入試の面接に向けて自分の意見を書き出すことができる。			
		<input type="checkbox"/> 「必修語彙ノート」の発展編が8割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」レベルA・Bの単語が9割以上分かる。	
3学期	<input type="checkbox"/> 初見の評論問題を読解し、設問に正確に解答することができる。	<input type="checkbox"/> 小説の問題の主題を捉えることができ、問いに対する解答の仕方を身に付けている。	<input type="checkbox"/> 和歌の贈答歌、引き歌などの修辭の知識を基に読解することができる。	<input type="checkbox"/> 共通テストレベルの問題であれば、句法・単語を基に概ね逐語訳できる力がある。	
			<input type="checkbox"/> 複数の主語が登場する文章でも、内容を読み取れる。		
			<input type="checkbox"/> 和歌、古典文学の流れが理解できており、共通テストレベルの問題にも対応できる。	<input type="checkbox"/> 漢文単語や文法の知識から初見の漢文の問題も効率よく消去法が行える。	
	<input type="checkbox"/> 大学入試過去問に積極的に取り組み実践力を付けている。				
	<input type="checkbox"/> 「必修語彙ノート」の発展編が分かる9割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」レベルA～Cの単語が9割以上分かる。		

		論理的文章	文学的文章	古文	漢文				
高校3年	1学期	<input type="checkbox"/>	共通テスト論理的文章を読み解き、選択肢問題を消去法で解答を導ける。	<input type="checkbox"/>	共通テスト文学的文章を読み解き、選択肢問題を消去法で解答を導ける。	<input type="checkbox"/>	共通テスト古文範囲を逐語訳できる古文単語・文法の力が身についている。	<input type="checkbox"/>	共通テスト漢文範囲を逐語訳できる漢文単語・句法の力が身についている。
		<input type="checkbox"/>	模試の100字前後の記述問題において、7割以上の解答にすることができる。	<input type="checkbox"/>	共通テスト文学的文章で細かい心情の読み取りまで考慮できる。	<input type="checkbox"/>	古文の長文を読み、当時の男女間の感情の機微を読み取ることができる。	<input type="checkbox"/>	漢文の長文を現代語訳し、当時の自然観や世界観(思想)を理解できる。
		<input type="checkbox"/>	漢字・慣用句など入試レベルの語彙が身についている。						
		<input type="checkbox"/>	AO・推薦入試に合格できるレベルの小論文の記述力がある。						
		<input type="checkbox"/>	私立大学・国公立二次レベルの長文問題を概ね正答できる力がある。						
		<input type="checkbox"/>	共通テストのデータや文章の読み取り問題に対応できる情報処理能力がある。						
		<input type="checkbox"/>	自分の意見を相手に正しく伝えるプレゼンテーション能力がある。						
	<input type="checkbox"/>	自身の将来像を具体的に文章でまとめたり他者に発表できる。							
	<input type="checkbox"/>	「必修語彙ノート」の全体が7割以上分かる。			<input type="checkbox"/>	「サクラサク古文単語」の全体が8割以上分かる。			
	2学期	<input type="checkbox"/>	共通テスト論理的文章を速読即解でき、7割以上の得点力がある。	<input type="checkbox"/>	共通テスト文学的文章を速読即解でき、7割以上の得点力がある。	<input type="checkbox"/>	共通テスト古文で、古文常識や和歌なども正確に読み取り、満点を狙う実力がある。	<input type="checkbox"/>	共通テスト漢文で、漢文常識や漢詩なども正確に読み取り、満点を狙う実力がある。
		<input type="checkbox"/>	「必修語彙ノート」の全体が7割以上分かる。			<input type="checkbox"/>	「サクラサク古文単語」と「漢文の重要単語」の9割以上分かる。		
		<input type="checkbox"/>	漢字・慣用句など入試レベルの語彙が完璧に身についている。						
		<input type="checkbox"/>	共通テストのデータや文章の読み取りを正確に対応できる情報処理能力がある。						
		<input type="checkbox"/>	難関私立大学・国公立二次の記述問題において指定条件を踏まえた解答を作ることができる。						
<input type="checkbox"/>		国公立二次試験問題に対応できるレベルの小論文の記述力がある。							
<input type="checkbox"/>		自身の将来像を具体的に文章でまとめ、大学面接で表現できる力がある。							
<input type="checkbox"/>	難関私立大学・国公立大学レベルの問題で7割以上を得点する力がある。								

## 湯梨浜学園 VICTORY LIST 社会

高校1年（歴史総合）	1 学期	1	<input type="checkbox"/> 現代の生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や世界の歴史とつながっていることを理解
		2	<input type="checkbox"/> 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取れる情報や特色を表現できる。
		3	<input type="checkbox"/> 近代化の変化の例を挙げ、その例について説明できる。
		4	<input type="checkbox"/> 産業革命と交通革命の始まりとその広がりを理解する。
		5	<input type="checkbox"/> 中国の開港や日本の開国などを基に、世界市場が形成されたことを理解する。
		6	<input type="checkbox"/> 18世紀のアジア諸国における貿易の変化を説明できる。
		7	<input type="checkbox"/> 18世紀後半以降の欧米の市民革命やナショナリズムの動向を理解する。
		8	<input type="checkbox"/> 明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に立憲体制と国民国家の形成を理解する。
		9	<input type="checkbox"/> 列強の帝国主義政策と、その下でのアジア諸国の変容を理解する。
	2 学期	1	<input type="checkbox"/> 国際関係の緊密化、アメリカとソ連の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化など、諸資料から読み取る。
		2	<input type="checkbox"/> 第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴を理解
	3	<input type="checkbox"/> 第一次世界大戦後の日本やその他の国の社会の変化と社会運動（大衆運動）との関連を理解する。	
	4	<input type="checkbox"/> 世界恐慌と各国の対応を理解する。	
	5	<input type="checkbox"/> ファシズムの台頭、日本の対外政策の変化などが国際協調の動揺となったことを理解する。	
	6	<input type="checkbox"/> 第二次世界大戦の性格と惨禍、戦時中の社会状況や人々の生活を理解する。	
	7	<input type="checkbox"/> 国際連合の特色と国際経済体制を理解する。	
	8	<input type="checkbox"/> 冷戦の始まりとアジア諸国の動向を理解する。	
	9	<input type="checkbox"/> 日本に対する占領政策の変化、また日本の独立と安保条約の流れを理解する。	
3 学期	1	<input type="checkbox"/> グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	
	2	<input type="checkbox"/> 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国など第三の世界の台頭を理解する。	
	3	<input type="checkbox"/> 冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張など国際政治の変容を理解する。	
	4	<input type="checkbox"/> 世界経済の状況とともに、経済成長下の日本社会を理解する。	
	5	<input type="checkbox"/> 石油危機による市場経済の変容と課題を理解する。	
	6	<input type="checkbox"/> NIES、ASEANなどの急速な経済成長、日米貿易摩擦を理解する。	
	7	<input type="checkbox"/> 経済が立ち遅れた社会主義国の市場開放を理解する。	
	8	<input type="checkbox"/> 冷戦の終結とその背景、ソ連の解体のその影響を理解する。	
	9	<input type="checkbox"/> 民主化や地域統合の背景と影響を理解する。	
	10	<input type="checkbox"/> 地域紛争の拡散の背景と影響を理解する。	
	11	<input type="checkbox"/> IT革命により、市場経済のグローバル化が一層進んだことを理解する。	

高校1年 (地理総合)	1 学期	1	<input type="checkbox"/> さまざまな図法で描かれた地図の特徴を理解している。
		2	<input type="checkbox"/> 時差計算ができる。
		3	<input type="checkbox"/> 領有権問題が理解できる。
		4	<input type="checkbox"/> 地理院地図・地形図の問題が解ける。
		5	<input type="checkbox"/> ヒト・物・サービスの移動の様子を、与えられた地図から理解できる。
		6	<input type="checkbox"/> GISを使った地図が作成でき、図の特徴を読みとることができる。
		7	<input type="checkbox"/> 外的営力による地形の特徴が理解できる。
		8	<input type="checkbox"/> 大気大循環をもたらす風の性質を理解できる。
		9	<input type="checkbox"/> 海流と循環について理解できる。
2 学期	1	<input type="checkbox"/> ケッペンの気候区分がわかる。	
	2	<input type="checkbox"/> 雨温図・ハイサーグラフを使った問題が解ける。	
	3	<input type="checkbox"/> 第1次産業の地域の特徴が理解できる。	
	4	<input type="checkbox"/> 第2次産業の地域の特徴が理解できる。	
	5	<input type="checkbox"/> 第3次産業の地域の特徴が理解できる。	
	6	<input type="checkbox"/> 宗教・言語分布の特徴、民族問題について説明できる。	
	7	<input type="checkbox"/> 各地域において、地域の地理的特徴と課題が理解できる。	
	8	<input type="checkbox"/> 地球環境問題の世界的特徴と地域の特徴が理解できる。	
	9	<input type="checkbox"/> 資源の分布についての問題が解ける。	
3 学期	1	<input type="checkbox"/> 先進国での人口問題の特徴が説明できる。	
	2	<input type="checkbox"/> 途上国での人口問題の特徴が理解できる。	
	3	<input type="checkbox"/> 世界の食糧問題の特徴が理解できる。	
	4	<input type="checkbox"/> 先進国での都市問題の特徴が理解できる。	
	5	<input type="checkbox"/> 途上国での都市問題の特徴が理解できる。	
	6	<input type="checkbox"/> 日本の自然災害の要因を説明できる。	
	7	<input type="checkbox"/> 日本の自然災害の特徴を、図を読み取って説明できる。	
	8	<input type="checkbox"/> GISを利用して、災害を回避する方法が説明できる。	

- 1  オリент文明の盛衰やイラン人の活動を理解できている。
- 2  エーゲ文明、そしてギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解できている。
- 3  共和政ローマ時代の政治の変遷を理解できている。
- 4  帝政ローマ時代の社会、キリスト教との関係を理解できている。
- 5  インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解できている。
- 6  中国文明の起源から殷・周の成立まで理解できている。
- 7  諸子百家の思想を説明できる。
- 8  秦・漢帝国の動向、この時代に中国王朝の体制(儒教の官学化、朝貢)ができあがったことを理解する。
- 9  先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。
- 10  アジアの遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。
- 11  北方遊牧民の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代の文化を理解できている。
- 12  隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解できている。
- 13  イスラーム成立の背景とその特質を理解できている。
- 14  アラブ人によるイスラーム帝国の発展の要因を理解できている。
- 15  トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化など、イスラーム世界の形成と拡大の過程を理解できている。
- 16  地中海世界の崩壊後、キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界が東西に形成され、変動していった過程と両世界それぞれの独自の性格を理解できている。
- 17  中世における封建社会の成立、教会の権威の盛衰について理解できている。
- 18  東ヨーロッパ世界の成立(ビザンツ帝国の歴史・スラヴ人の歴史)について理解できている。
- 19  内陸アジアの自然と風土、遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。
- 20  モンゴル帝国が東西の道を獲得し大帝国となっていたことを説明できる。
- 21  モンゴル帝国の活動が諸地域世界(ヨーロッパ、イスラーム圏)に与えた影響の大きさを理解できている。
- 22  明・清帝国と朝鮮や日本の関係、東南アジア世界の動向を理解できている。
- 23  トルコ・イランからインドに誕生したイスラーム帝国の動向を理解できている。
- 24  大航海時代の到来、ルネサンスと宗教改革といったヨーロッパ世界の拡大と変革の動きを理解できている。
- 25  主権国家体制の特色と、それを形成したヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解できている。
- 26  17～18世紀におけるヨーロッパ諸国の動きを、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解できている。
- 27  ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解できている。
- 28  イギリス産業革命の背景と展開とその影響について理解できている。
- 29  アメリカ独立革命の背景と展開とその影響について理解できている。
- 30  フランス革命の背景と展開とその影響について理解できている。
- 31  ラテンアメリカ諸国の独立と、合衆国の発展について理解する。
- 32  ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動について理解できる。
- 33  列強体制の動揺とヨーロッパの再編について理解できる。
- 34  アメリカ合衆国の発展について理解できる。
- 35  19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄について理解できる。
- 36  西アジア地域の変容について理解できる。
- 37  南アジア・東南アジアの植民地化について理解できる。
- 38  東アジアの激動について理解できる。
- 39  第2次産業革命と帝国主義について理解できる。
- 40  列強の世界分割と列強体制の二分化について理解できる。
- 41  アジア諸国の変革と民族運動について理解できる。
- 42  第一次世界大戦とロシア革命について理解できる。
- 43  ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について理解できる。
- 44  アジア・アフリカ地域の民族運動について理解できる。
- 45  世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について理解できる。
- 46  第二次世界大戦について理解できる。
- 47  新しい国際秩序の形成について理解できる。
- 48  冷戦の展開について理解できる。
- 49  第三世界の台頭とキューバ危機について理解できる。
- 50  冷戦体制の動揺について理解できる。
- 51  産業構造の変容について理解できる。
- 52  冷戦の終結について理解できる。
- 53  今日の世界について理解できる。
- 54  現代文明の諸相について理解できる。

- 1  地質学上の時代区分が理解できる。
- 2  旧石器時代の道具の特徴が理解できる。
- 3  旧石器時代と縄文時代の日本の気候の違いが理解できる。
- 4  打製石器と磨製石器の特徴が理解できる。
- 5  弥生時代の農業の発達を理解できる。
- 6  弥生時代の集落の特徴を、縄文時代と比較して説明できる。
- 7  金属器の使用と地域分布が理解できる。
- 8  古代中国とのかかわりについて書かれた史料を読み取ることができる。
- 9  邪馬台国の政治の特徴が理解できる。
- 10  古墳時代の古墳形態・内部構造が理解できる。
- 11  古墳時代の古墳形態・内部構造と被葬者の性格を関連づけられる。
- 12  ヤマト政権が用いた氏姓制度の特徴が理解できる。
- 13  ヤマト政権と豪族がそれぞれ経済基盤とした土地の用語が理解できる。
- 14  倭の五王が中国南朝を訪れた理由が説明できる。
- 15  推古朝の政治の特徴が理解できる。
- 16  飛鳥文化における仏像の特徴が理解できる。
- 17  大化の改新による政治の特徴が理解できる。
- 18  壬申の乱後の政治の特徴が理解できる。
- 19  律令制度と班田収授法に関する問題が解ける。
- 20  奈良時代の政治の特徴が理解できる。
- 21  藤原氏による他氏排斥事件に関する問題が解ける。
- 22  鎮護国家思想と行基の活動に関する問題が解ける。
- 23  初期荘園が形成された過程を理解できる。
- 24  天平文化の仏像の特徴が理解できる。
- 25  長岡京から平安京への遷都に至った理由が説明できる。
- 26  桓武天皇の政策が理解できる。
- 27  嵯峨天皇の政策が理解できる。
- 28  表を読み取り、戸籍による班田収授が困難となった理由を説明できる。
- 29  弘仁・貞観文化の特徴が理解できる。
- 30  藤原北家とそれに関わる排斥事件が理解できる。
- 31  摂関政治の特徴が理解できる。
- 32  国風文化の文学に関する問題が解ける。
- 33  浄土信仰に裏打ちされた国風文化の特徴が理解できる。
- 34  国司による暴政を史料を読み取って理解できる。
- 35  寄進地系荘園に至るまでの荘園と国司の関係が理解できる。
- 36  10世紀の武士団の反乱が理解できる。
- 37  11世紀における源氏と平氏の台頭について理解できる。
- 38  院政における政治のしくみが理解できる。
- 39  院政に抵抗する勢力と神木(神輿)の関係が理解できる。
- 40  平氏政権の成立から滅亡までのできごとが理解できる。
- 41  源氏による政権の政治の特徴が理解できる。
- 42  北条氏による政策の特徴が理解できる。
- 43  下地中分について、図を見て特徴が理解できる。
- 44  蒙古襲来における日本の防御の過程が理解できる。
- 45  蒙古襲来後の日本の政治の変化について理解できる。
- 46  鎌倉仏教と旧仏教の教義が理解できる。
- 47  鎌倉幕府滅亡から高(尊)氏政権樹立までの過程が理解できる。
- 48  建武の新政の特徴が理解できる。
- 49  守護大名が有する権限が理解できる。
- 50  足利義満による政治の特徴が理解できる。
- 51  日明貿易について、足利将軍による対応の違いについて説明できる。
- 52  日朝貿易と守護大名とのかかわりが理解できる。
- 53  応仁の乱をはじめとした、反乱の結果が理解できる。
- 54  惣村の成立過程が理解できる。
- 55  土一揆・国一揆・一向一揆の発生地や求めた内容、結果が理解できる。
- 56  室町時代の農業の発達を、史料を通して理解できる。

- 57  室町時代の産業の特徴を理解できる。
- 58  北山文化の特徴が理解できる。
- 59  東山文化の特徴が理解できる。
- 60  応仁の乱後の戦国大名の政策が理解できる。
- 61  南蛮貿易とキリスト教の関係が理解できる。
- 62  織田信長の政治の特徴が理解できる。
- 63  豊臣秀吉の政治の特徴が理解できる。
- 64  桃山文化の特徴が理解できる。
- 65  江戸幕府の成立過程が理解できる。
- 66  初期の外交における鎖国への過程が理解できる。
- 67  寛永期の文化についての問題が解ける。
- 68  江戸時代の農民統制について理解できる。
- 69  徳川家綱から始まった文治政治の政策が理解できる。
- 70  徳川綱吉の政策が理解できる。
- 71  徳川綱吉・新井白石の時代における通貨改鑄の目的の違いが理解できる。
- 72  江戸時代の農具の発達・農書について理解できる。
- 73  江戸時代の各地域の産物に関する問題が解ける。
- 74  元禄文化の特徴が理解できる。
- 75  元禄期の学問について理解できる。
- 76  享保の改革の政策が理解できる。
- 77  一揆と打ちこわしについての問題が解ける。
- 78  田沼時代の政策の特徴と結果が理解できる。
- 79  宝暦の文化の特徴が理解できる。
- 80  寛政の改革の政策が理解できる。
- 81  18世紀末の列強の接近について、人物名と関係した土地を結び付けて理解できる。
- 82  化政文化の特徴が理解できる。
- 83  大御所時代の政策が理解できる。
- 84  天保の改革の政策が理解できる。
- 85  雄藩の財政難を克服した政策が理解できる。
- 86  開国貿易と幕末の政治過程が理解できる。
- 87  明治新政府の政策が理解できる。
- 88  二度の大戦を含む明治外交が理解できる。
- 89  自由民権運動と帝国議会について理解できる。
- 90  明治の文化について理解できる。
- 91  大正政変と第1次世界大戦について理解できる。
- 92  ワシントン体制と第二次護憲運動について理解できる。
- 93  金融恐慌から山東出兵の流れが理解できる。
- 94  金解禁と昭和恐慌が理解できる。
- 95  満州事変と日中戦争について理解できる。
- 96  第二次世界大戦について理解できる。
- 97  政党政治の復活と経済の再建について理解できる。
- 98  冷戦と朝鮮戦争について理解できる。
- 99  高度経済成長期の日本の出来事が理解できる。
- 100  55年体制の成立から崩壊に至るまでの政策が理解できる。
- 101  1980年代の日本経済の特徴が理解できる。
- 102  1990年代から2000年代における政策が理解できる。

1 学期	1	<input type="checkbox"/> 時代による世界地図の表し方の違いが理解できる。
	2	<input type="checkbox"/> 時差を利用した問題が解ける。
	3	<input type="checkbox"/> 地体構造に関する問題が解ける。
	4	<input type="checkbox"/> ケッペンの気候区分とハイサーグラフ・雨温図・降水量のグラフの特徴が結び付けられる。
	5	<input type="checkbox"/> 世界の地球環境問題の特徴が理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> 世界の農業で、作物の分布に関する問題が解ける。
	7	<input type="checkbox"/> 世界の林業で、統計データに関する問題が解ける。
	8	<input type="checkbox"/> 世界の漁業で、漁場と統計に関する問題が解ける。
	9	<input type="checkbox"/> 天然資源の特徴が理解できる。
	10	<input type="checkbox"/> 天然資源の分布の特徴が理解できる。
	11	<input type="checkbox"/> 世界の工業の地域的な特徴が理解できる。
2 学期	1	<input type="checkbox"/> 交通機関の特性が理解できる。
	2	<input type="checkbox"/> 地域による情報格差と国民総所得の関係が理解できる。
	3	<input type="checkbox"/> 先進国の人口分布の特徴が理解できる。
	4	<input type="checkbox"/> 途上国の人口増加の特徴が理解できる。
	5	<input type="checkbox"/> 日本の戦後の人口問題の経緯が理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> 日本の村落の特徴を、地形図や写真をもとにして理解できる。
	7	<input type="checkbox"/> 日本の都市計画が理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> 世界の都市の特徴が理解できる。
	9	<input type="checkbox"/> 宗教や気候に根差した衣服の特徴が理解できる。
	10	<input type="checkbox"/> 言語分布に関する問題が解ける。
	11	<input type="checkbox"/> 世界の内戦・紛争についての問題が解ける。
	12	<input type="checkbox"/> 中国の気候・地形に関する問題が解ける。
	13	<input type="checkbox"/> 中国の農業の特徴が理解できる。
	14	<input type="checkbox"/> 中国の工業の特徴が理解できる。
15	<input type="checkbox"/> 韓国の工業の特徴が理解できる。	
16	<input type="checkbox"/> 東南アジアの地形の特徴が理解できる。	
17	<input type="checkbox"/> 東南アジアの農業の特徴が理解できる。	
18	<input type="checkbox"/> 東南アジアの工業の特徴が理解できる。	
19	<input type="checkbox"/> 南アジアの気候の特徴が理解できる。	
20	<input type="checkbox"/> 南アジアの農業の特徴が理解できる。	
21	<input type="checkbox"/> 南アジアの工業の特徴が理解できる。	
22	<input type="checkbox"/> 南アジアの宗教分布が理解できる。	
3 学期	1	<input type="checkbox"/> 西アジアの気候の特徴が理解できる。
	2	<input type="checkbox"/> 西アジアの工業の特徴が理解できる。
	3	<input type="checkbox"/> 西アジアの人口分布の特徴が理解できる。
	4	<input type="checkbox"/> 中央アジアの気候の特徴が理解できる。
	5	<input type="checkbox"/> アフリカの気候の特徴が理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> アフリカの農業の特徴が理解できる。
	7	<input type="checkbox"/> アフリカの民族分布の特徴が理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> アフリカの貿易の特徴が理解できる。
	9	<input type="checkbox"/> ヨーロッパの気候の特徴が理解できる。
	10	<input type="checkbox"/> ヨーロッパの農業の特徴が理解できる。
	11	<input type="checkbox"/> ヨーロッパの工業の特徴が理解できる。
	12	<input type="checkbox"/> ヨーロッパの貿易の特徴が理解できる。
	13	<input type="checkbox"/> 複数の言語が公用語となっている国の言語分布が理解できる。
	14	<input type="checkbox"/> アングロアメリカの気候の特徴が理解できる。
15	<input type="checkbox"/> アングロアメリカの農業の特徴が理解できる。	
16	<input type="checkbox"/> アングロアメリカの工業の特徴が理解できる。	
17	<input type="checkbox"/> アングロアメリカの人種分布の特徴が理解できる。	
18	<input type="checkbox"/> ラテンアメリカの気候の特徴が理解できる。	
19	<input type="checkbox"/> ラテンアメリカの農業の特徴が理解できる。	
20	<input type="checkbox"/> ラテンアメリカの工業の特徴が理解できる。	
21	<input type="checkbox"/> ラテンアメリカの人種分布の特徴が理解できる。	

- |    |                          |                                   |
|----|--------------------------|-----------------------------------|
| 1  | <input type="checkbox"/> | 産業革命について理解できる。                    |
| 2  | <input type="checkbox"/> | アメリカ独立革命について理解できる。                |
| 3  | <input type="checkbox"/> | フランス革命とナポレオンについて理解できる。            |
| 4  | <input type="checkbox"/> | ウィーン体制の成立について理解できる。               |
| 5  | <input type="checkbox"/> | ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生について理解できる。       |
| 6  | <input type="checkbox"/> | 南北アメリカの発展について理解できる。               |
| 7  | <input type="checkbox"/> | 19世紀欧米の文化について理解できる。               |
| 8  | <input type="checkbox"/> | オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容について理解できる。   |
| 9  | <input type="checkbox"/> | 南アジア・東南アジアの植民地化について理解できる。         |
| 10 | <input type="checkbox"/> | 東アジアの激動について理解できる。                 |
| 11 | <input type="checkbox"/> | 帝国主義と列強の展開について理解できる。              |
| 12 | <input type="checkbox"/> | 世界分割と列強対立について理解できる。               |
| 13 | <input type="checkbox"/> | アジア諸国の改革と民族運動について理解できる。           |
| 14 | <input type="checkbox"/> | 第一次世界大戦とロシア革命について理解できる。           |
| 15 | <input type="checkbox"/> | ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について理解できる。          |
| 16 | <input type="checkbox"/> | アジア・アフリカ地域の民族運動について理解できる。         |
| 17 | <input type="checkbox"/> | 世界恐慌とファシズム諸国の侵略について理解できる。         |
| 18 | <input type="checkbox"/> | 第二次世界大戦について理解できる。                 |
| 19 | <input type="checkbox"/> | 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立について理解できる。     |
| 20 | <input type="checkbox"/> | 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興について理解できる。      |
| 21 | <input type="checkbox"/> | 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄りについて理解できる。        |
| 22 | <input type="checkbox"/> | 石油危機と世界経済の再編について理解できる。            |
| 23 | <input type="checkbox"/> | 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展について理解できる。 |
| 24 | <input type="checkbox"/> | 途上国の民主化と独裁政権の動揺について理解できる。         |
| 25 | <input type="checkbox"/> | 地域紛争の激化と深刻化する貧困について理解できる。         |
| 26 | <input type="checkbox"/> | 現代文明の諸相について理解できる。                 |
| 27 | <input type="checkbox"/> | 第1章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 28 | <input type="checkbox"/> | 第2章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 29 | <input type="checkbox"/> | 第3章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 30 | <input type="checkbox"/> | 第4章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 31 | <input type="checkbox"/> | 第5章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 32 | <input type="checkbox"/> | 第6章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 33 | <input type="checkbox"/> | 第7章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 34 | <input type="checkbox"/> | 第8章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 35 | <input type="checkbox"/> | 第9章の共通テスト問題が解ける。                  |
| 36 | <input type="checkbox"/> | 第10章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 37 | <input type="checkbox"/> | 第11章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 38 | <input type="checkbox"/> | 第12章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 39 | <input type="checkbox"/> | 第13章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 40 | <input type="checkbox"/> | 第14章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 41 | <input type="checkbox"/> | 第15章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 42 | <input type="checkbox"/> | 第16章の共通テスト問題が解ける。                 |
| 43 | <input type="checkbox"/> | グラフ問題が解ける。                        |
| 44 | <input type="checkbox"/> | 資料問題が解ける。                         |

高校 3年 (日本史)	1 学 期	1	<input type="checkbox"/> サンフランシスコ平和条約に至るまでの日本の復興策が理解できる。
		2	<input type="checkbox"/> 独立後の日米安全保障体制が理解できる。
		3	<input type="checkbox"/> 高度経済成長における日本の出来事が理解できる。
		4	<input type="checkbox"/> 1973年以降の日本の出来事が理解できる。
		5	<input type="checkbox"/> 1980年代の日本の出来事が理解できる。
		6	<input type="checkbox"/> 1990年代の日本の出来事が理解できる。
		7	<input type="checkbox"/> 2000年代の日本の出来事が理解できる。
		8	<input type="checkbox"/> 共通テスト第5問 幕末から明治の問題が解ける。
		9	<input type="checkbox"/> 共通テスト第6問 明治から現代にかけての問題が解ける。
		10	<input type="checkbox"/> 1つの史料を読み取った問題が解ける。
		11	<input type="checkbox"/> 2つもしくは3つの史料を組み合わせた読み取り問題が解ける。
	2 学 期	1	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題 第一問題 テーマ史が解ける。
		2	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題 第二問題 古代史が解ける。
		3	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題 第三問題 中世史が解ける。
		4	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題 第四問題 近世史が解ける。
		5	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題 第五問題 幕末・明治史が解ける。
		6	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題 第六問題 明治～現代史が解ける。
		7	<input type="checkbox"/> 複数の資料を読み取った問題が解ける。
		8	<input type="checkbox"/> 地図を使った問題が解ける。
		9	<input type="checkbox"/> 写真を使用した問題が解ける。
		10	<input type="checkbox"/> 年代順並べ替え問題が解ける。
		11	<input type="checkbox"/> 4択問題の正誤が指摘できる。

高校 3年 (地理)	1	<input type="checkbox"/> 北アメリカの工業の地域的特徴が理解できる。
	2	<input type="checkbox"/> 北アメリカの農業の特徴が理解できる。
	3	<input type="checkbox"/> 北アメリカの気候の問題が解ける。
	4	<input type="checkbox"/> アメリカ西海岸から南部にかけての移民問題の特徴が理解できる。
	5	<input type="checkbox"/> カナダの言語使用地域の違いが理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> 南アメリカの工業の地域的特徴が理解できる。
	7	<input type="checkbox"/> 南アメリカの農業の特徴が理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> 南アメリカの気候の問題が解ける。
	9	<input type="checkbox"/> 南アメリカの都市問題について図を用いた問題が解ける。
	10	<input type="checkbox"/> オセアニアの工業の特徴が理解できる。
	11	<input type="checkbox"/> オセアニアの農業の特徴が理解できる。
	12	<input type="checkbox"/> オセアニアの民族と公用語について理解できる。
	13	<input type="checkbox"/> オセアニアの地形の問題が解ける。
	14	<input type="checkbox"/> 日本の第一次産業の特徴が理解できる。
	15	<input type="checkbox"/> 日本の第二次産業の特徴が理解できる。
	16	<input type="checkbox"/> 日本の第三次産業の特徴が理解できる。
	17	<input type="checkbox"/> 日本の気候についての問題が解ける。
	18	<input type="checkbox"/> 日本の地形に関する問題が解ける。
	19	<input type="checkbox"/> 地形図を利用した問題が解ける。
	1	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第一問題で、地体構造についての問題が解ける。
	2	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第一問題で、災害に関する問題が解ける。
	3	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第一問題で、気候に関する問題が解ける。
	4	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第二問題で、農業に関する問題が解ける。
	5	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第二問題で、工業に関する問題が解ける。
	6	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第二問題で、鉱業に関する問題が解ける。
	7	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第二問題で、エネルギーに関する問題が解ける。
	8	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第三問題で、世界の都市に関する問題が解ける。
	9	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第三問題で、日本の村落に関する問題が解ける。
	10	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第三問題で、世界の宗教に関する問題が解ける。
	11	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第三問題で、世界の文化に関する問題が解ける。
	12	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、東アジア地誌に関する問題が解ける。
	13	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、東南アジア地誌に関する問題が解ける。
	14	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、南アジア地誌に関する問題が解ける。
	15	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、西アジア地誌に関する問題が解ける。
	16	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、アフリカ地誌に関する問題が解ける。
	17	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、ヨーロッパ地誌に関する問題が解ける。
	18	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、アングロアメリカ地誌に関する問題が解ける。
	19	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、ラテンアメリカ地誌に関する問題が解ける。
	20	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、オセアニア地誌に関する問題が解ける。
	21	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、ロシア周辺地誌に関する問題が解ける。
	22	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第四問題で、比較地誌に関する問題が解ける。
	23	<input type="checkbox"/> 共通テスト型問題第五問題で、日本地理に関する問題が解ける。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学

1 学期	1	<input type="checkbox"/> 複素数の定義を理解している
	2	<input type="checkbox"/> 複素数の四則計算ができる
	3	<input type="checkbox"/> 負の数の平方根を理解している
	4	<input type="checkbox"/> 負の数の平方根を含む式の計算を $i$ を用いて処理することができる
	5	<input type="checkbox"/> 2次方程式を、解の公式を利用して解くことができる
	6	<input type="checkbox"/> 判別式を利用して2次方程式の解の種類を判別することができる
	7	<input type="checkbox"/> 解と係数の関係を利用して問題を解くことができる
	8	<input type="checkbox"/> 2次方程式の解を利用して、2次式を因数分解できる
	9	<input type="checkbox"/> 和と積が与えられた2数を、2次方程式を解くことによって求めることができる
	10	<input type="checkbox"/> 剰余の定理を利用して、多項式で割った余りを求めることができる
	11	<input type="checkbox"/> 高次式を因数分解できる
	12	<input type="checkbox"/> 高次式の2重解・3重解の意味を理解している
	13	<input type="checkbox"/> 高次式の虚数解から方程式の係数を決定できる
	14	<input type="checkbox"/> 高次方程式が虚数解 $a+bi$ をもてば、 $a-bi$ も解に持つことを利用できる
	15	<input type="checkbox"/> 数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点を求めることができる
	16	<input type="checkbox"/> 座標平面上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点を求めることができる
	17	<input type="checkbox"/> 三角形の重心の座標を求める公式を利用できる
	18	<input type="checkbox"/> 2直線の平行・垂直条件を利用できる
	19	<input type="checkbox"/> 円の方程式の求め方を理解している
2 学期	1	<input type="checkbox"/> 2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる
	2	<input type="checkbox"/> 3点を通る円の方程式を求めることができる
	3	<input type="checkbox"/> 円と直線の共有点の座標を求めることができる
	4	<input type="checkbox"/> 円と直線の位置関係を判定できる
	5	<input type="checkbox"/> 円の接線の公式を利用できる
	6	<input type="checkbox"/> 2つの円の位置関係を調べることができる
	7	<input type="checkbox"/> 2つの円の共有点の座標を求めることができる
	8	<input type="checkbox"/> 軌跡の定義を理解している
	9	<input type="checkbox"/> 媒介変数を利用した軌跡の求め方を理解している
	10	<input type="checkbox"/> 不等式が表す領域を図示することができる
	11	<input type="checkbox"/> 領域を利用する最大値・最小値の求め方を理解している
	12	<input type="checkbox"/> 一般角を表す動径を図示できる
	13	<input type="checkbox"/> 角度の表し方に度数法と弧度法があることを理解している
	14	<input type="checkbox"/> 弧度法で表された角の三角関数を求めることができる
	15	<input type="checkbox"/> 単位円周上の点を三角関数で表すことができる
	16	<input type="checkbox"/> 三角関数の相互関係を利用して様々な値を求めることができる
	17	<input type="checkbox"/> 式からグラフや周期を求めることができる
	18	<input type="checkbox"/> 三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる
	19	<input type="checkbox"/> 加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる
3 学期	1	<input type="checkbox"/> 2倍角・半角の公式を利用して三角関数の値を求めることができる
	2	<input type="checkbox"/> 関数の合成を利用して、三角関数を含む方程式を解くことができる
	3	<input type="checkbox"/> 極限値を計算して、微分係数を求めることができる
	4	<input type="checkbox"/> 平均変化率や微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる
	5	<input type="checkbox"/> 定義に基づいて導関数を求めることができる
	6	<input type="checkbox"/> 導関数を利用して微分係数を求めることができる
	7	<input type="checkbox"/> 接線の方程式を利用して、接線を求めることができる
	8	<input type="checkbox"/> 曲線外の点から曲線に引く接線の求め方を理解している
	9	<input type="checkbox"/> 関数の増減や極値を調べることができる
	10	<input type="checkbox"/> 導関数を利用して、関数の極値を求めたりグラフを書いたりできる
	11	<input type="checkbox"/> 導関数を利用して、最大値や最小値を求めることができる
	12	<input type="checkbox"/> 不定積分の計算ができる
	13	<input type="checkbox"/> 不定積分の定義や性質を理解している
	14	<input type="checkbox"/> 与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる
	15	<input type="checkbox"/> 定積分の定義や性質を理解している
	16	<input type="checkbox"/> 定積分を含む関数を求めることができる
	17	<input type="checkbox"/> 直線や曲線で囲まれた面積を求めることができる
	18	<input type="checkbox"/> 絶対値のついた定積分の計算方法を理解している

高校1年(数学Ⅰ)

高校1年 (数学A)	1学期	1	<input type="checkbox"/>	指数法則を覚えている
		2	<input type="checkbox"/>	累乗根について理解している
		3	<input type="checkbox"/>	指数法則を指数が有理数の場合でも使用できる
		4	<input type="checkbox"/>	指数関数のグラフを書くことができる
		5	<input type="checkbox"/>	指数関数を含む方程式や不等式を解くことができる
		6	<input type="checkbox"/>	指数と対数の変換ができる
		7	<input type="checkbox"/>	対数の性質を覚えている
		8	<input type="checkbox"/>	底の変換公式を覚えている
		9	<input type="checkbox"/>	対数関数のグラフを書くことができる
		10	<input type="checkbox"/>	対数関数を含む方程式や不等式を解くことができる
		11	<input type="checkbox"/>	常用対数表を扱うことができる
		12	<input type="checkbox"/>	常用対数を利用して問題を解くことができる
		13	<input type="checkbox"/>	ベクトルの演算を利用して問題を解くことができる
		14	<input type="checkbox"/>	ベクトルの成分を利用して問題を解くことができる
		15	<input type="checkbox"/>	ベクトルの内積を利用して問題を解くことができる
	2学期	1	<input type="checkbox"/>	成分や内積を利用して応用問題を解くことができる
		2	<input type="checkbox"/>	位置ベクトルについて理解し、問題を解くことができる
		3	<input type="checkbox"/>	位置ベクトルの一意性を理解し、計算に利用できる
		4	<input type="checkbox"/>	内分・外分する点を求めることができる
		5	<input type="checkbox"/>	垂直条件を内積で考察できる
		6	<input type="checkbox"/>	チェバ・メネラウスの定理にベクトルを利用できる
		7	<input type="checkbox"/>	直線のベクトル方程式を理解している
		8	<input type="checkbox"/>	円にベクトルを利用できる
		9	<input type="checkbox"/>	空間上のベクトルを平面ベクトルの拡張としてとらえることができる
		10	<input type="checkbox"/>	空間のベクトルの成分を利用した計算ができる
		11	<input type="checkbox"/>	空間の点とベクトルの成分の関係を理解している
		12	<input type="checkbox"/>	ベクトルの内積を、平面から空間に拡張して利用できる
		13	<input type="checkbox"/>	ベクトルのなす角をもとめることができる
		14	<input type="checkbox"/>	ベクトルの垂直条件を計算に利用できる
		15	<input type="checkbox"/>	四面体を位置ベクトルで考察できる
		16	<input type="checkbox"/>	空間における平面を、位置ベクトルで考察できる
		17	<input type="checkbox"/>	ベクトルの分解を利用し、計算に利用できる
	18	<input type="checkbox"/>	空間の図形の性質を、内積を利用して証明できる	
	19	<input type="checkbox"/>	2点間の距離の公式を理解している	
	20	<input type="checkbox"/>	球面の方程式が求められる	
	21	<input type="checkbox"/>	球面と平面が交わってできる図形を求めることができる	
	22	<input type="checkbox"/>	球面の方程式から中心や半径を読み取ることができる	
	3学期	1	<input type="checkbox"/>	数列の定義・表記について理解している
		2	<input type="checkbox"/>	数の並び方に、その規則性を発見することができる
		3	<input type="checkbox"/>	数の並び方から推測して、数列の一般項を考察できる
		4	<input type="checkbox"/>	等差数列の公差、一般項を理解している
		5	<input type="checkbox"/>	等差数列の和の公式を適切に利用できる
		6	<input type="checkbox"/>	等比数列の公比、一般項を理解している
		7	<input type="checkbox"/>	等比数列の和の公式を適切に利用できる
		8	<input type="checkbox"/>	記号 $\Sigma$ で表して数列の和を求めることができる
9		<input type="checkbox"/>	階差数列を見つけることができる	
10		<input type="checkbox"/>	階差数列を利用してもとの数列の一般項を求めることができる	
11		<input type="checkbox"/>	いろいろな数列の和が求められる	
12	<input type="checkbox"/>	漸化式が解ける		

1  
学  
期

- 1  数列の定義・表記について理解している
- 2  数の並び方に、その規則性を発見することができる
- 3  数の並び方から推測して、数列の一般項を考察できる
- 4  等差数列の公差、一般項を理解している
- 5  等差数列の和の公式を適切に利用できる
- 6  等比数列の公比、一般項を理解している
- 7  等比数列の和の公式を適切に利用できる
- 8  記号 $\Sigma$ で表して数列の和を求めることができる
- 9  階差数列を見つけることができる
- 10  階差数列を利用してもとの数列の一般項を求めることができる
- 11  分数関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。
- 12  連立方程式を解くことで、分数関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる。
- 13  グラフを利用することで、分数方程式、分数不等式を解くことができる。
- 14  無理関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。
- 15  無理関数のグラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察しようとする。
- 16  連立方程式を解くことで、無理関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる。
- 17  グラフを利用することで、無理方程式、無理不等式を解くことができる。
- 18  逆関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の逆関数を求めることができる。
- 19  合成関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の合成関数を求めることができる。
- 20  簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる。
- 21  不定形を解消するなど、数列の式を適切に変形することで、収束・発散を調べることができる。
- 22  数列の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる。
- 23  無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができる。
- 24  無限等比数列を、公比の値で場合分けし、その極限を考察することができる。
- 25  漸化式で表された数列の一般項を求め、数列の極限を求めることができる。
- 26  無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散を調べられる。
- 27  無限等比級数の収束条件を理解し、それを利用できる。
- 28  無限等比級数の知識を利用して、数学的に循環小数を分数で表すことができる。
- 29  無限級数の和の性質について理解し、それを用いて無限級数の和が求められる。
- 30  無限級数の収束、発散を判定する条件を理解し、それを利用できる。
- 31  簡単な関数の  $x \rightarrow a$  のときの極限を求めることができる。
- 32  不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる。
- 33  極限の等式を成り立たせる必要条件を求めて、その十分性を確認することで関数の式の係数を決定することができる。
- 34  関数の極限が、正・負の無限大に発散する場合を調べられる。
- 35  関数の右側極限、左側極限、関数の極限の有無について考察することができる。
- 36  不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる。
- 37  指数関数、対数関数の極限が求められる。
- 38  関数の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる。
- 39  三角関数を含む様々な関数の極限值を求めることができる。
- 40  三角関数の極限を応用して、図形的な問題を処理することができる。
- 41  定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる。

- 1  確率変数の確率分布を求めることができる
- 2  確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる
- 3  確率変数の期待値 $E(X)$ や分散 $V(X)$ などの計算式を理解して活用することができる
- 4  確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる
- 5  独立な確率変数の積の期待値を、公式を利用して求めることができる
- 6  独立な確率変数の和の分散を、公式を利用して求めることができる。
- 7  反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。
- 8  二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。
- 9  連続型確率変数について、確率を求めることができる。
- 10  正規分布に従う確率変数 $X$ を標準正規分布に従う確率変数 $Z$ に変換できる。
- 11  標準正規分布に従う確率変数 $Z$ についての確率を求めることができる。
- 12  標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。
- 13  母平均、母標準偏差を求めることができる。
- 14  母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。
- 15  信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる。
- 16  微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる。
- 17  導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができる。

- 18  導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる。
- 19  三角関数の導関数を理解し、三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。
- 20  自然対数  $e$  の定義と、対数関数の導関数を理解し、対数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。
- 21  対数微分法を利用して、複雑な関数を微分することができる。
- 22  指数関数の導関数を理解し、指数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。
- 23  高次導関数の定義、表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる。
- 24  方程式  $F(x, y)=0$  を関数とみて、合成関数の導関数を利用して微分することができる。
- 25  媒介変数  $t$  で表された関数の導関数を、 $t$  の関数として表すことができる。
- 26  微分係数の意味を理解しており、接線の方程式を求めることができる。
- 27  公式を利用して、法線の方程式を求めることができる。
- 28  傾きや通る1点から接線の方程式を求めることができる。
- 29   $F(x, y)=0$  で表された曲線の接線の方程式を、陰関数の微分法を利用して求められる。
- 30  平均値の定理を利用して、不等式を証明する方法を理解している。
- 31  導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減が調べられる。
- 32  導関数を利用して、関数の極値が求められる。
- 33  関数の極値が与えられたとき、必要十分条件に注意して関数を決定することができる。
- 34  導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。
- 35  関数の増減、凹凸、変曲点、漸近線、定義域、 $x \rightarrow \pm\infty$  のときの状態などを調べてグラフをかくことができる。
- 36  第2次導関数と極値の関係を理解し、第2次導関数を利用して極値を求めることができる。
- 37  導関数を利用して、不等式を証明することができる。
- 38  方程式  $f(x)=a$  の実数解の個数を、関数  $y=f(x)$  のグラフと直線  $y=a$  の共有点の個数に読み替えて考察できる。
- 39  直線上を運動する点の速度・加速度を基に、平面上を運動する点の速度・加速度を考察する。
- 40  直線上や平面上を運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、点の座標が与えられたときにそれらを求めることができる。
- 41  等速円運動の定義を理解し、等速円運動をしている点の速度、加速度を求めることができる。

- 1  極形式の定義を理解し、複素数を極形式で表すことができる。
- 2  複素数の積、商の絶対値、偏角の性質を理解し、それらを求めることができる。
- 3  ド・モアブルの定理を利用して、複素数の  $n$  乗を求めることができる。
- 4  複素数の  $n$  乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を利用して  $n$  乗根を求めることができる。
- 5  線分の内分点、外分点や三角形の重心を表す複素数を理解し、求めることができる。
- 6  複素数の方程式を満たす点全体について考察し、その意味を考えることや計算で求めることができる。
- 7  複素数の乗法の図形的意味を活用して、点  $\beta$  を、点  $\alpha$  を中心として  $\theta$  だけ回転した点を求めることができる。
- 8  半直線のなす角を複素数で表すことを理解し、角度や複素数を求めることができる。
- 9  複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できることを理解し、それを活用することができる。
- 10  放物線の方程式から、概形をかき、焦点、準線を求めることができる。
- 11  焦点が  $y$  軸上にある放物線について、概形をかき、焦点、準線を求めることができる。
- 12  楕円の方程式から、概形をかき、焦点、長軸の長さ、短軸の長さを求めることができる。
- 13  焦点の座標などから、楕円の方程式を求めることができる。
- 14  焦点が  $y$  軸上にある楕円について、概形をかき、焦点、長軸の長さ、短軸の長さを求めることができる。
- 15  双曲線の方程式から、概形をかき、焦点、頂点、漸近線を求めることができる。
- 16  焦点が  $y$  軸上にある双曲線について、概形をかき、焦点、頂点、漸近線を求めることができる。
- 17  焦点の座標などから、双曲線の方程式を求めることができる。
- 18  2次曲線と直線の位置関係を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。
- 19  2次曲線と直線の交点や弦の midpoint の座標を求めることができる。
- 20  2次曲線の接線の方程式を求めることができる。
- 21  不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。
- 22  被積分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求めることができる。
- 23  様々な工夫によって被積分関数を変形することで、不定積分を求めることができる。
- 24  定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の定積分を計算できる。
- 25  絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考えて、定積分の計算を考察することができる。
- 26  偶関数、奇関数の定積分の性質を理解し、積分区間が原点对称のとき、それを利用して定積分の計算をすることができる。
- 27  定積分の置換積分法、部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の定積分を計算できる。
- 28  上端、下端が変数  $x$  である定積分で表された関数の扱い方を理解している。
- 29  上端、下端がともに定数である定積分を含む関数を定積分を定数とおくことで求められる。
- 30  特別な形をした数列の和の極限を、定積分を利用して計算することができる。
- 31  関数の大小とその関数の定積分の大小との関係について理解している。
- 32  不等式に現れる式の図形的意味を考えることで、定積分を利用して不等式の証明を考察することができる。
- 33  直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。
- 34  媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を、置換積分の考えで計算して求めることができる。
- 35  立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、体積を求めることができる。

- |    |                          |  |
|----|--------------------------|--|
| 36 | <input type="checkbox"/> | 回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求めることができる。                 |
| 37 | <input type="checkbox"/> | 媒介変数表示された曲線を回転させてできる立体の体積を、置換積分の考えで計算して求めることができる。  |
| 38 | <input type="checkbox"/> | 数直線上を運動する点の座標、道のりを定積分を用いて求めることができる。                |
| 39 | <input type="checkbox"/> | 座標平面上の点の座標が媒介変数で表されているとき、点が動く道のりを定積分を用いて求めることができる。 |
| 40 | <input type="checkbox"/> | 定積分を用いて、曲線の長さを求めることができる。                           |

高校 2年 (文系)	1 学 期	1	<input type="checkbox"/> 数列の定義・表記について理解している
		2	<input type="checkbox"/> 数の並び方に、その規則性を発見することができる
		3	<input type="checkbox"/> 数の並び方から推測して、数列の一般項を考察できる
		4	<input type="checkbox"/> 等差数列の公差、一般項を理解している
		5	<input type="checkbox"/> 等差数列の和の公式を適切に利用できる
		6	<input type="checkbox"/> 等比数列の公比、一般項を理解している
		7	<input type="checkbox"/> 等比数列の和の公式を適切に利用できる
		8	<input type="checkbox"/> 記号 $\Sigma$ で表して数列の和を求めることができる
		9	<input type="checkbox"/> 階差数列を見つけることができる
		10	<input type="checkbox"/> 階差数列を利用してもとの数列の一般項を求めることができる
	2 学 期	1	<input type="checkbox"/> 確率変数の確率分布を求めることができる
		2	<input type="checkbox"/> 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる
		3	<input type="checkbox"/> 確率変数の期待値 $E(X)$ や分散 $V(X)$ などの計算式を理解して活用することができる
		4	<input type="checkbox"/> 確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる
		5	<input type="checkbox"/> 独立な確率変数の積の期待値を、公式を利用して求めることができる
6		<input type="checkbox"/> 独立な確率変数の和の分散を、公式を利用して求めることができる。	
7		<input type="checkbox"/> 反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。	
8		<input type="checkbox"/> 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。	
9		<input type="checkbox"/> 連続型確率変数について、確率を求めることができる。	
10		<input type="checkbox"/> 正規分布に従う確率変数 $X$ を標準正規分布に従う確率変数 $Z$ に変換できる。	
11		<input type="checkbox"/> 標準正規分布に従う確率変数 $Z$ についての確率を求めることができる。	
12		<input type="checkbox"/> 標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。	
13		<input type="checkbox"/> 母平均、母標準偏差を求めることができる。	
14		<input type="checkbox"/> 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。	
15		<input type="checkbox"/> 信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる。	
3 学 期	1	<input type="checkbox"/> 極形式の定義を理解し、複素数を極形式で表すことができる。	
	2	<input type="checkbox"/> 複素数の積、商の絶対値、偏角の性質を理解し、それらを求めることができる。	
	3	<input type="checkbox"/> ド・モアブルの定理を利用して、複素数の $n$ 乗を求めることができる。	
	4	<input type="checkbox"/> 複素数の $n$ 乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を利用して $n$ 乗根を求めることができる。	
	5	<input type="checkbox"/> 線分の内分点、外分点や三角形の重心を表す複素数を理解し、求めることができる。	
	6	<input type="checkbox"/> 複素数の方程式を満たす点全体について考察し、その意味を考えることや計算で求めることができる。	
	7	<input type="checkbox"/> 複素数の乗法の図形的意味を活用して、点 $\beta$ を、点 $\alpha$ を中心として $\theta$ だけ回転した点を求めることができる。	
	8	<input type="checkbox"/> 半直線のなす角を複素数で表すことを理解し、角度や複素数を求めることができる。	
	9	<input type="checkbox"/> 複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できることを理解し、それを活用することができる。	
	10	<input type="checkbox"/> 放物線の方程式から、概形をかき、焦点、準線を求めることができる。	
	11	<input type="checkbox"/> 焦点が $y$ 軸上にある放物線について、概形をかき、焦点、準線を求めることができる。	
	12	<input type="checkbox"/> 楕円の方程式から、概形をかき、焦点、長軸の長さ、短軸の長さを求めることができる。	
	13	<input type="checkbox"/> 焦点の座標などから、楕円の方程式を求めることができる。	
	14	<input type="checkbox"/> 焦点が $y$ 軸上にある楕円について、概形をかき、焦点、長軸の長さ、短軸の長さを求めることができる。	
	15	<input type="checkbox"/> 双曲線の方程式から、概形をかき、焦点、頂点、漸近線を求めることができる。	
16	<input type="checkbox"/> 焦点が $y$ 軸上にある双曲線について、概形をかき、焦点、頂点、漸近線を求めることができる。		
17	<input type="checkbox"/> 焦点の座標などから、双曲線の方程式を求めることができる。		
18	<input type="checkbox"/> 2次曲線と直線の位置関係を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。		
19	<input type="checkbox"/> 2次曲線と直線の交点や弦の中点の座標を求めることができる。		
20	<input type="checkbox"/> 2次曲線の接線の方程式を求めることができる。		

高校 3年	1 学期	1	<input type="checkbox"/>	標準的な大学入試問題が5割以上解ける(理系)
		2	<input type="checkbox"/>	基礎的な大学入試問題が8割以上解ける(理系)
		3	<input type="checkbox"/>	標準的な共通テスト対策問題が5割以上解ける(文系)
		4	<input type="checkbox"/>	基本的な共通テスト対策問題が8割以上解ける(文系)
	2 学期	1	<input type="checkbox"/>	応用的な大学入試問題が5割以上解ける(理系)
		2	<input type="checkbox"/>	標準的な大学入試問題が8割以上解ける(理系)
		3	<input type="checkbox"/>	応用的な共通テスト対策問題が5割以上解ける(文系)
		4	<input type="checkbox"/>	標準的な共通テスト対策問題が8割以上解ける(文系)

湯梨浜学園 VICTORY LIST 理科

高校1年 (理系化学)	通年	1	<電池・電気分解>
		2	<input type="checkbox"/> 酸化・還元という言葉を用いて電池のしくみが説明できる。
		3	<input type="checkbox"/> ボルタ電池・ダニエル電池のしくみが説明できる。
		4	<input type="checkbox"/> 鉛蓄電池の放電・充電のしくみが説明できる。
		5	<input type="checkbox"/> 燃料電池のしくみが説明できる。
		6	<input type="checkbox"/> 電気分解のしくみが説明できる。
		7	<input type="checkbox"/> 電気分解でおきる陽極・陰極の反応式が書ける。
		8	<物質の三態>
		9	<input type="checkbox"/> 物質の三態と状態図の関係を読み取ることができる。
		10	<input type="checkbox"/> 水銀柱を用いた圧力の計算ができる。
		11	<気体>
		12	<input type="checkbox"/> ボイル・シャルルの法則を用いた計算ができる。
		13	<input type="checkbox"/> 気体の状態方程式を用いてさまざまな値を求めることができる。
		14	<input type="checkbox"/> 混合気体の分圧を用いた計算ができる。
		15	<input type="checkbox"/> 水の飽和蒸気圧に関する計算ができる。
		16	<input type="checkbox"/> 理想気体と実在気体の違いを説明できる。
		17	<溶解度>
		18	<input type="checkbox"/> 固体(無水物)の溶解度の計算ができる。
		19	<input type="checkbox"/> 固体(水和物)の溶解度の計算ができる。
		20	<input type="checkbox"/> 気体の溶解度の計算ができる。
		21	<希薄溶液の性質>
		22	<input type="checkbox"/> 沸点上昇、凝固点降下など質量モル濃度を用いた計算ができる。
		23	<input type="checkbox"/> 凝固点降下に関するグラフを読み取ることができる。
		24	<input type="checkbox"/> 浸透圧に関する計算ができる。
		25	<input type="checkbox"/> コロイドの種類とその性質を説明できる。
		26	<結晶構造>
		27	<input type="checkbox"/> 金属の面心立方格子、体心立方格子に関する計算ができる。
		28	<input type="checkbox"/> ダイヤモンドや黒鉛のような複雑な結晶格子の計算ができる。
		29	<input type="checkbox"/> イオンの結晶格子に関する計算ができる。
		30	<熱化学方程式>
		31	<input type="checkbox"/> 熱化学方程式の種類が判別できる。
		32	<input type="checkbox"/> 問題文から熱化学方程式をつくることができる。
		33	<input type="checkbox"/> ヘスの法則を用いた計算ができる。
		34	<input type="checkbox"/> 結合エネルギーに関する計算ができる。
		35	<input type="checkbox"/> エネルギー図を用いた計算ができる。
		36	<反応速度と化学平衡>
		37	<input type="checkbox"/> 問題文や表・グラフの値を用いて反応速度式を使った計算ができる。
		38	<input type="checkbox"/> モル濃度を用いた平衡定数に関する計算ができる。
		39	<input type="checkbox"/> ルシャトリエの原理を用いて平衡の移動を説明できる。

高校1年 (物理基礎)	通年	1	<input type="checkbox"/> $x-t, v-t, a-t$ グラフの意味を理解し、変位、速度、加速度を求めることができる。
		2	<input type="checkbox"/> 落体運動において等加速度運動の公式を利用できる。
		3	<input type="checkbox"/> 物体にはたらく力を理解し、物体にはたらく力を矢印を使って書くことができる。
		4	<input type="checkbox"/> 力を合成、分解し力のつり合いの式を立てることができる。
		5	<input type="checkbox"/> 連結している2物体に関して運動方程式を立て、解くことができる。
		6	<input type="checkbox"/> 摩擦について理解し、物体の運動に応じて摩擦力を求めることができる。
		7	<input type="checkbox"/> 圧力や浮力が発生する原因について原理を理解し、説明できる。
		8	<input type="checkbox"/> 仕事に正負があることを理解し、仕事を求めることができる。
		9	<input type="checkbox"/> 仕事の原理およびエネルギーの原理を理解し、式を立てることができる。
		10	<input type="checkbox"/> 力学的エネルギー保存則を立てることができる。
		11	<input type="checkbox"/> 熱量保存則を立てることができる。
		12	<input type="checkbox"/> 潜熱(融解熱、蒸発熱、凝固熱など)を求めることができる。
		13	<input type="checkbox"/> 熱量とエネルギーの関係を理解し、立式できる。
		14	<input type="checkbox"/> 波に関する物理量を求めることができる。
		15	<input type="checkbox"/> $y-x, y-t$ グラフを任意の時間や任意の座標について描くことができる。
		16	<input type="checkbox"/> 縦波について理解し、疎密部や周期、波長、速さ、振動数を求めることができる。
		17	<input type="checkbox"/> 自由端、固定端の違いを理解し、合成波が作図できる。
		18	<input type="checkbox"/> 弦、閉管、開管の違いを理解し、状況に応じて振動数や波長を求めることができる。
		19	<input type="checkbox"/> 平面運動において、相対速度を理解し、速度や時間を求めることができる。
		20	<input type="checkbox"/> 放物運動の速度や変位、到達距離や時間などを求めることができる。
		21	<input type="checkbox"/> 剛体のモーメントについて理解し、つり合いの式を立てることができる。
		22	<input type="checkbox"/> 重心の求め方を理解し、剛体に重心を求めることができる。
		23	<input type="checkbox"/> 運動量と力積の関係を理解し、ベクトル図を使って運動量や力積を求めることができる。
		24	<input type="checkbox"/> 衝突2物体に運動量保存則と反発係数の定義を使い、物体の速度を求めることができる。

- |    |   |
|----|---|
| 1  | <生物の体内環境の維持>  |
| 2  | <input type="checkbox"/> 恒常性を説明できる。                               |
| 3  | <input type="checkbox"/> 3種類の体液について説明できる。                         |
| 4  | <input type="checkbox"/> 血液循環の経路を説明できる。                           |
| 5  | <input type="checkbox"/> 血球成分の特徴について説明できる。                        |
| 6  | <input type="checkbox"/> 酸素解離曲線から必要なデータを読み取り放出酸素量を計算できる。          |
| 7  | <input type="checkbox"/> 腎臓の構造とはたらきを説明できる。                        |
| 8  | <input type="checkbox"/> 尿生成における各種成分の再吸収量を計算できる。                  |
| 9  | <input type="checkbox"/> 肝臓の構造とはたらきを説明できる。                        |
| 10 | <input type="checkbox"/> 各器官に対する自律神経系のはたらきの違いを説明できる。              |
| 11 | <input type="checkbox"/> ホルモンの特徴を説明できる。                           |
| 12 | <input type="checkbox"/> 内分泌腺と放出されるホルモンについて一覧表が書ける。               |
| 13 | <input type="checkbox"/> フィードバックについて説明できる。                        |
| 14 | <input type="checkbox"/> 血糖量調節に関する自律神経系及びホルモンのはたらきを説明できる。         |
| 15 | <input type="checkbox"/> 糖尿病についてⅠ型とⅡ型の違いを説明できる。                   |
| 16 | <input type="checkbox"/> 脳下垂体を除去した場合の内分泌系の変化について説明できる。            |
| 17 | <input type="checkbox"/> 生体防御システムのうち化学的、物理的防御について説明できる。           |
| 18 | <input type="checkbox"/> 自然免疫について説明できる。                           |
| 19 | <input type="checkbox"/> 細胞性免疫の流れを説明できる。                          |
| 20 | <input type="checkbox"/> 体液性免疫の流れを説明できる。                          |
| 21 | <input type="checkbox"/> 免疫系の異常(アレルギーや免疫疾患)について説明できる。             |
| 22 | <input type="checkbox"/> ワクチンと血清について説明できる。                        |
| 23 | <生物の多様性と生態系>  |
| 24 | <input type="checkbox"/> 森林の階層構造の特徴を説明できる。                        |
| 25 | <input type="checkbox"/> 陽葉と陰葉を光合成曲線の違いから判別できる。                   |
| 26 | <input type="checkbox"/> 植生遷移の流れを説明できる。                           |
| 27 | <input type="checkbox"/> 世界の各バイオームの特徴を説明できる。                      |
| 28 | <input type="checkbox"/> 日本のバイオームの水平分布と垂直分布を説明できる。                |
| 29 | <input type="checkbox"/> 生態系における生物と非生物的環境の相互作用を説明できる。             |
| 30 | <input type="checkbox"/> 食物連鎖と栄養段階について説明できる。                      |
| 31 | <input type="checkbox"/> 炭素循環を説明できる。                              |
| 32 | <input type="checkbox"/> 窒素循環を説明できる。                              |
| 33 | <input type="checkbox"/> キーストーン種について説明できる。                        |
| 34 | <input type="checkbox"/> 人間活動を原因とした生態系バランスの乱れについて具体例を挙げられる。       |
| 35 | <細胞と生体膜>  |
| 36 | <input type="checkbox"/> 細胞の構造を図示し、細胞内構造物のはたらきについて説明ができる。         |
| 37 | <input type="checkbox"/> 細胞骨格を構成する3つのタンパク質について説明できる。              |
| 38 | <input type="checkbox"/> 細胞膜の流動モザイクモデルを説明できる。                     |
| 39 | <input type="checkbox"/> 膜タンパク質における物質輸送であるチャネル・輸送体・ポンプの説明ができる。    |
| 40 | <生命現象とタンパク質>  |
| 41 | <input type="checkbox"/> タンパク質の構造の構造について説明できる。                    |
| 42 | <input type="checkbox"/> 酵素の特性と酵素反応の阻害について説明できる。                  |
| 43 | <input type="checkbox"/> タンパク質が関わる情報伝達、モータータンパク質について説明ができる。       |
| 44 | <input type="checkbox"/> タンパク質が関わる細胞接着、生体防御について説明できる。             |
| 45 | <呼吸と発酵>   |
| 46 | <input type="checkbox"/> 呼吸の仕組みを説明できる。                            |
| 47 | <input type="checkbox"/> 脱水素酵素の実験について、その目的と結果を関連付けて説明できる。         |
| 48 | <input type="checkbox"/> 各種発酵と解糖・呼吸の比較を説明できる。                     |
| 49 | <input type="checkbox"/> 呼吸基質の違いにおける呼吸商の計算ができる。                   |
| 50 | <炭酸同化と窒素同化>   |
| 51 | <input type="checkbox"/> 光合成の仕組みを説明できる。                           |
| 52 | <input type="checkbox"/> C3植物とC4植物、CAM植物の反応系の違いと適した環境を関連付けて説明できる。 |
| 53 | <input type="checkbox"/> 細菌の炭酸同化について説明できる。                        |
| 54 | <input type="checkbox"/> 窒素代謝について説明できる。                           |

- |    |  |
|----|--|
| 1  | <反応速度と化学平衡>  |
| 2  | <input type="checkbox"/> 問題文や表・グラフの値を用いて反応速度式を使った計算ができる。 |
| 3  | <input type="checkbox"/> モル濃度を用いた平衡定数に関する計算ができる。         |
| 4  | <input type="checkbox"/> ルシャトリエの原理を用いて平衡の移動を説明できる。       |
| 5  | <input type="checkbox"/> 対数を用いて水素イオン濃度とpHに関する計算ができる。     |
| 6  | <input type="checkbox"/> 電離平衡の計算ができる。                    |
| 7  | <input type="checkbox"/> 緩衝液に関する計算ができる。                  |
| 8  | <input type="checkbox"/> 溶解度積を用いた計算ができる。                 |
| 9  | <無機化学>   |
| 10 | <input type="checkbox"/> ハロゲンの単体や化合物の性質を説明できる。           |
| 11 | <input type="checkbox"/> 塩素の製法に関する問題が解ける。                |
| 12 | <input type="checkbox"/> 酸素や硫黄の単体や化合物の性質を説明できる。          |
| 13 | <input type="checkbox"/> 接触法に関する問題が解ける。                  |
| 14 | <input type="checkbox"/> 窒素やリンの単体や化合物の性質を説明できる。          |
| 15 | <input type="checkbox"/> オストワルト法に関する問題が解ける。              |
| 16 | <input type="checkbox"/> 炭素やケイ素の単体や化合物の性質を説明できる。         |
| 17 | <input type="checkbox"/> 非金属元素に関する反応式が書ける。               |
| 18 | <input type="checkbox"/> アルカリ金属の単体や化合物の性質を説明できる。         |
| 19 | <input type="checkbox"/> 2族元素の単体や化合物の性質を説明できる。           |
| 20 | <input type="checkbox"/> アンモニアソーダ法(ソルベー法)のしくみを説明できる。     |
| 21 | <input type="checkbox"/> 両性元素の単体や化合物の性質を説明できる。           |
| 22 | <input type="checkbox"/> 両性元素に関する反応式が書ける。                |
| 23 | <input type="checkbox"/> 遷移元素の特徴を典型元素と比較して説明できる。         |
| 24 | <input type="checkbox"/> 鉄の精錬について説明できる。                  |
| 25 | <input type="checkbox"/> 鉄の単体、鉄を含む化合物・イオンの性質を説明できる。      |
| 26 | <input type="checkbox"/> 銅の単体、銅を含む化合物・イオンの性質を説明できる。      |
| 27 | <input type="checkbox"/> 銀の単体、銀を含む化合物・イオンの性質を説明できる。      |
| 28 | <input type="checkbox"/> クロムやマンガンなどその他の遷移元素の特徴を説明できる。    |
| 29 | <input type="checkbox"/> 錯イオンの名称とイオン式が書ける。               |
| 30 | <input type="checkbox"/> 金属イオンの系統分離ができる。                 |
| 31 | <有機化学>   |
| 32 | <input type="checkbox"/> 質量を用いた元素分析の計算ができる。              |
| 33 | <input type="checkbox"/> 質量パーセント濃度を用いた元素分析の計算ができる。       |
| 34 | <input type="checkbox"/> 構造異性体の構造式を書ける。                  |
| 35 | <input type="checkbox"/> 官能基の名称、構造式を書ける。                 |
| 36 | <input type="checkbox"/> 飽和炭化水素の特徴を化学反応式を用いて説明できる。       |
| 37 | <input type="checkbox"/> 不飽和炭化水素の特徴を化学反応式を用いて説明できる。      |
| 38 | <input type="checkbox"/> アルコールの分類ができ、反応を説明できる。。          |
| 39 | <input type="checkbox"/> アルデヒド・カルボン酸の性質・反応を説明できる。        |
| 40 | <input type="checkbox"/> エステルの合成・加水分解が化学反応式を用いて説明できる。    |
| 41 | <input type="checkbox"/> 油脂・セッケンに関する化学反応式が書ける。           |
| 42 | <input type="checkbox"/> セッケン・合成洗剤の性質を説明できる。             |
| 43 | <input type="checkbox"/> 芳香族炭化水素の名称と構造式が書ける。             |
| 44 | <input type="checkbox"/> フェノールの合成法を説明できる。                |
| 45 | <input type="checkbox"/> フェノールに関する反応式が書ける。               |
| 46 | <input type="checkbox"/> 芳香族カルボン酸の名称と構造式が書ける。            |
| 47 | <input type="checkbox"/> 芳香族カルボン酸に関する反応式が書ける。            |
| 48 | <input type="checkbox"/> 芳香族アミンに関する反応式が書ける。              |
| 49 | <input type="checkbox"/> 混合した有機化合物の分離法が説明できる。            |

- |    |                          |   |
|----|--------------------------|---|
| 1  | <input type="checkbox"/> | 平面内(等速系)の円運動に対して、力のつりあいと円運動の運動方程式が立てられる。    |
| 2  | <input type="checkbox"/> | 鉛直方向(非等速系)の円運動に対して、力学的エネルギー保存則と運動方程式を立てられる。 |
| 3  | <input type="checkbox"/> | 慣性力について理解し、物体の運動から運動する物体の加速度を求めることができる。     |
| 4  | <input type="checkbox"/> | 単振動を理解し、物体の変位、速度、加速度や時間について求めることができる。       |
| 5  | <input type="checkbox"/> | 鉛直方向の単振動において、運動方程式から、振動の中心や振幅などを求めることができる。  |
| 6  | <input type="checkbox"/> | ケプラーの法則を理解し、説明できる。                          |
| 7  | <input type="checkbox"/> | 円運動する惑星の運動に関して、運動方程式をたて、速度や周期を求めることができる。    |
| 8  | <input type="checkbox"/> | 楕円運動する惑星の運動に関して、速度や周期を求めることができる。            |
| 9  | <input type="checkbox"/> | 気体分子運動論を理解し、気体の圧力や2乗平均速度を求めることができる。         |
| 10 | <input type="checkbox"/> | 熱力学第1法則を理解し、説明することができる。                     |
| 11 | <input type="checkbox"/> | 定積、定圧、等温、断熱変化に対し、仕事や熱量、内部エネルギーを求められる。       |
| 12 | <input type="checkbox"/> | 三角関数を用いて波の式を立式し、任意の位置における波の振幅を求めることができる。    |
| 13 | <input type="checkbox"/> | 波の性質である屈折、干渉、回折について説明できる。                   |
| 14 | <input type="checkbox"/> | 音のドップラー効果のについて、公式の原理を理解し、状況に応じて式を立てることができる。 |
| 15 | <input type="checkbox"/> | 光の性質である屈折、干渉、回折に加え分散、偏向についても説明できる。          |
| 16 | <input type="checkbox"/> | 屈折の法則を理解し、屈折による物体の浮き上がりや全反射について理解する。        |
| 17 | <input type="checkbox"/> | レンズの写像公式、倍率公式の成り立ちを理解し、様々な状況で公式を使える。        |
| 18 | <input type="checkbox"/> | 光路差と反射による位相のずれから、光の干渉条件を導ける。                |
| 19 | <input type="checkbox"/> | 点電荷の電場、電位の定義及び物理量を理解し、任意の点での電場や電位を求められる。    |
| 20 | <input type="checkbox"/> | ガウスの法則を理解し、導体及び不導体の内外部の電場や電位の様子がグラフ化できる。    |
| 21 | <input type="checkbox"/> | コンデンサーの直列、並列を見分けることができる。                    |
| 22 | <input type="checkbox"/> | スイッチの切り替えによる電気量の変化を電気量保存則から、求めることができる。      |
| 23 | <input type="checkbox"/> | キルヒホッフの法則から抵抗に流れる電流を計算できる。                  |

高校2年 (理系生物)	通年	1	<input type="checkbox"/> 原始地球の環境について理解し、生命の起源がどのように誕生したかを説明できる。
	2	<input type="checkbox"/> 真核生物の誕生と細胞内共生説を説明できる。	
	3	<input type="checkbox"/> 遺伝的変異について説明できる。	
	4	<input type="checkbox"/> 二遺伝子雑種について理解し、方形区(パネツスクエア)を利用して問題を解くことができる。	
	5	<input type="checkbox"/> 組換え価の計算ができる。	
	6	<input type="checkbox"/> 自然選択と適応進化のしくみについて理解している。	
	7	<input type="checkbox"/> ハーディー・ワインベルグの法則を用いて遺伝的構成の変化を考えることができる。	
	8	<input type="checkbox"/> 遺伝的浮動について理解している。	
	9	<input type="checkbox"/> 種分化のしくみについて説明できる。	
	10	<input type="checkbox"/> アミノ酸の相違における分子進化について考えることができる。	
	11	<input type="checkbox"/> 生物の階層的分類について説明できる。	
	12	<input type="checkbox"/> 真核生物ドメインにおける各界を説明できる。	
	13	<input type="checkbox"/> 類人猿とヒトの違いを説明できる。	
	14	<input type="checkbox"/> 人類の誕生と変遷の過程を理解している。	
	15	<input type="checkbox"/> 細胞の構造を図示し、細胞内構造物のはたらきについて説明ができる。	
	16	<input type="checkbox"/> タンパク質の構造の構造について説明できる	
	17	<input type="checkbox"/> 酵素の構造およびはたらきと、阻害効果による調節について説明できる。	
	18	<input type="checkbox"/> 膜貫通タンパク質の種類とはたらきについて説明できる。	
	19	<input type="checkbox"/> MHC・TLR・TCRIについて説明できる。	
	20	<input type="checkbox"/> 呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを説明できる。	
	21	<input type="checkbox"/> 発酵と呼吸の違いを説明できる。	
	22	<input type="checkbox"/> 光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられる仕組みを説明できる。	
	23	<input type="checkbox"/> DNAの複製の仕組みを説明できる。	
	24	<input type="checkbox"/> 遺伝情報が発現するまでの流れを詳細に説明できる。	
	25	<input type="checkbox"/> 遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を説明できる。	
	26	<input type="checkbox"/> 動物の配偶子形成について理解する。	
	27	<input type="checkbox"/> ウニの受精時に生じる現象について説明できる。	
	28	<input type="checkbox"/> ウニとカエルの初期発生について図示し、違いを明確にして説明できる。	
	29	<input type="checkbox"/> 尾芽胚期の器官分化について図示し、各部位の予定運命を説明できる。	
	30	<input type="checkbox"/> 発生過程における細胞の分化と誘導の仕組みを理解し説明できる。	
	31	<input type="checkbox"/> 母性効果遺伝子と動物のホメオティック遺伝子について説明できる。	
	32	<input type="checkbox"/> PCR、マイクロピペット、電気泳動法などの基本的な操作知識を身に付けている。	

高校3年 (理系化学)	通年	1	<高分子化合物>
		2	<input type="checkbox"/> 単糖類の特徴が説明できる。
		3	<input type="checkbox"/> グルコースの3つの平衡状態の構造式が書ける。
		4	<input type="checkbox"/> 二糖類がどの単体から合成されているか説明できる。
		5	<input type="checkbox"/> 二糖類の還元性の有無を説明できる。
		6	<input type="checkbox"/> 多糖類の名称と特徴を説明できる。
		7	<input type="checkbox"/> アミノ酸の種類と特徴が説明できる。
		8	<input type="checkbox"/> 双性イオンに関する構造式が書ける。
		9	<input type="checkbox"/> タンパク質の構造と検出法が説明できる。
		10	<input type="checkbox"/> 天然繊維を判別できる。
		11	<input type="checkbox"/> 合成繊維を構成する単量体、合成繊維の構造式が書ける。
		12	<input type="checkbox"/> 合成樹脂を構成する単量体、合成樹脂の構造式が書ける。
		13	<input type="checkbox"/> プラスチックの再利用の方法が説明できる。
		14	<input type="checkbox"/> イオン交換樹脂の特徴が説明できる。
		15	<input type="checkbox"/> 機能性高分子の特徴が説明できる。
		16	<input type="checkbox"/> 天然ゴムの特徴が説明できる。
		17	<input type="checkbox"/> 加硫について説明できる。
		18	<input type="checkbox"/> 合成ゴムの単量体、合成ゴムの構造式が書ける。

高校3年 (理系物理)	通年	1	<input type="checkbox"/> 磁場について理解し、直線電流、円電流、ソレノイドが作る磁場を求めることができる。
		2	<input type="checkbox"/> 電磁誘導を理解し、回路に流れる電流や一定速度で動かすための外力を求めることができる。
		3	<input type="checkbox"/> ローレンツ力を理解し、一様な磁場に入射した荷電粒子の運動の軌跡を考えることができる。
		4	<input type="checkbox"/> 自己インダクタンス、相互インダクタンスを理解し、状況に応じてそれらを求めることができる。
		5	<input type="checkbox"/> 交流回路について理解し、インピーダンスやリアクタンスを求めれる。
		6	<input type="checkbox"/> 位相のずれを考慮し、交流回路に流れる電流や電圧を三角関数を用いて表現できる。
		7	<input type="checkbox"/> 光電効果を理解し、金属の仕事関数を計算できる。
		8	<input type="checkbox"/> コンプトン効果について理解し、運動量保存則やエネルギー保存則が立式できる。
		9	<input type="checkbox"/> ボーアの量子条件や運動方程式を使って、エネルギー準位が計算できる。
		10	<input type="checkbox"/> $\alpha$ 崩壊、 $\beta$ 崩壊、 $\gamma$ 崩壊についてそれぞれの特徴を述べるができる。
		11	<input type="checkbox"/> 放射性物資の半減期や年代推定の計算ができる。
		12	<input type="checkbox"/> 核分裂反応から、質量欠損を計算できる。

高校3年 (理系生物)	通年	1	<刺激と受容>
		2	<input type="checkbox"/> ヒトの視覚について、その構造と光量・遠近調節について説明できる。
		3	<input type="checkbox"/> ヒトの聴覚について、その構造と昇格が生じる仕組みについて説明できる。
		4	<input type="checkbox"/> 興奮の発生の仕組みとナトリウム・カリウムイオンの関係について説明できる。
		5	<input type="checkbox"/> 神経系の種類とそのはたらきの違いを説明できる。
		6	<input type="checkbox"/> 骨格筋の構造と筋収縮の仕組みを説明できる。
		7	<input type="checkbox"/> 筋収縮のエネルギーについて説明できる。
		8	<動物の行動>
		9	<input type="checkbox"/> 生得的行動について、例を挙げて説明できる。
		10	<input type="checkbox"/> 学習について、例を挙げて説明できる。
		11	<植物の環境応答>
		12	<input type="checkbox"/> オーキシンによる成長、屈性などの生理現象と関連付けて説明できる。
		13	<input type="checkbox"/> ジベレリン、サイトカイニンによる細胞の成長と分化について説明できる。
		14	<input type="checkbox"/> 花芽形成について、植物ホルモンと光周性について関連付けて説明できる。
		15	<生命の進化について>
		16	<input type="checkbox"/> 生命の誕生についてその過程を説明できる。
		17	<input type="checkbox"/> 生命の変遷と地球環境の変化を関連付けて説明できる。
		18	<input type="checkbox"/> 人類の起源と進化について説明できる。
		19	<input type="checkbox"/> 進化の証拠について、化石や形態の比較から説明できる。
		20	<input type="checkbox"/> 生物の変異と進化の要因について、突然変異を用いて説明できる。
		21	<input type="checkbox"/> ハーディー・ワインベルグの法則を用いて遺伝的構成の変化を考えることができる。
		22	<input type="checkbox"/> アミノ酸の相違における分子進化について考えることができる。
		23	<生物の分類と系統>
		24	<input type="checkbox"/> 3ドメイン説と五界説に基づき、生物を分類できる。
		25	<個体群と生物群集>
		26	<input type="checkbox"/> 個体群密度と成長曲線について説明できる。
		27	<input type="checkbox"/> 種内関係・種間関係について生じる現象について説明できる。
		28	<生態系>
		29	<input type="checkbox"/> 生態系の物質生産について、各項目の計算ができる。
		30	<input type="checkbox"/> 生態系と生物多様性について関わる現象を説明できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 英語

高校 1年 通年	1	<input type="checkbox"/>	各段落のトピックセンテンスを意識して読むことができる。(Reading)
	2	<input type="checkbox"/>	文章全体の大意を把握することができる。(Reading)
	3	<input type="checkbox"/>	指示語をとらえながら英文を読むことができる。(Reading)
	4	<input type="checkbox"/>	逆接・順接の接続詞を意識して読むことができる。(Reading)
	5	<input type="checkbox"/>	英文の基本構造(SVOC)を見抜くことができる。(Reading)
	6	<input type="checkbox"/>	分詞や関係詞による修飾・説明をとらえことができる。(Reading)
	7	<input type="checkbox"/>	形式主語(目的語)が示す名詞句(節)に気づき、文脈を考えることができる。(Reading)
	8	<input type="checkbox"/>	It is ~ thatの文において強調構文を見抜くことができる。(Reading)
	9	<input type="checkbox"/>	代用表現や省略を補って文脈を考えることができる。(Reading)
	10	<input type="checkbox"/>	共通テスト形式の問題(リーディング)で5割程度正答できる。(Reading)
	11	<input type="checkbox"/>	共通テスト形式の問題(リーディング)で6割以上正答できる。(Reading)
	12	<input type="checkbox"/>	共通テスト形式の問題(リーディング)で8割以上正答できる。(Reading)
	13	<input type="checkbox"/>	和訳問題において6割以上正答できる。(Reading)
	14	<input type="checkbox"/>	内容正誤問題において6割以上正答できる。(Reading)
	15	<input type="checkbox"/>	内容正誤問題において8割以上正答できる。(Reading)
	16	<input type="checkbox"/>	基本5文型を理解し、文章を書くことができる。(Writing)
	17	<input type="checkbox"/>	トピックセンテンスを書くことができる。(Writing)
	18	<input type="checkbox"/>	トピックセンテンスとパラグラフの構造を理解する。(Writing)
	19	<input type="checkbox"/>	for exampleなど用いて例を挙げながら書くことができる。(Writing)
	20	<input type="checkbox"/>	first, thenなどを用いて時間の順序を考えて書くことができる。(Writing)
	21	<input type="checkbox"/>	but, additionallyなどを用いて書くことができる。(Writing)
	22	<input type="checkbox"/>	イディオムや構文を取り入れた英文を書くことができる。(Writing)
	23	<input type="checkbox"/>	構文や文法を意識して並べかえ問題や英作文ができる。(Writing)
	24	<input type="checkbox"/>	パラグラフの構成を考えることができる。(Writing)
	25	<input type="checkbox"/>	パラグラフを構成することができる。(Writing)
	26	<input type="checkbox"/>	一つのパラグラフを英文で書くことができる。(Writing)
	27	<input type="checkbox"/>	直訳でなく、日本語の意味に沿った自然な英作文ができる。(Writing)
	28	<input type="checkbox"/>	英語で短いエッセイを書くことができる。(Writing)
	29	<input type="checkbox"/>	全国模試における英作文で4割以上得点できる。(Writing)
	30	<input type="checkbox"/>	全国模試における英作文で6割以上得点できる。(Writing)
	31	<input type="checkbox"/>	全国模試における英作文で8割以上得点できる。(Writing)
	32	<input type="checkbox"/>	イギリス英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
	33	<input type="checkbox"/>	アメリカ英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
	34	<input type="checkbox"/>	絵や写真を説明する英文が聞き取れる。(Listening)
	35	<input type="checkbox"/>	短い対話を聞き取ることができる。(Listening)
	36	<input type="checkbox"/>	講義文を聞き、その内容を理解することができる。(Listening)
	37	<input type="checkbox"/>	複数の説明を聞き、総合的に理解し判断することができる。(Listening)
	38	<input type="checkbox"/>	時刻や金額など、数を聞き取ることができる。(Listening)
	39	<input type="checkbox"/>	共通テスト形式の問題(リスニング)において4割以上正答できる。(Listening)
	40	<input type="checkbox"/>	共通テスト形式の問題(リスニング)において6割以上正答できる。(Listening)
	41	<input type="checkbox"/>	共通テスト形式の問題(リスニング)において8割以上正答できる。(Listening)
	42	<input type="checkbox"/>	未知の語彙に関する問いに対して6割以上正答できる。(語彙)
	43	<input type="checkbox"/>	300問テストで100点以上得点できる。(語彙)
	44	<input type="checkbox"/>	300問テストで150点以上得点できる。(語彙)
	45	<input type="checkbox"/>	300問テストで200点以上得点できる。(語彙)
	46	<input type="checkbox"/>	英単語の強化に努めている。(受験対策)
	47	<input type="checkbox"/>	イディオムの強化に努めている。(受験対策)
	48	<input type="checkbox"/>	構文・語法の強化に努めている。(受験対策)
	49	<input type="checkbox"/>	精読・和訳の強化に努めている。(受験対策)
	50	<input type="checkbox"/>	大意把握・要約の強化に努めている。(受験対策)
	51	<input type="checkbox"/>	条件英作文・語句整序問題の強化に努めている。(受験対策)
	52	<input type="checkbox"/>	自由英作文の強化に努めている。(受験対策)
	53	<input type="checkbox"/>	難関大の過去問題(対策問題)を解いた。(受験対策)
	54	<input type="checkbox"/>	私大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)
	55	<input type="checkbox"/>	国公立大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)

- 1  各段落のトピックセンテンスを意識して読むことができる。(Reading)
- 2  文章全体の大意を把握することができる。(Reading)
- 3  指示語をとらえながら英文を読むことができる。(Reading)
- 4  逆接・順接の接続詞を意識して読むことができる。(Reading)
- 5  英文の基本構造(SVOC)を見抜くことができる。(Reading)
- 6  分詞や関係詞による修飾・説明をとらえことができる。(Reading)
- 7  形式主語(目的語)が示す名詞句(節)に気づき、文脈を考えることができる。(Reading)
- 8  It is ~ thatの文において強調構文を見抜くことができる。(Reading)
- 9  代用表現や省略を補って文脈を考えることができる。(Reading)
- 10  共通テスト形式の問題(リーディング)で5割程度正答できる。(Reading)
- 11  共通テスト形式の問題(リーディング)で6割以上正答できる。(Reading)
- 12  共通テスト形式の問題(リーディング)で8割以上正答できる。(Reading)
- 13  和訳問題において6割以上正答できる。(Reading)
- 14  内容正誤問題において6割以上正答できる。(Reading)
- 15  内容正誤問題において8割以上正答できる。(Reading)
- 16  基本5文型を理解し、文章を書くことができる。(Writing)
- 17  トピックセンテンスを書くことができる。(Writing)
- 18  トピックセンテンスとパラグラフの構造を理解する。(Writing)
- 19  for exampleなど用いて例を挙げながら書くことができる。(Writing)
- 20  first, thenなどを用いて時間の順序を考えて書くことができる。(Writing)
- 21  but, additionallyなどを用いて書くことができる。(Writing)
- 22  イディオムや構文を取り入れた英文を書くことができる。(Writing)
- 23  構文や文法を意識して並べかえ問題や英作文ができる。(Writing)
- 24  パラグラフの構成を考えることができる。(Writing)
- 25  パラグラフを構成することができる。(Writing)
- 26  一つのパラグラフを英文で書くことができる。(Writing)
- 27  直訳でなく、日本語の意味に沿った自然な英作文ができる。(Writing)
- 28  英語で短いエッセイを書くことができる。(Writing)
- 29  全国模試における英作文で4割以上得点できる。(Writing)
- 30  全国模試における英作文で6割以上得点できる。(Writing)
- 31  全国模試における英作文で8割以上得点できる。(Writing)
- 32  イギリス英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
- 33  アメリカ英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
- 34  絵や写真を説明する英文が聞き取れる。(Listening)
- 35  短い対話を聞き取ることができる。(Listening)
- 36  講義文を聞き、その内容を理解することができる。(Listening)
- 37  複数の説明を聞き、総合的に理解し判断することができる。(Listening)
- 38  時刻や金額など、数を聞き取ることができる。(Listening)
- 39  共通テスト形式の問題(リスニング)において4割以上正答できる。(Listening)
- 40  共通テスト形式の問題(リスニング)において6割以上正答できる。(Listening)
- 41  共通テスト形式の問題(リスニング)において8割以上正答できる。(Listening)
- 42  未知の語彙に関する問いに対して6割以上正答できる。(語彙)
- 43  300問テストで100点以上得点できる。(語彙)
- 44  300問テストで150点以上得点できる。(語彙)
- 45  300問テストで200点以上得点できる。(語彙)
- 46  英単語の強化に努めている。(受験対策)
- 47  イディオムの強化に努めている。(受験対策)
- 48  構文・語法の強化に努めている。(受験対策)
- 49  精読・和訳の強化に努めている。(受験対策)
- 50  大意把握・要約の強化に努めている。(受験対策)
- 51  条件英作文・語句整序問題の強化に努めている。(受験対策)
- 52  自由英作文の強化に努めている。(受験対策)
- 53  難関大の過去問題(対策問題)を解いた。(受験対策)
- 54  私大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)
- 55  国公立大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)

- 1  各段落のトピックセンテンスを意識して読むことができる。(Reading)
- 2  文章全体の大意を把握することができる。(Reading)
- 3  指示語をとらえながら英文を読むことができる。(Reading)
- 4  逆接・順接の接続詞を意識して読むことができる。(Reading)
- 5  英文の基本構造(SVOC)を見抜くことができる。(Reading)
- 6  分詞や関係詞による修飾・説明をとらえことができる。(Reading)
- 7  形式主語(目的語)が示す名詞句(節)に気づき、文脈を考えることができる。(Reading)
- 8  It is ~ thatの文において強調構文を見抜くことができる。(Reading)
- 9  代用表現や省略を補って文脈を考えることができる。(Reading)
- 10  共通テスト形式の問題(リーディング)で5割程度正答できる。(Reading)
- 11  共通テスト形式の問題(リーディング)で6割以上正答できる。(Reading)
- 12  共通テスト形式の問題(リーディング)で8割以上正答できる。(Reading)
- 13  和訳問題において6割以上正答できる。(Reading)
- 14  内容正誤問題において6割以上正答できる。(Reading)
- 15  内容正誤問題において8割以上正答できる。(Reading)
- 16  基本5文型を理解し、文章を書くことができる。(Writing)
- 17  トピックセンテンスを書くことができる。(Writing)
- 18  トピックセンテンスとパラグラフの構造を理解する。(Writing)
- 19  for exampleなど用いて例を挙げながら書くことができる。(Writing)
- 20  first, thenなどを用いて時間の順序を考えて書くことができる。(Writing)
- 21  but, additionallyなどを用いて書くことができる。(Writing)
- 22  イディオムや構文を取り入れた英文を書くことができる。(Writing)
- 23  構文や文法を意識して並べかえ問題や英作文ができる。(Writing)
- 24  パラグラフの構成を考えることができる。(Writing)
- 25  パラグラフを構成することができる。(Writing)
- 26  一つのパラグラフを英文で書くことができる。(Writing)
- 27  直訳でなく、日本語の意味に沿った自然な英作文ができる。(Writing)
- 28  英語で短いエッセイを書くことができる。(Writing)
- 29  全国模試における英作文で4割以上得点できる。(Writing)
- 30  全国模試における英作文で6割以上得点できる。(Writing)
- 31  全国模試における英作文で8割以上得点できる。(Writing)
- 32  イギリス英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
- 33  アメリカ英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
- 34  絵や写真を説明する英文が聞き取れる。(Listening)
- 35  短い対話を聞き取ることができる。(Listening)
- 36  講義文を聞き、その内容を理解することができる。(Listening)
- 37  複数の説明を聞き、総合的に理解し判断することができる。(Listening)
- 38  時刻や金額など、数を聞き取ることができる。(Listening)
- 39  共通テスト形式の問題(リスニング)において4割以上正答できる。(Listening)
- 40  共通テスト形式の問題(リスニング)において6割以上正答できる。(Listening)
- 41  共通テスト形式の問題(リスニング)において8割以上正答できる。(Listening)
- 42  未知の語彙に関する問いに対して6割以上正答できる。(語彙)
- 43  300問テストで100点以上得点できる。(語彙)
- 44  300問テストで150点以上得点できる。(語彙)
- 45  300問テストで200点以上得点できる。(語彙)
- 46  英単語の強化に努めている。(受験対策)
- 47  イディオムの強化に努めている。(受験対策)
- 48  構文・語法の強化に努めている。(受験対策)
- 49  精読・和訳の強化に努めている。(受験対策)
- 50  大意把握・要約の強化に努めている。(受験対策)
- 51  条件英作文・語句整序問題の強化に努めている。(受験対策)
- 52  自由英作文の強化に努めている。(受験対策)
- 53  難関大の過去問題(対策問題)を解いた。(受験対策)
- 54  私大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)
- 55  国公立大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)